

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン
令和4年度市民アンケート調査
報告書

令和5年2月
札幌市

目 次

I 調査実施の概要	
(1) 目的	2
(2) 設計	2
(3) 回収結果	2
(4) 回答者の属性	2
(5) 集計・分析上の注意事項	2
II 調査結果の詳細	
(1) 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」について	5
(2) まちづくりの「基本目標」の実現度について	6
1. 子ども・若者分野	6
基本目標① 安心して子どもを産み育てることが出来る、子育てに優しい街	6
基本目標② 誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち	8
基本目標③ 一人一人の良さや可能性を大切にする教育を通して、子どもが健やかに育つまち	10
2. 生活・暮らし分野	12
基本目標④ 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち	12
基本目標⑤ 生活しやすく住みよいまち	14
3. 地域分野	16
基本目標⑥ 互いに認め合い、支え合うまち	16
基本目標⑦ 誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち	18
4. 安全・安心分野	20
基本目標⑧ 誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち	20
基本目標⑨ 日常の安全が保たれたまち	22
5. 経済分野	24
基本目標⑩ 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち	24
基本目標⑪ 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち	26
基本目標⑫ 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち	28
6. スポーツ・文化分野	30
基本目標⑬ 世界屈指のウインタースポーツシティ	30
基本目標⑭ 四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち	32
基本目標⑮ 文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち	34
7. 環境分野	36
基本目標⑯ 世界に冠たる環境都市	36
基本目標⑰ 身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち	38
8. 都市空間分野	40
基本目標⑱ コンパクトで人にやさしい快適なまち	40
基本目標⑲ 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち	42

基本目標⑩ 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち-----	44
(3)まちづくりの重要概念に関する取り組みについて	
ユニバーサル（共生）について-----	46
ウェルネス（健康）について-----	50
スマート（快適・先端）について-----	52
(4)今後の札幌市のまちづくりについての意見	54

Ⅲ 参考資料

- (1) 集計表
- (2) アンケート調査票

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

札幌市では、まちづくりの基本的な指針として「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定し、これに基づき計画的なまちづくりを進めていくこととしている。そこで、第2次ビジョンで定めるまちづくりの基本目標等に対し、札幌市の現状がどの程度であるかを分析するため、市民の意識調査を行った。

(2) 設計

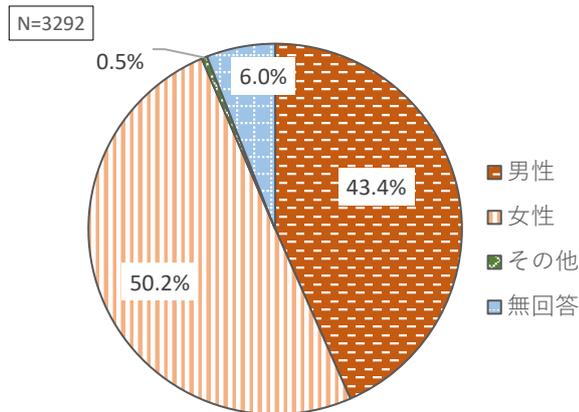
調査対象	16歳～85歳の男女
標本数	10,000人
調査方法	調査対象者に調査票を送付し、郵送またはwebフォームにて回答を求めた
調査期間	令和4年(2022年)12月23日(金)～令和5年1月23日(月)
抽出方法	本市の電算システムによる無作為抽出

(3) 回収結果

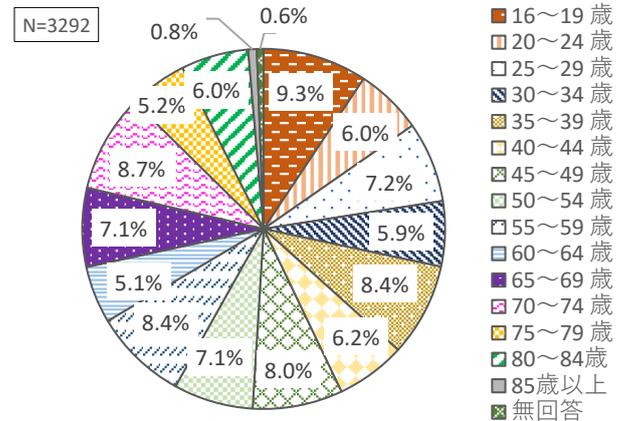
発送数	10,000通
有効回答数(率)	3,292通 (32.9%)

(4) 回答者の属性

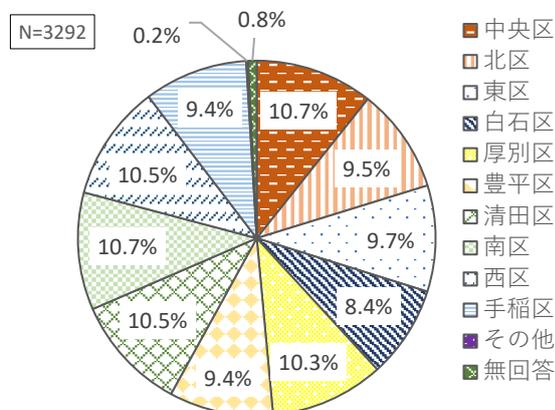
1) 性別



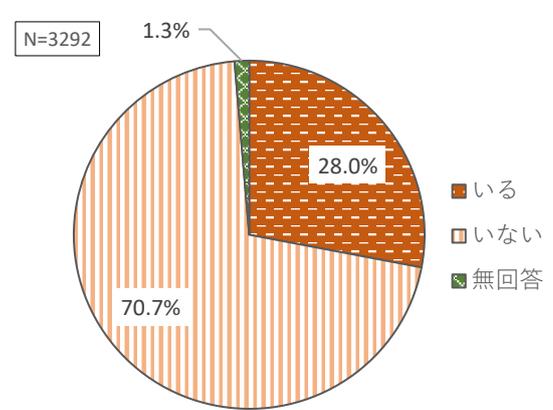
2) 年代



3) 居住地



4) 18歳以下の同居家族



(4) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を除いた合計数を「N」で表記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

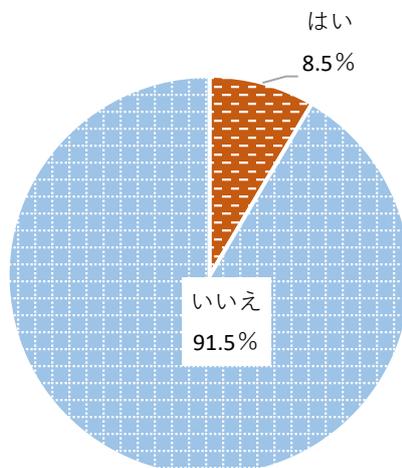
調査結果の詳細

2 調査結果の詳細

問1 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」についてお聞きます。

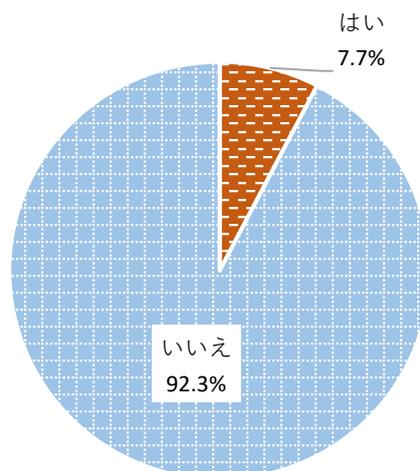
1. 「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」をご存知でしたか。

N=3127



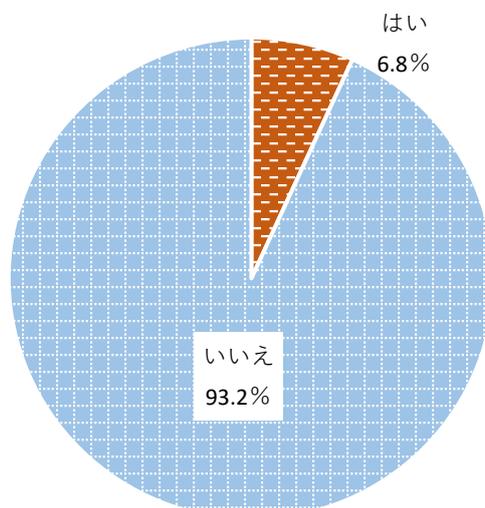
2-① 「目指すべき都市像」をご存じでしたか。

N=3248



2-② 「まちづくりの重要概念」をご存じでしたか。

N=3248

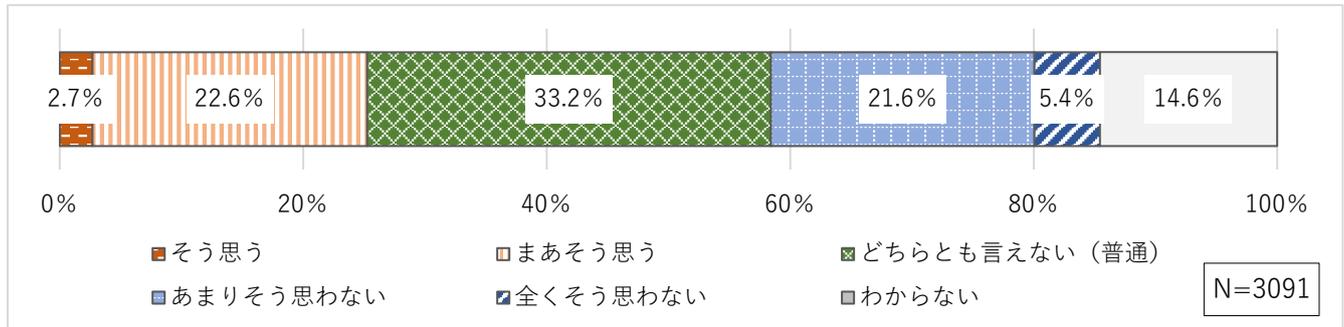


問2 まちづくりの「基本目標」が実現していると思うかをお聞きます。

【1. 子ども・若者分野】

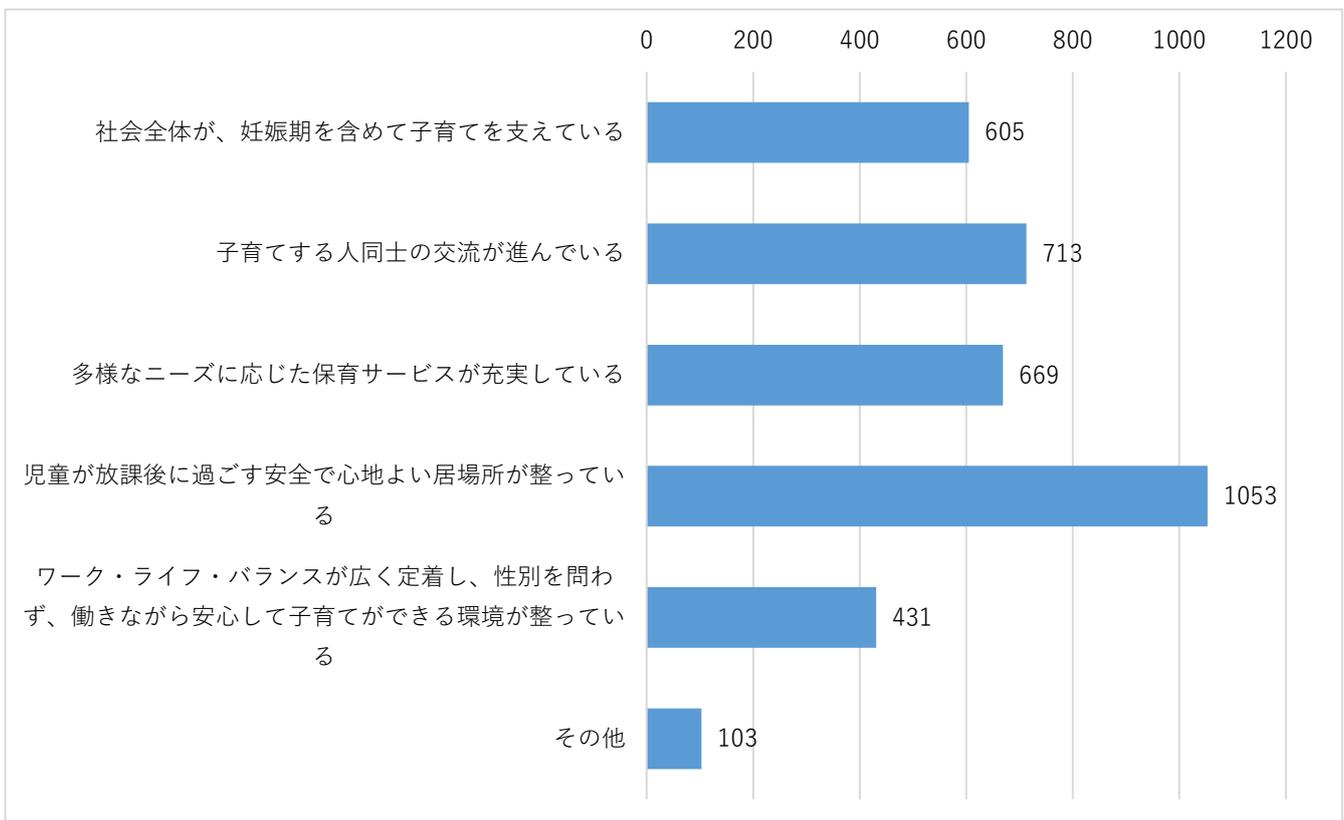
■基本目標① 「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 2.95
-------------------	--------------



■回答の理由

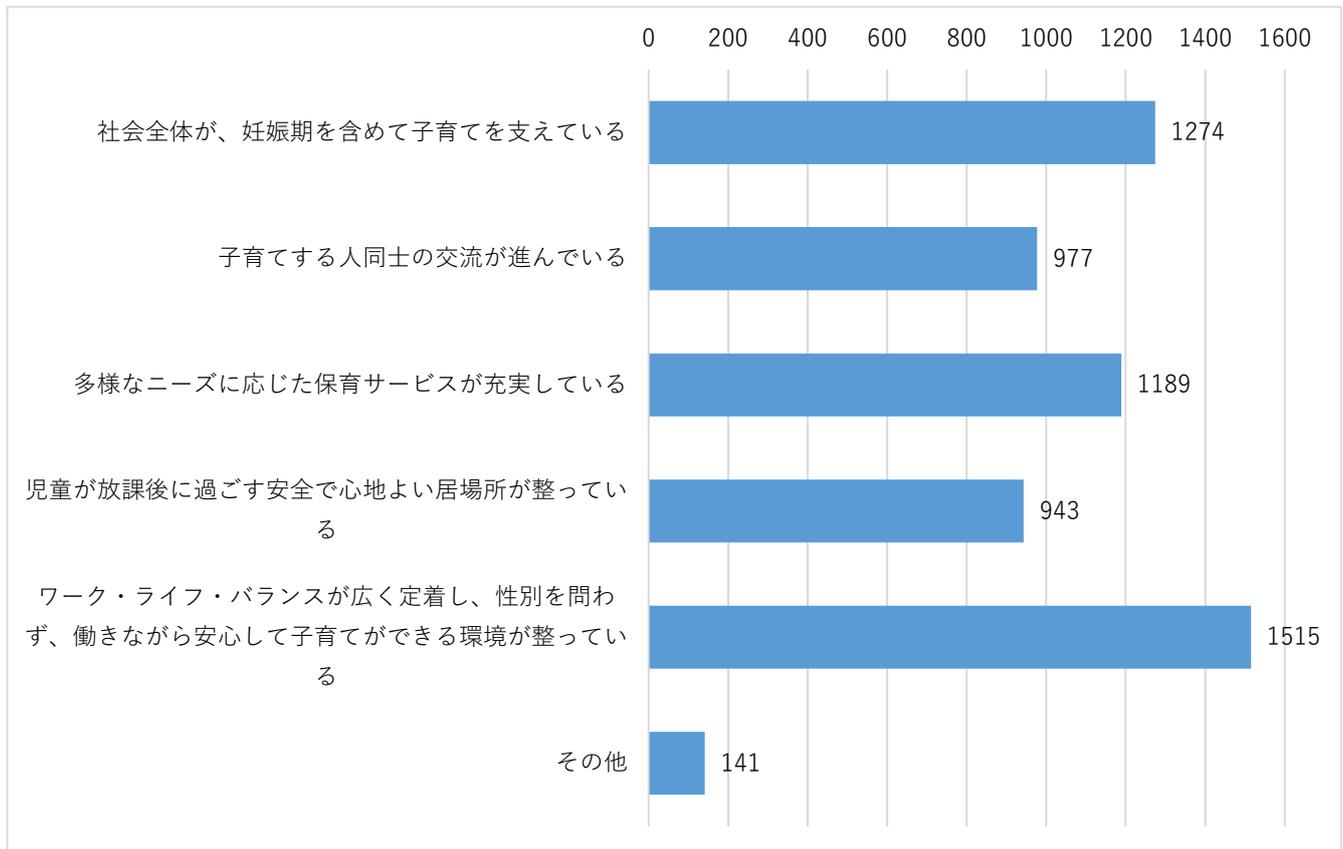
評価されていること(○評価) 計 3574件



《その他の意見》

- ・子ども医療費が9歳まで延長していただけたことはとてもありがたかった。可能であれば義務教育中ぐらいまでお願いしたいです。
- ・二人目の保育料無料などの政策がされている。
- ・児童が安心して通学できる環境がある。
- ・砂利道が少ない。ベビーカーで散歩しやすい。ロードヒーティングが助かる。
- ・区保育・子育て支援センターにおける保育や子育てサロンを通じて、子育て全般を支援している。

課題となっていること(×評価) 計 6039 件



《その他の意見》

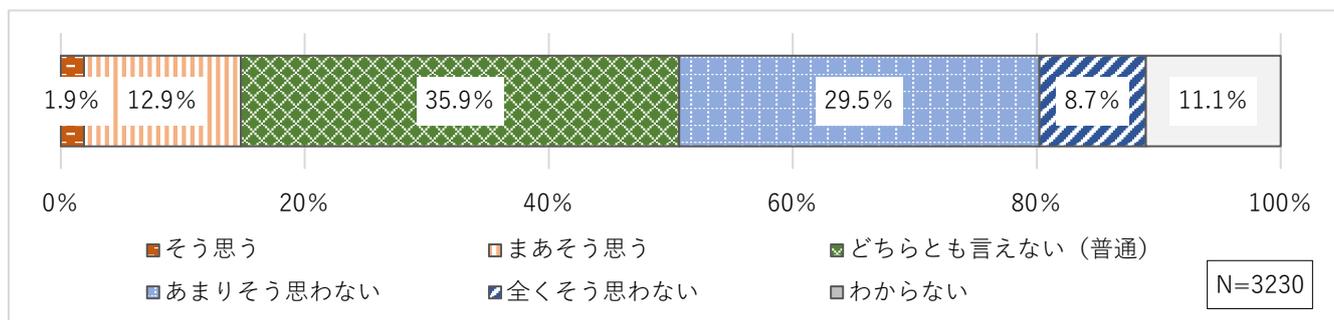
- ・共働きに対する行政の対策が確立していない！
- ・安心して預けられる保育所が少ない。
- ・他の市町村にくらべたら助成が少ない。
- ・留守家庭児童の預かりを担っている児童クラブは、地域により人数に大きく偏りがあり、たくさんの児童を受け入れている会館は大変苦勞していると聞いております。しかし給与が充分とは言えず、事務量も多いため、離職率が高いとも聞いております。こうしたことは子供にとっても良いこととは言い難く、指導員さんの待遇改善も必要かと思ひます。
- ・子育て支援センターの親子教室がとても少ないと感じました。前に住んだことがある千歳では広い施設がありイベントもたくさんあり、親子で楽しめた。
- ・多胎児育児世帯へのサポートが全くない。
- ・保育職員の資質向上、基本的マナーの研修が必須。
- ・障害児を育てるにあたり、母親の負担が大きいと感じる。

■分析・考察

- ・実現度は 2.95 と全体平均より低い。
 - ・実現度及び○×評価において、子育ての有無、性別、年代別による回答の大きな差は見られない(参考資料)。
 - ・○評価と×評価の差から、子育てと仕事の両立に関する事、特に子どもの預かりに関する支援、サービスの充実が求められていると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

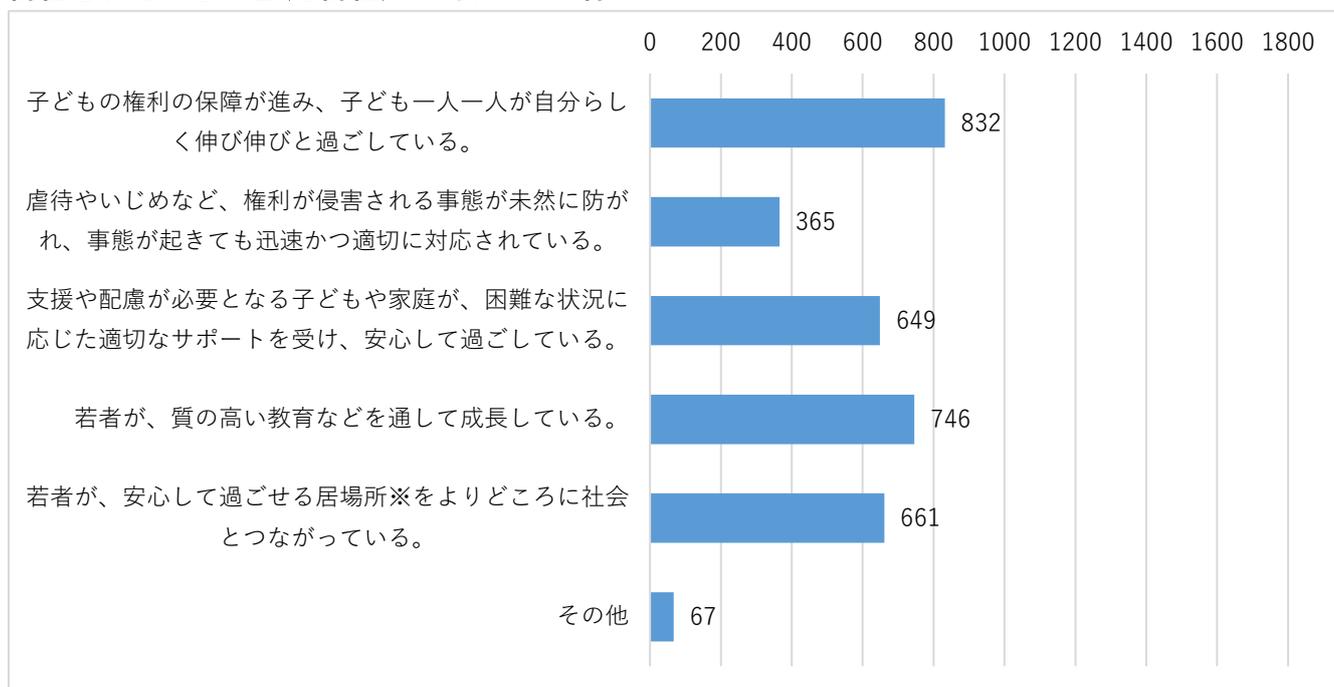
■基本目標②「誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまちの実現度

市民の評価点	R4年度
(5段階評価)	2.66



■回答の理由

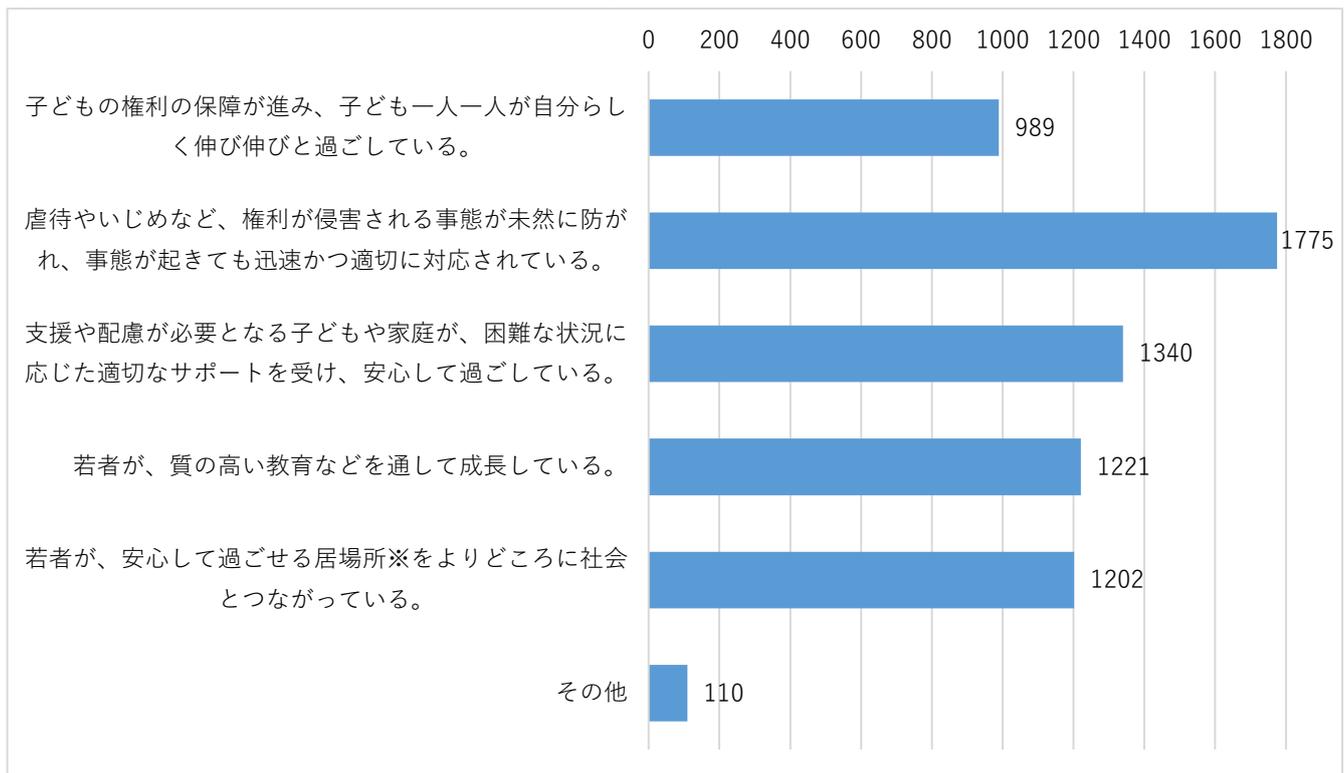
評価されていること(○評価) 計 3320件



《その他の意見》

- ・子どもが通う小学校を通して、様々な取り組みをしていると感じる点。
- ・札幌市奨学金により高校・大学生の学びが継続できるように支援を行っている。また、図書館・科学館(記念館)・公園・コンサートホールなど充実した公共施設により、子どもが伸び伸びと希望をもって成長をできる環境の整備に取り組んでいる。
- ・身近(近親者)に子供がいないのでわからないが若者はのびのび成長していると思う。

課題となっていること(×評価) 計 6637 件



《その他の意見》

- ・希望を持てるような将来性のあるビジョンがない。
- ・児童手当が中学生までというのが納得いかない。高校生までもお金がかかるのに。
- ・地域によって学力の差が感じられることがあった。
- ・教員の人員不足と質の低下、支援の要する子供の増加、家庭の教育力の低下が著しい。また一方で一人一人を手厚くするために全体が取り残されている。いじめアンケートにより、被害者意識の助長と聞き取り調査による学習時間確保問題と新たなトラブル発生の問題となっている。
- ・小学生が放課後過ごせる児童館が遠くいくことができない。
- ・知的にと判断されると差別され、グレーゾーンの子供はフォローがないためより深刻。複数担任などのフォローアップが必要。ネグレクトの子供は中学生になると支援の網からこぼれがちであるように思われる。
- ・格差があり貧困者は高い教育を受けられない。
- ・子が発達障害を抱えているが、その相談窓口、学校の対応、全てにおいて取り組みが悪い。

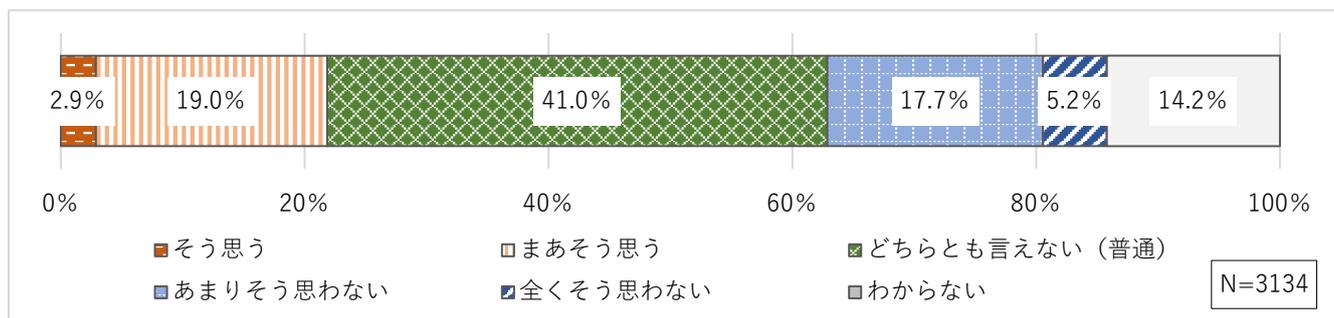
■分析・考察

- ・実現度は2.66と全体平均より低い。
- ・実現度において、子育ての有無、性別による回答の大きな差は見られないが、16～24歳からの評価は全体より高い傾向が見られ、当事者である若者は他の世代が思うほど悲観していないと考えられる。
- ・○×評価において、×評価が○評価を上回っており、特に虐待やいじめなど、権利が侵害される事態に対する対応が課題となっていると考えられる。

(来年度以降は経年比較も入ります)

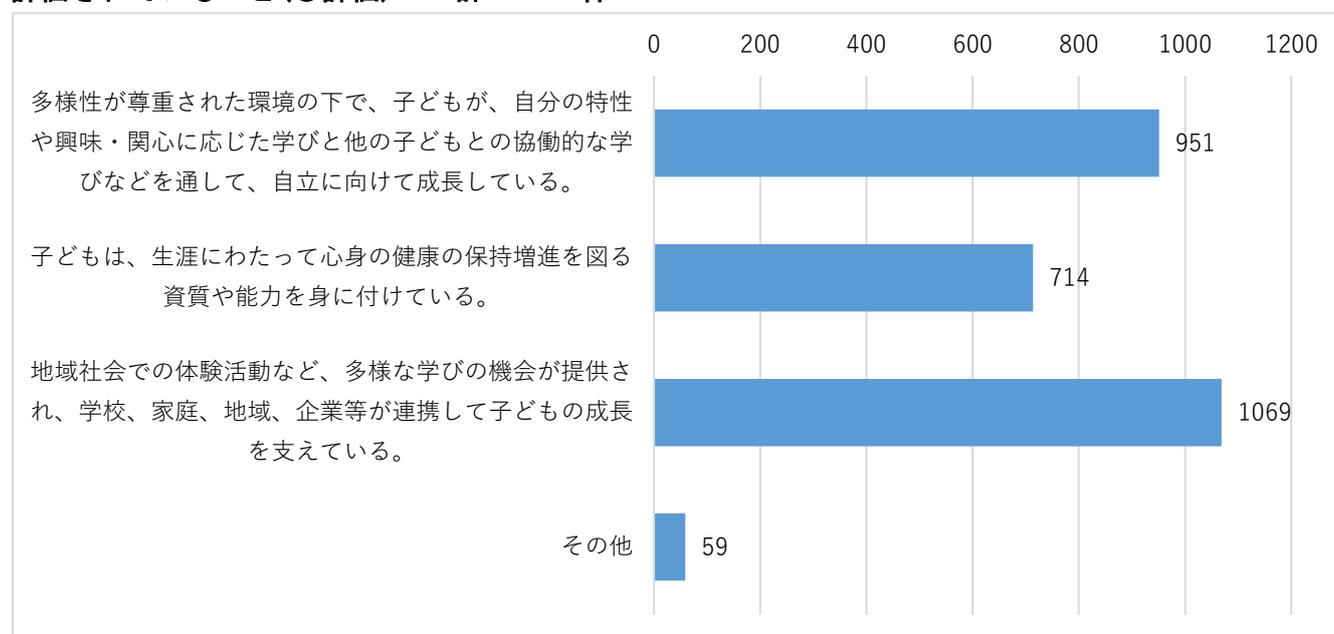
■基本目標③「安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 2.96
-------------------	--------------



■回答の理由

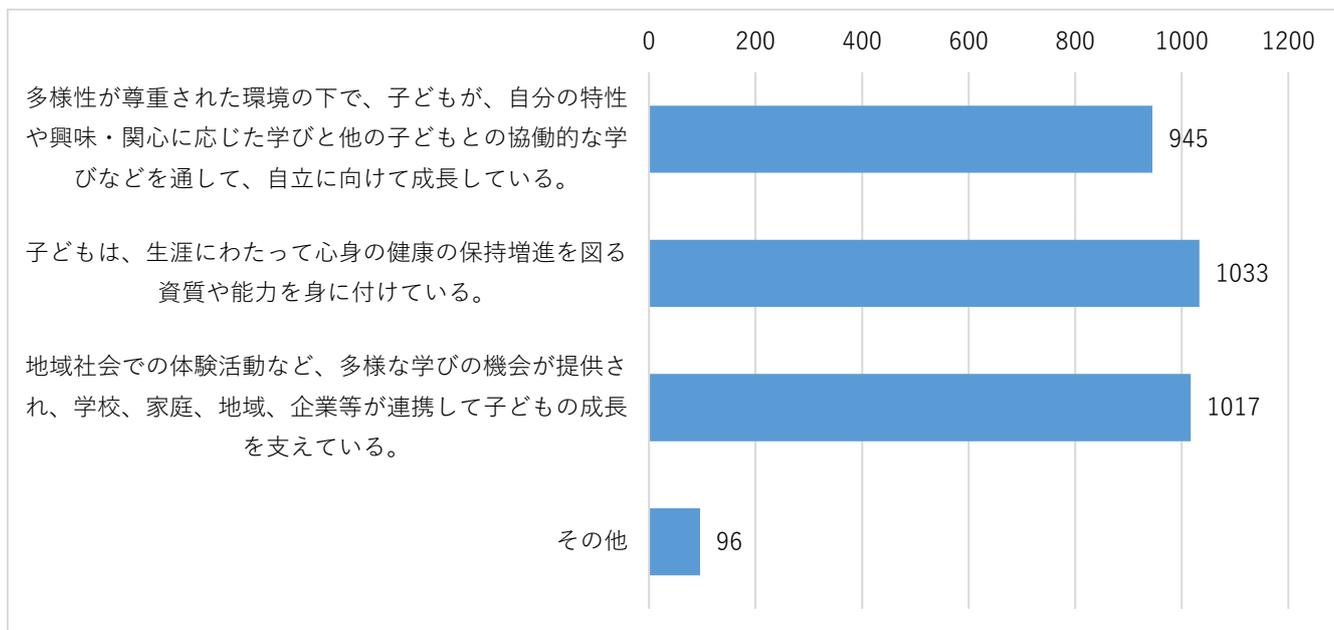
評価されていること(○評価) 計 2793件



《その他の意見》

- ・多様な分野の職業が登場し、それに伴い様々な授業や行事等を通して子供達が多種多様な分野の職業に興味と関心を持つようになったのは素晴らしいと思います。ただ、その一方で一部の教員によるハラスメントや圧力によって、若い方が健やかな成長を妨げる要因となっている事例もあり、個人的には若い方の心身の健康や自由性にはやや実現が難しく感じる部分もあります。
- ・札幌市環境プラザや札幌市青少年山の家といった、環境問題や他者との関わりについて幼少期から学び・体験する環境が整っている。
- ・札幌市は子どもが色々選択する環境(機会)があると思う。
- ・図書館など、学びのための施設が備わっている。

課題となっていること(×評価) 計 3091 件



《その他の意見》

- ・発達障害の子を育てる親として、相談できる身近な場所や行政に相談した際の情報提供が不十分と感じる。また、周囲の理解も不十分。
- ・家庭での教育力の低下。他者意識、モラル意識が薄い。ゲームへの依存により心身の健康保持増進は難しく、家庭に頼るところが大きいため。
- ・教員の質・量ともに絶対的に不足し、一部の教員に過重な負担がかかっている。
- ・勉強、運動の両立は難しい。教育現場の充実、学校の快適なグラウンド整備等が必要。
- ・母子家庭は生活に困窮していて子供は進学できない。
- ・校則は子供の自由、自主性を抑え込んでいる。制服、服装、髪型の強制など時代錯誤としか思えない。
- ・全体的にはいじめ等があるようですが、それを解決しなければ理想が達成できないのでは。

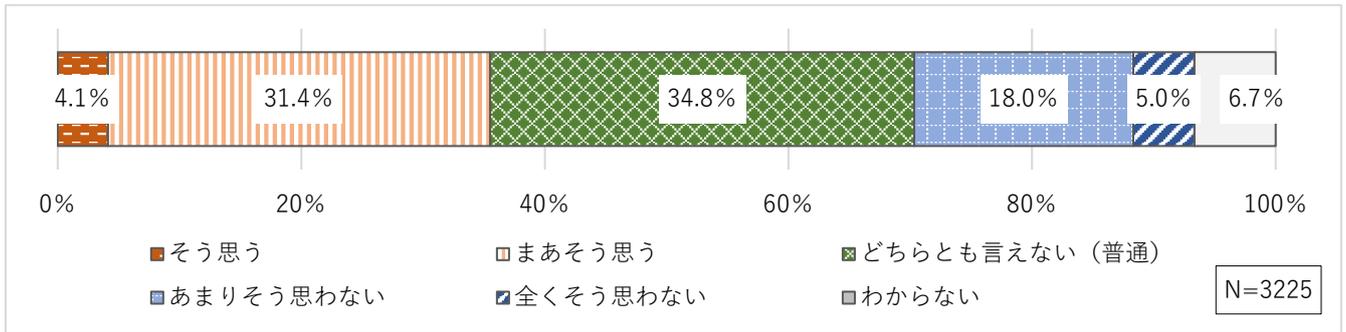
■分析・考察

- ・実現度は 2.96 全体平均より低い。
 - ・実現度において、子育ての有無、性別による回答の大きな差は見られないが、16～19 歳からの評価は全体より高い傾向が見られ、当事者である若者は他の世代が思うほど悲観していないと考えられる。
 - ・○×評価において、×回答の理由として「地域社会での体験活動など～」を選択する 75～79 歳の割合が全体より高い傾向が見られた。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

【2. 生活・暮らし分野】

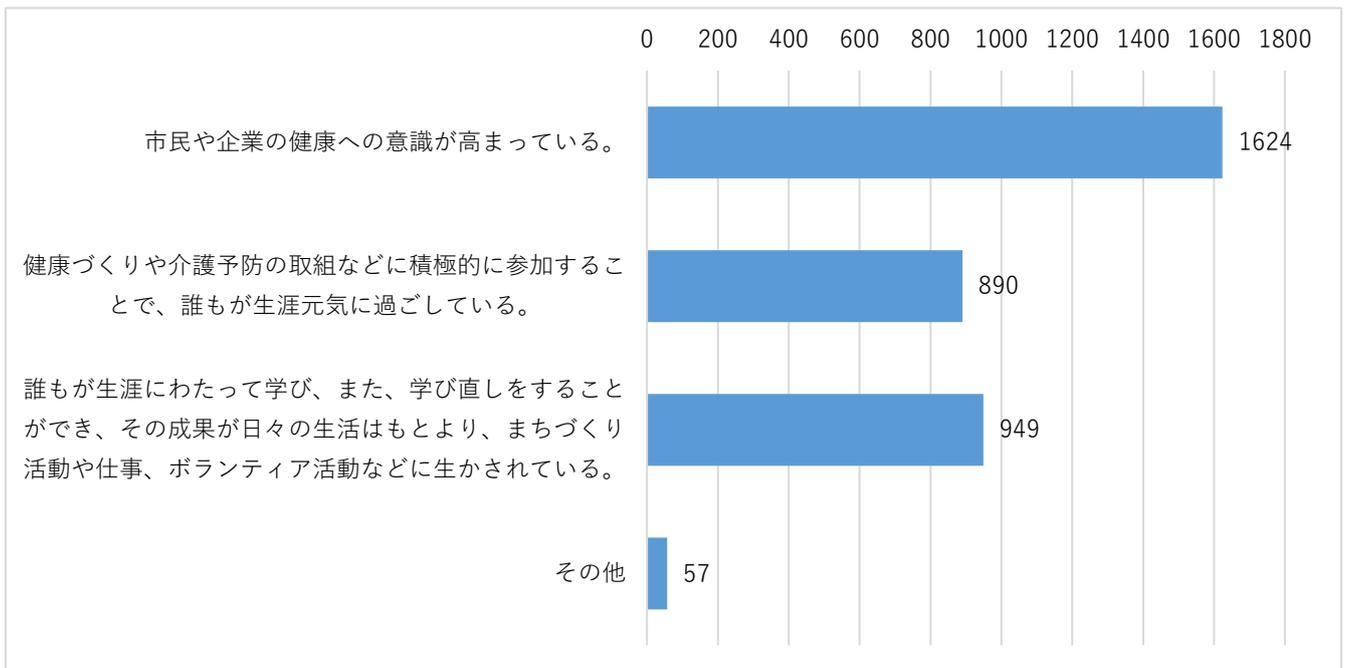
■基本目標④「誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 3.12
-------------------	--------------



■回答の理由

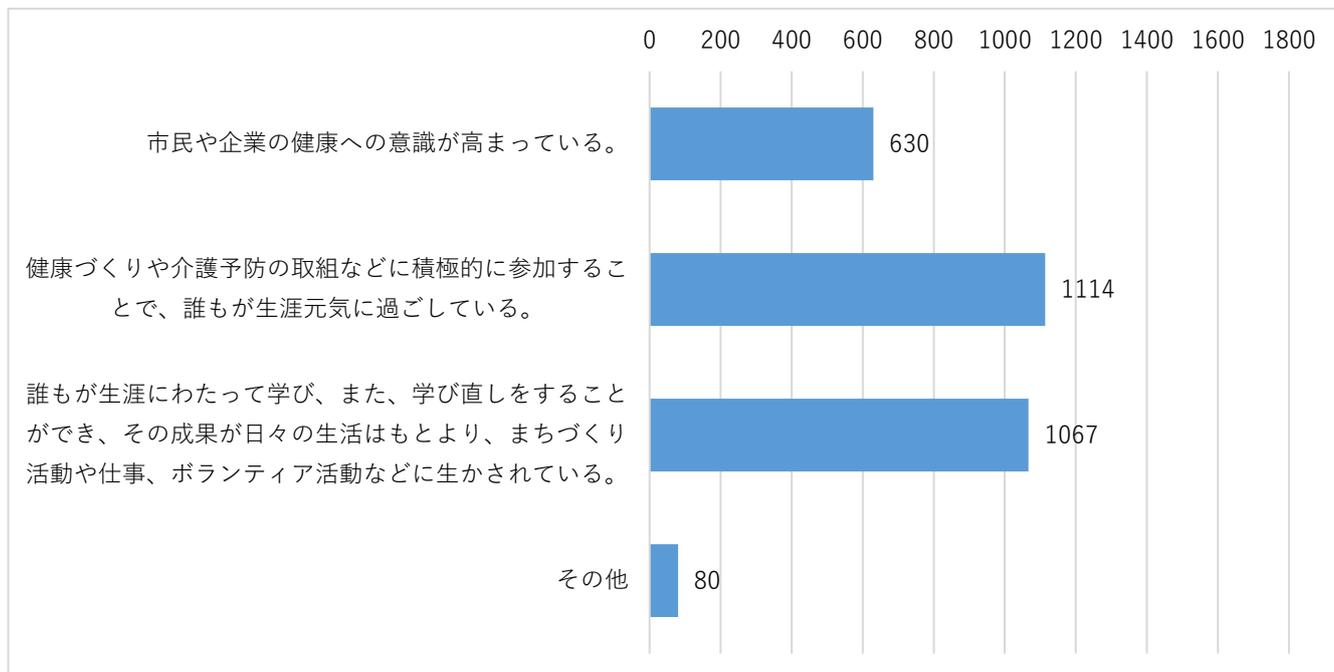
評価されていること(○評価) 計 3520件



《その他の意見》

- ・市民スポーツの環境が整っている。
- ・医療施設が充実している。
- ・コールセンターの仕事先が多い。
- ・全体的に高齢者向け施策は充実しており、ノウハウもあるように感じます。年寄りの方が下の世代より元気です。
- ・広報さっぽろの介護予防(予防)など内容が良い。
- ・各図書館の蔵書は近隣の図書館施設で貸出が可能であり、情報館においては多くのデータベースを閲覧・印刷可能であり、日常生活の学びに貢献している。
- ・健康に関する施設や、多様な仕事は充実していると思う。

課題となっていること(×評価) 計 2891 件



《その他の意見》

- ・ 経済的な格差を感じる現状では「誰もが」とは思えない。
- ・ 子育て世代への助成がないので、学び直したりボランティアなどをする余裕が生まれない。子供の遊び場、科学館、博物館、美術館など体力知力を養う場が少ない。
- ・ 増税、物価上昇、収入減でとても生活しづらい。
- ・ 高齢者に対する勉強会などは広報によく載っているが若者向けはあまり見ないため若者を蔑ろにしている気がする。
- ・ お金がないと病院にも行けないから健康でいられない。
- ・ 単なる健康(ウェルネス)ではなく、人間らしさを伴うもの(ウェルビーイング)を目指すのが現代の考え方ではないのか？

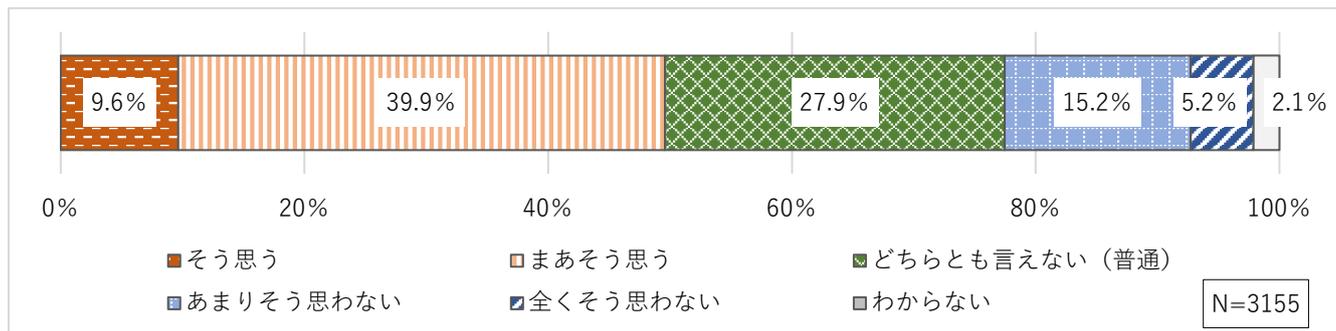
■分析・考察

- ・ 実現度は 3.12 と全体平均より低い。
- ・ 実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は 16～19 歳からの評価が全体より高い傾向が見られた。
- ・ ○評価と×評価の差から、市民、企業の健康への意識は高まっているものの、健康づくりや学び直し等、具体的な取組に関しては課題が感じられる。

(来年度以降は経年比較も入ります)

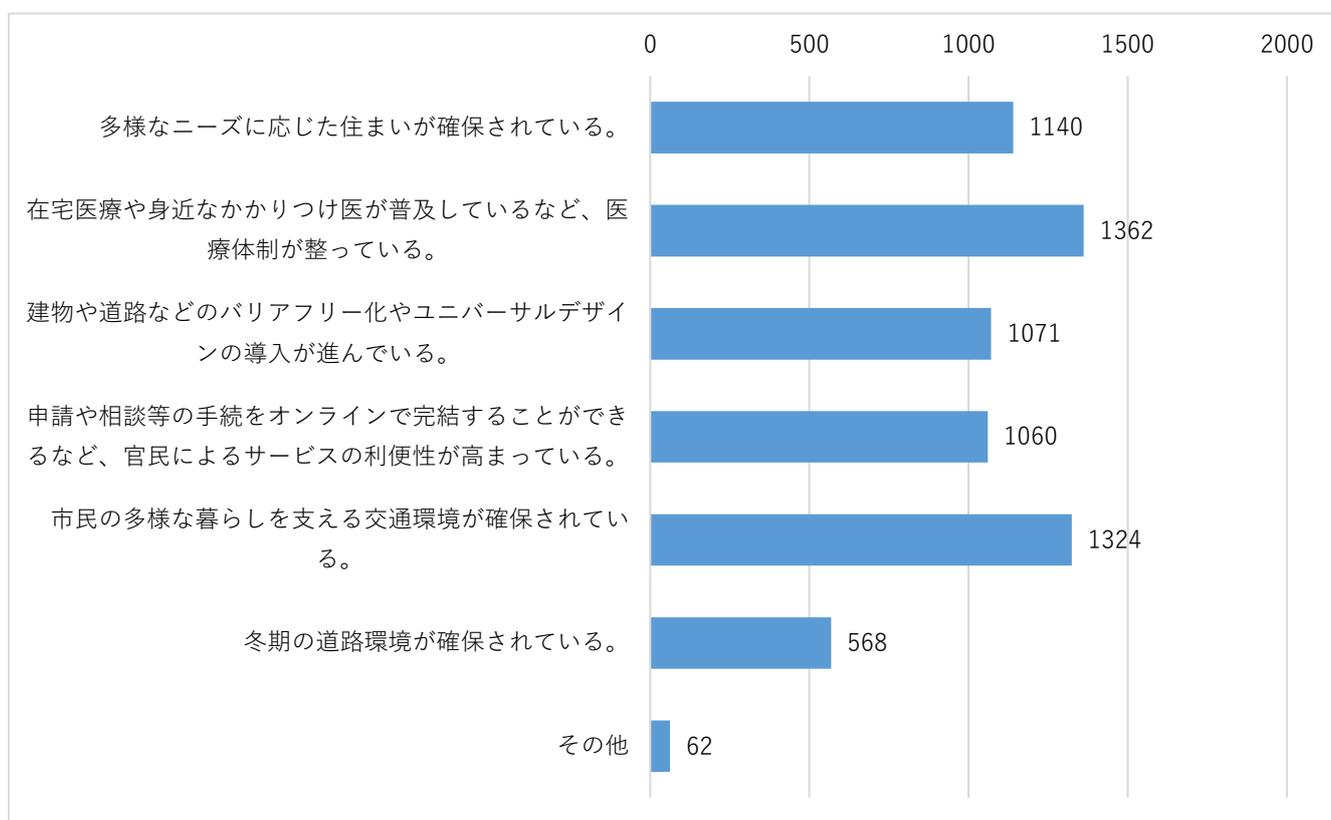
■基本目標⑤「生活しやすく住みよいまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	3.34



■回答の理由

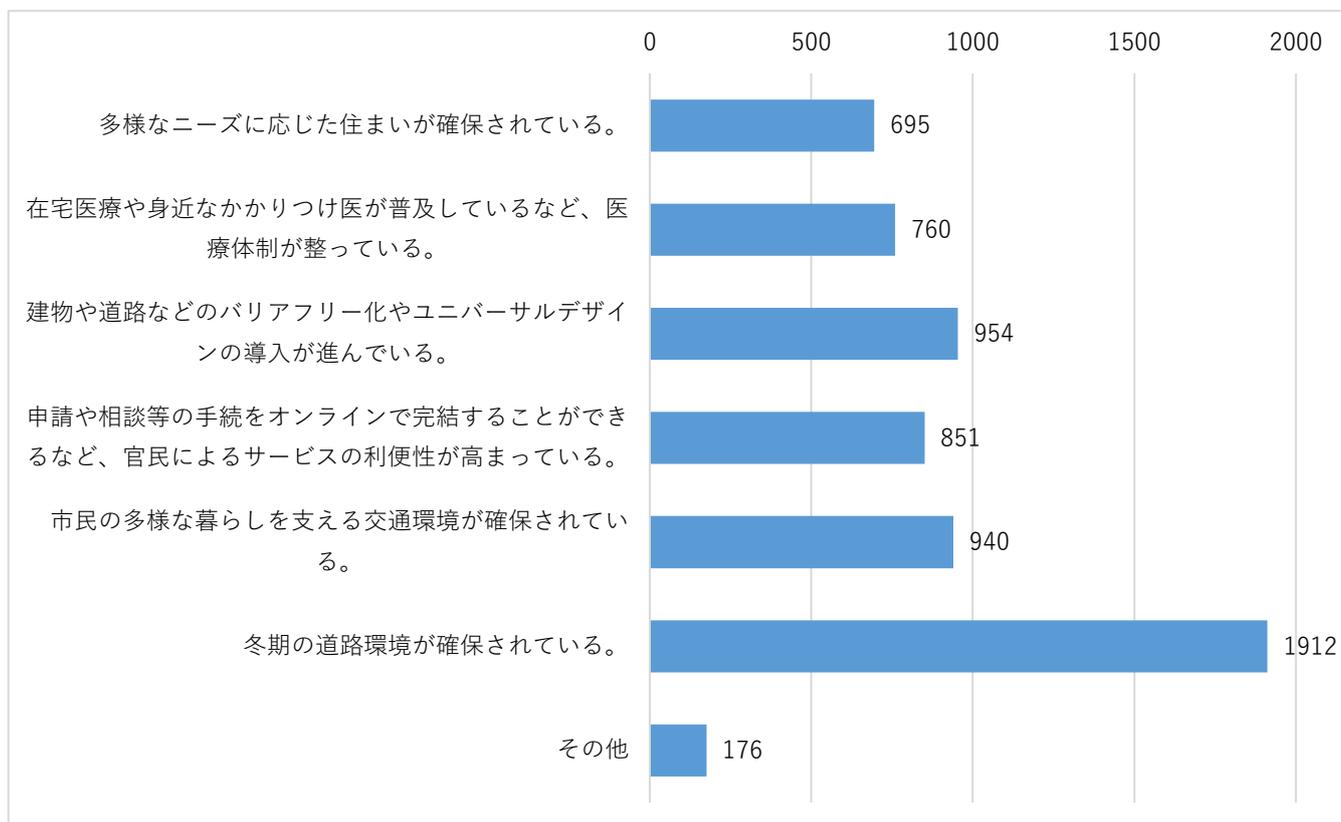
評価されていること(○評価) 計 6587件



《その他の意見》

- ・ 緑が多い。
- ・ バリアフリーやサービスのIT化など改善途中だと思う。他の地域より進んでいると思う。
- ・ 2008年サミットにより北24条の繁華街の違法店舗も一掃され、安全で住みやすい。
- ・ スーパーやドラッグストアなどが狭い範囲にいくつもあり、生活しやすい。
- ・ 除排雪がすばやいのは本当に助かります。
- ・ 物価が安く、食事が美味しい、緑が多い。
- ・ 公園が多いから住みやすいと思う。

課題となっていること(×評価) 計 6039 件



《その他の意見》

- ・大雪等の異常時、災害時等の対応が遅い。
- ・オンライン申請良いけど高齢者には難しい。スマホ持っていない人もいます。オンラインむずかしくてできないと相談受けて手伝うことが増えた。
- ・市街地中心の再開発とその他の空き家・古い建物の管理との差を感じる。
- ・毎年年末になると必要ない工事ばかりに経費をかけて、冬道の雪かきが進んでいない。もっと除雪にお金をかけてほしい。子供たちの通路を確保してほしい。歩行者通路が除雪されていないため、道路を歩かざるをえない状況をどうにかしてほしい。道路渋滞の緩和のために、除雪をしてほしい！！
- ・道路に雪出しが多く散見されて渋滞になっている。
- ・雪のため点字ブロックが消えている。まに、車道は整備されているが歩道は整備されていないことが多い。
- ・パソコンやスマートフォンがなくても住みやすくなってほしい。
- ・在宅医療につなげるまでの手続きが高齢者には複雑すぎる。介護認定次第で受けられるサービスが違い過ぎる。要介護認定が低い程家族の負担が大きいこともあるが、この支援が薄いとを感じる。受けられるサービスについて、区役所の説明が足りないと思う。誰しもがよく動ける子供が同居しているわけではないと思います。
- ・主要道路の舗装状況が悪い。
- ・老朽化している上下水道の整備を忘れていないか。各地下鉄駅のひび割れ、雨漏り補修等、そっちにも目を向けた方が良いと思うが。

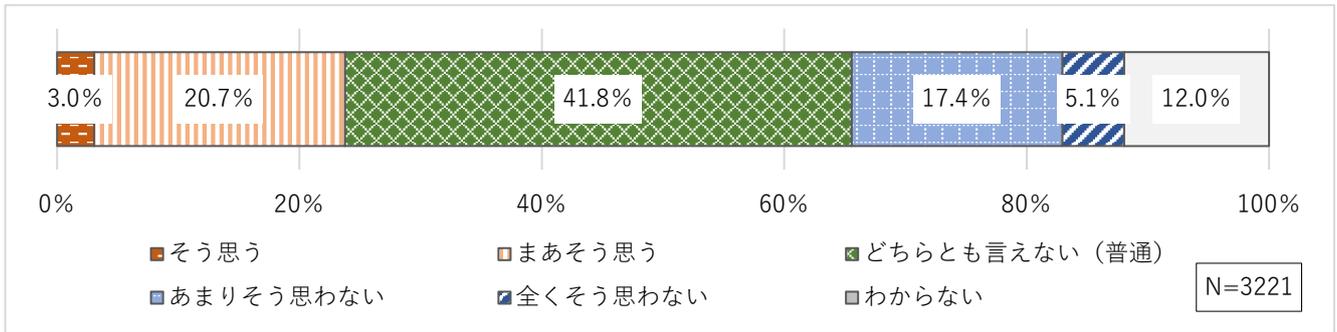
■分析・考察

- ・実現度は 3.34 と全体平均より高い。
- ・実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は 16～24 歳からの評価が全体より高い傾向が見られた。
- ・○評価と×評価の差から、冬季の道路環境に課題があると考えられる (来年度は経年比較も入ります)

【3. 地域分野】

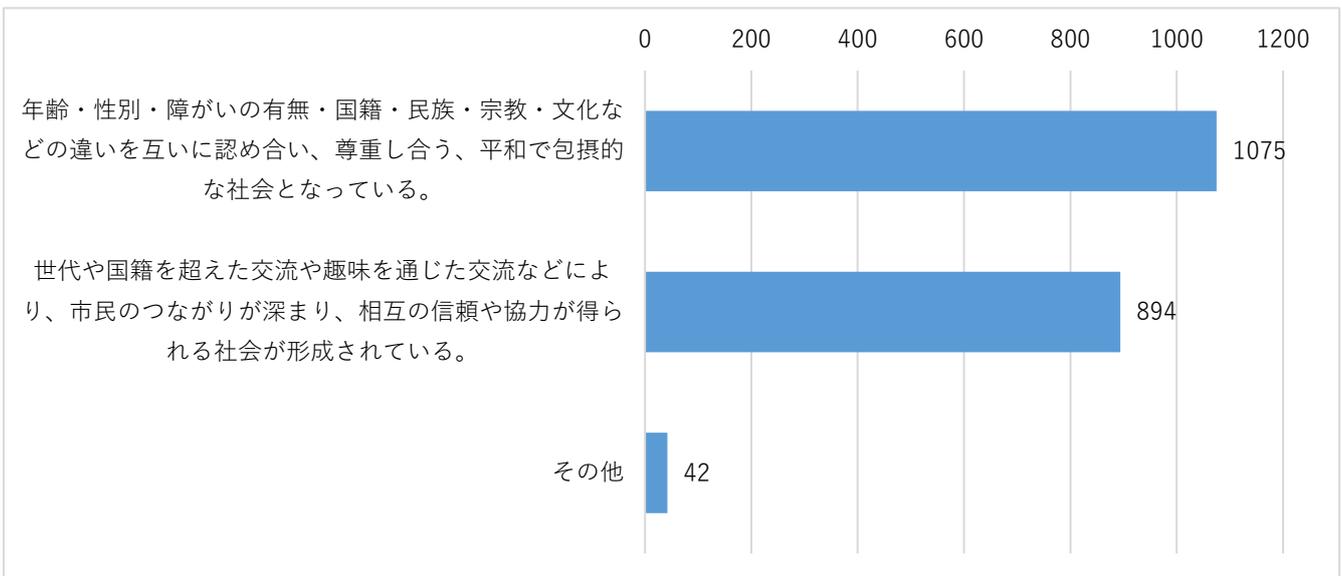
■基本目標⑥「互いに認め合い、支え合うまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	2.99



■回答の理由

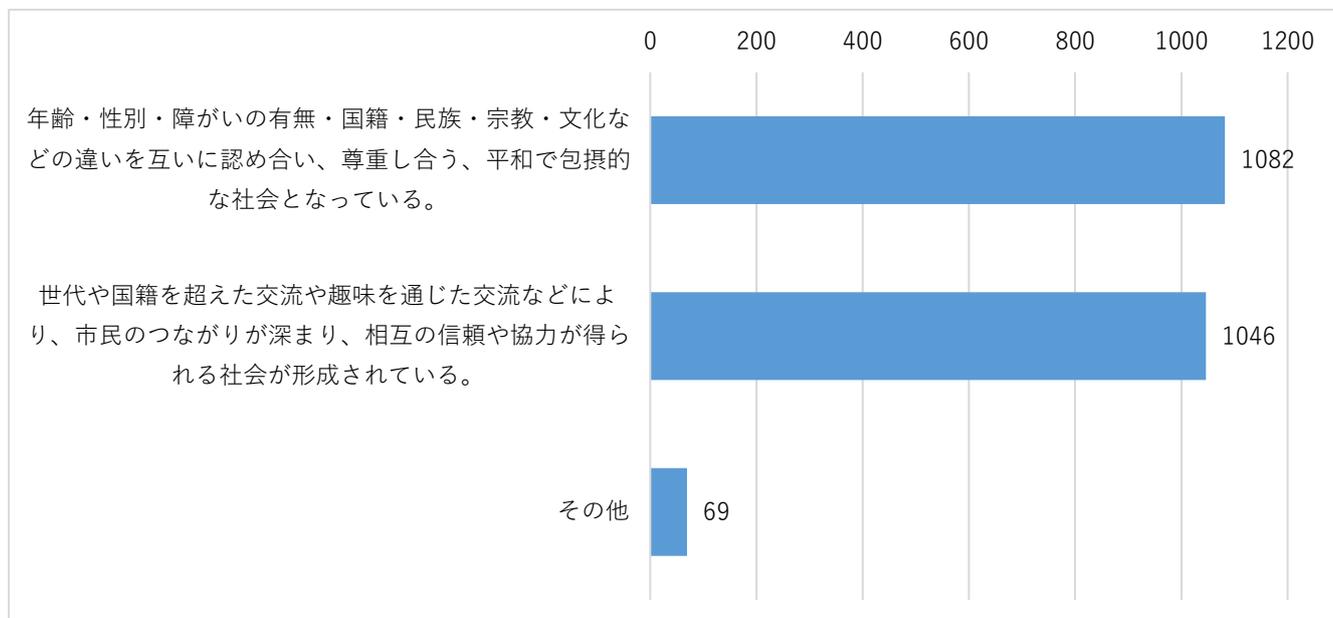
評価されていること(○評価) 計 2011件



《その他の意見》

- ・近所の人々が助け合っている。
- ・異文化への理解度は中々あると思う。
- ・冬の雪道でスタックした際、周囲の人々にたすけられた。
- ・相互の気遣いや思いやりを感じられる。

課題となっていること(×評価) 計 2197 件



《その他の意見》

- ・まだまだ理解が進んでいない、障がいへの理解協力の啓発を
- ・全体的に希薄で、衝突も繋がりもない。
- ・現実をあまくない。対面だけ理解しているふりをしている人も多い。
- ・全ての施策にジェンダーの視点を取り入れる(ジェンダー主流化)ができていない。
- ・強引な宗教勧誘をしてくる団体が近隣で見受けられる。

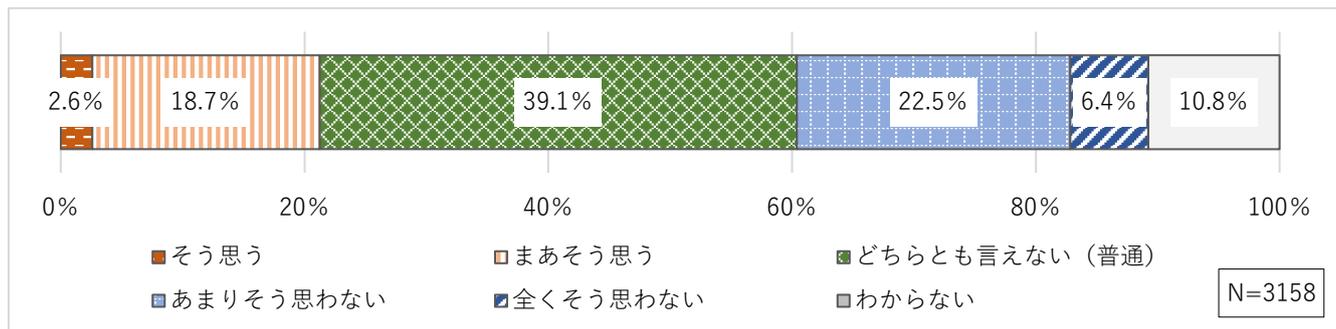
■分析・考察

- ・実現度は 2.99 と全体平均より低い。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○評価と×評価の差から、認め合い、尊重し合うことはできていても、より一歩進んだ、つながりや協力という部分までは進んでいないのかと考えられる。

(来年度以降は経年比較も入ります)

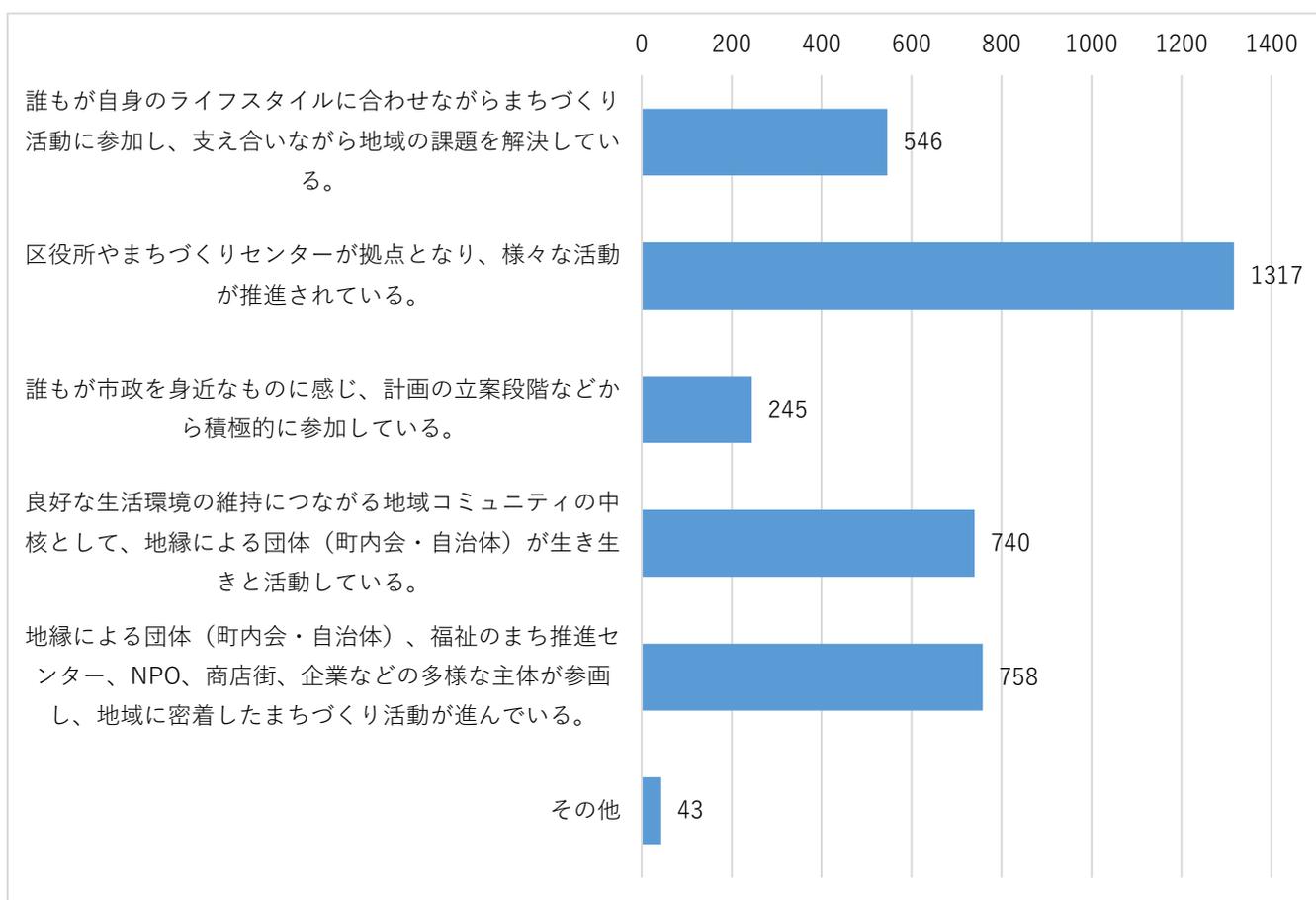
■基本目標⑦「誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 2.87
-------------------	--------------



■回答の理由

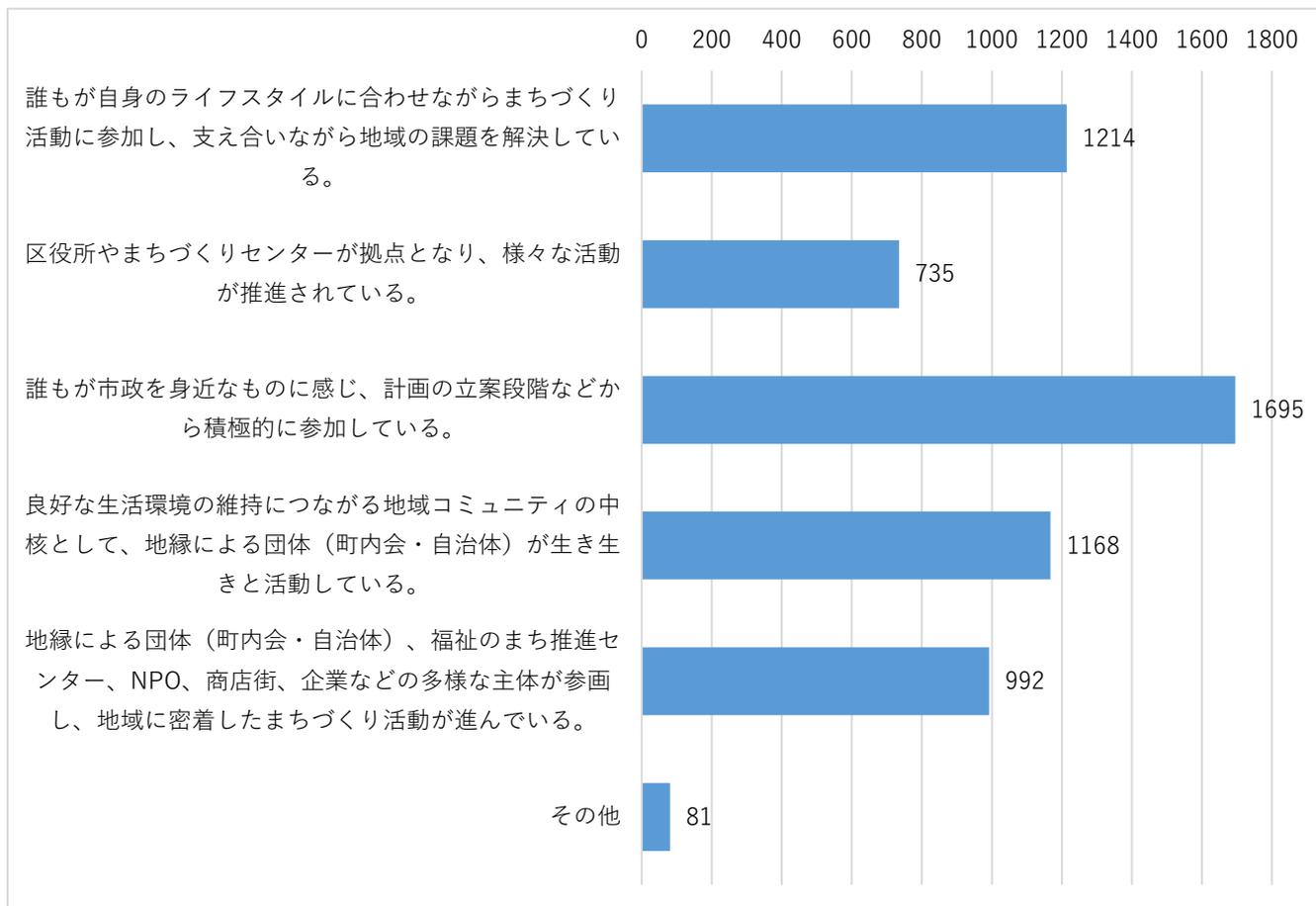
評価されていること(○評価) 計 3649 件



《その他の意見》

- ・町内会主催のおまつりがきちんと行われている。
- ・地縁による団体は、活動はしていますが、後継者、なり手不足問題を抱えており、いきいきと活動しているとまでは言えないと思います。
- ・広報さっぽろや地域の広告を見ると何か実施されているとわかるが、それが実現と結びつくか判断できない。

課題となっていること(×評価) 計 5885 件



《その他の意見》

- ・町内会自治体が若者による活動がなされていない
- ・町内会の班長の引き受け手がなく特定の家負担がかかる。
- ・町内会に頼らないでほしい。高齢者か共働きかしかいないのに、広報の配布や会合など、負担しかない。家族構成や働き方、近所との付き合い方など時代とともに変わっているのに、そこだけ昭和でとまっている。新しい仕組みを早急に立案してほしい。
- ・コロナの影響で町内会などの様々な活動が止まってしまっている。
- ・地域による差が大きいような気がする。行政への意見表明の機会は昔より多いけど、検討されている実感までは持てない。
- ・働き世代がまちづくりに参画するようなシステムを確立するべきだと考えます。

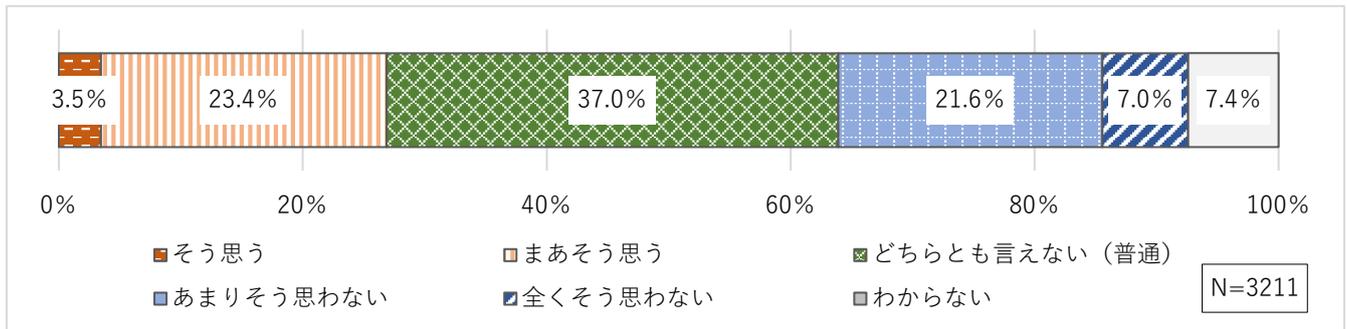
■分析・考察

- ・実現度は2.87と全体平均より低い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
 - ・○評価と×評価の差から、区役所やまちづくりセンターの活動は評価されている一方、市政への市民参加という点に課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

【4. 安全・安心分野】

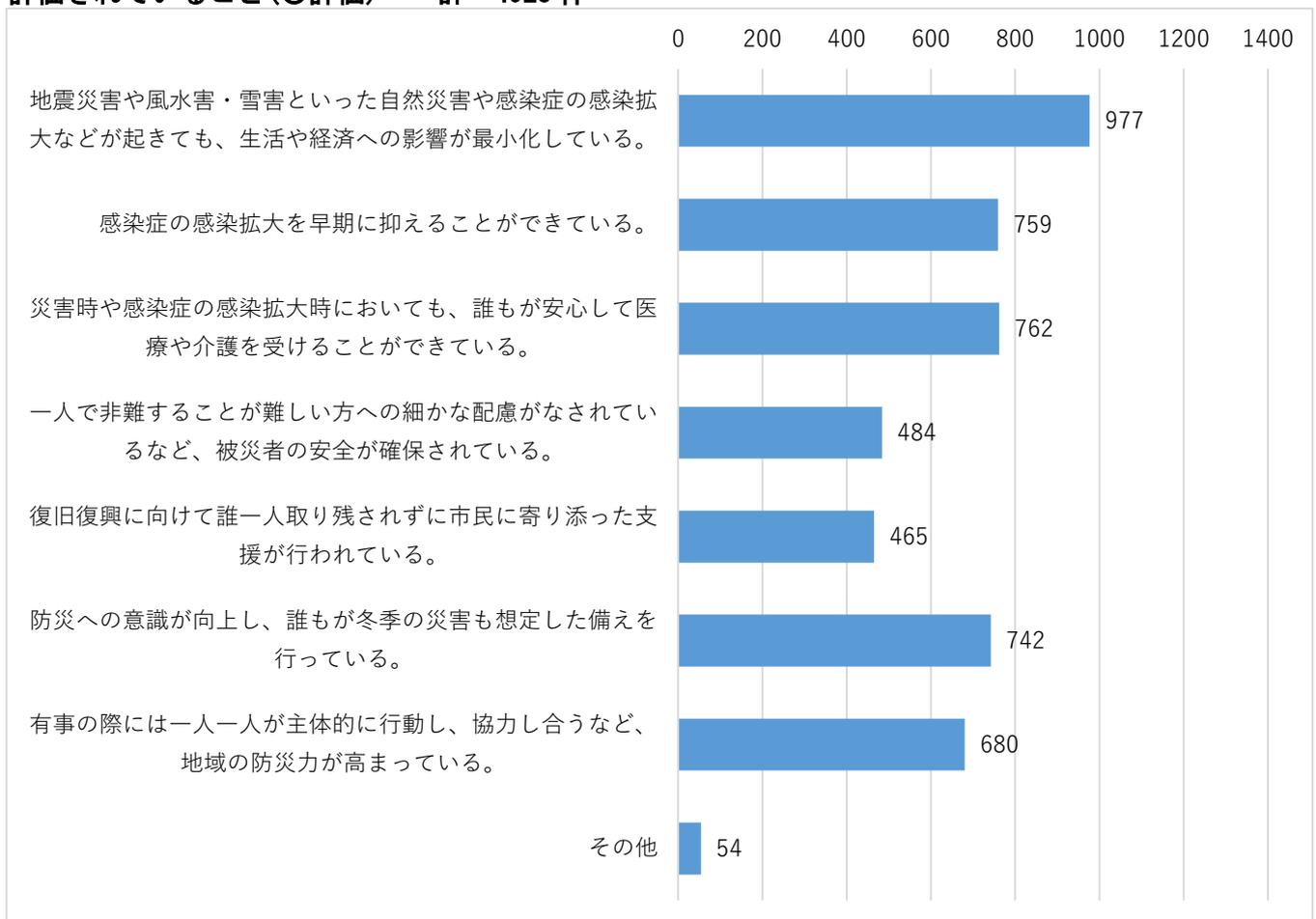
■基本目標③「誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 2.94
-------------------	--------------



■回答の理由

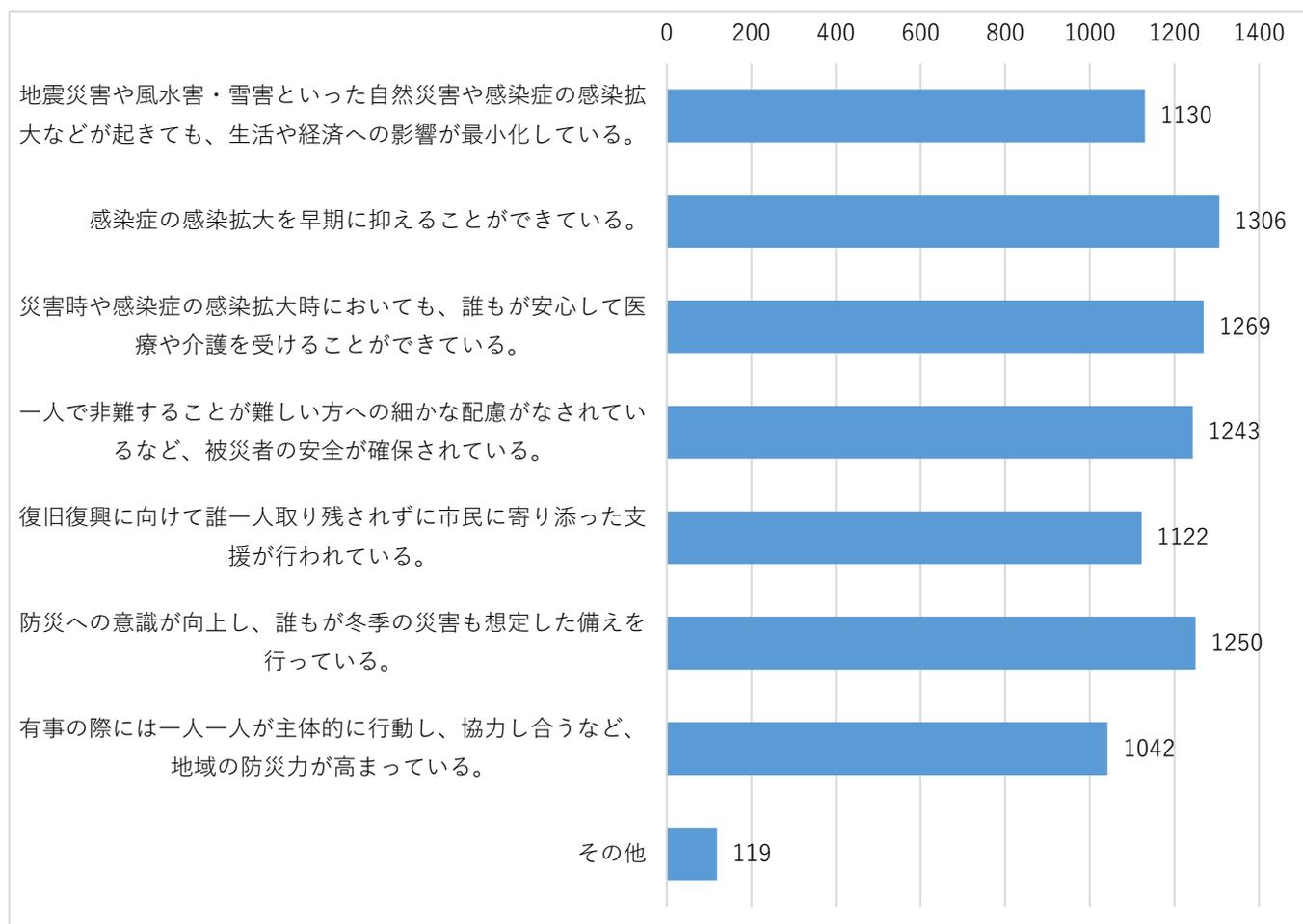
評価されていること(○評価) 計 4923 件



《その他の意見》

- ・ 一生懸命な取り組みが伝わってくるまち。
- ・ 2018年の大地震があったことから備えがされていると思う。
- ・ 停電発生時でも断水が最小限となる体制、有事の際にも柔軟な対応ができるような危機管理体制を行っている。
- ・ 公的機関における有事の対応に対しての検討がなされている
- ・ コロナの療養キットが素晴らしい。

課題となっていること(×評価) 計 8481 件



《その他の意見》

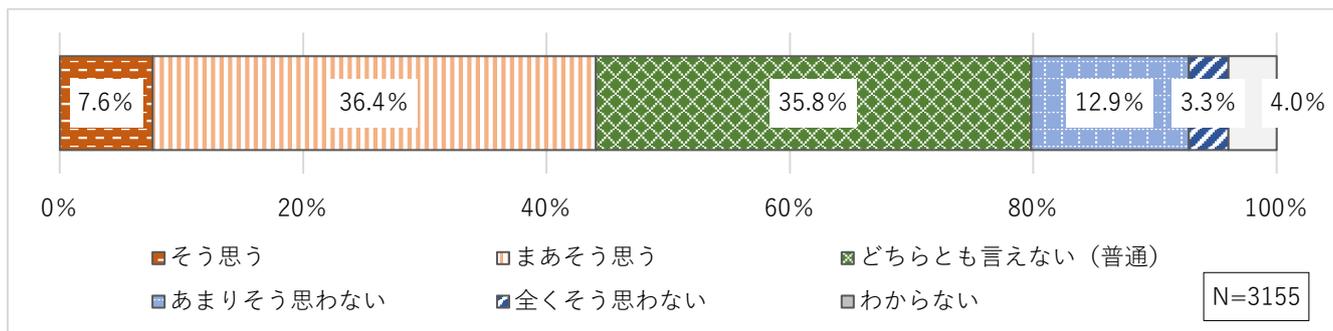
- ・主に若者に防災災害の予防意識が乏しい。
- ・雪害について予見、計画性、準備の計画性がない。
- ・コロナの時は保健所の対応はおいついていなかった。
- ・コロナになって年休をとっても人手不足のためオンラインで働かされている。早急にシステムを整えるべきかと思う。
- ・冬季の災害には不安が残る。
- ・意識は高まっていると思うがまだまだ全体的には低いと思う。
- ・もう少し動物も一緒に避難できる場所を作って欲しい。
- ・近所付き合いもなく、誰に頼れば良いのかもわからない。余程の事がなければ、避難所にも行かないと思う。

■分析・考察

- ・実現度は2.94と全体平均より低い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
 - ・コロナの影響もあると思われるが、すべての項目において×評価が○評価を上回っており、防災、復興に関する課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

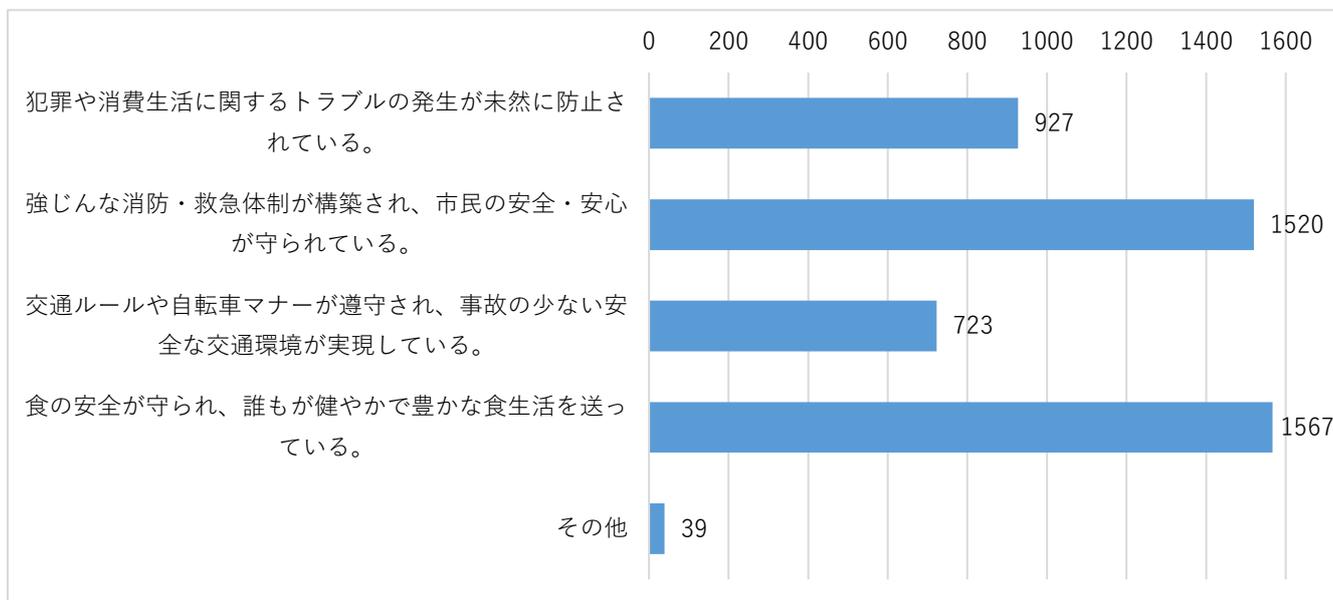
■基本目標⑨「日常の安全が保たれたまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	3.34



■回答の理由

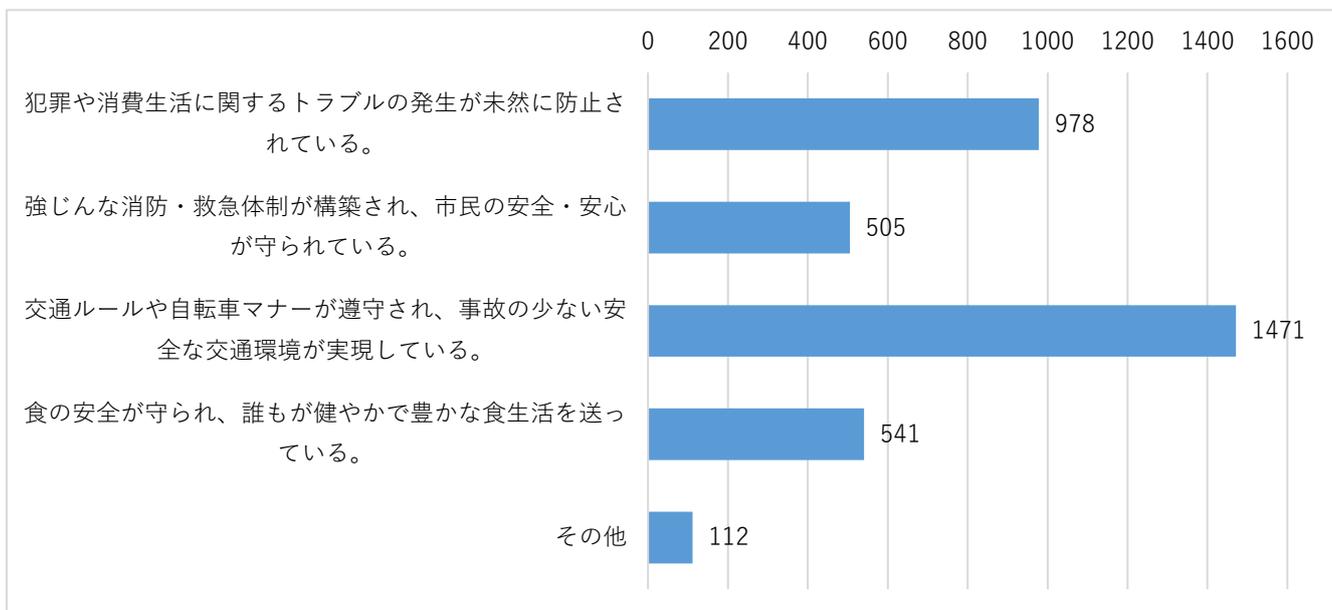
評価されていること(○評価) 計 4776件



《その他の意見》

- ・夜間も安心して出かけますし、治安に問題はないかと。街灯が多くて安心です。
- ・市の人口に対して治安レベルは比較的高いほうだと思っている。
- ・窃盗・障害事件は聞いたことなく、火災発生の際は、消防・警察の動きは問題ない。
- ・自転車のマナーが良くなったとは全く思わないが、事故自体は少なくなったと感ずるため。
- ・毎晩のように自宅付近をパトカーが巡回しているため安心できる。

課題となっていること(×評価) 計 3607 件



《その他の意見》

- ・札幌中心部の自転車マナーがよろしくないと思います。専用道路の整備されていない中でのポロクルの取り組みなど、一部の事業者や利用者には利があるかもしれないが、不安や不満に思うことも多い。
- ・特殊詐欺は増え続け、雪道でも自転車に乗る老人が多い、食の安全は生産者が努力していて、市がなにかやってるわけではない。
- ・家の前に消火栓があるが、除雪は消防も町内も行わず大変である。
- ・頻繁に熊を出没。出くわしても逃げきれない。どうにかしてほしい。
- ・自転車も車も人もマナーが悪すぎる。
- ・自転車専用道路があると安心です。子供に車道を走らせられません。
- ・消費者被害の多様性に消費者センターはついていけない。
- ・変質者が減らないばかりか、増えている。また、食の安全については、市内で未だに生レバーや半生の肉類（焼鳥含む）を提供している店がごまんと有る。（保健所の取り締まりが甘いのでは？）
- ・清田区に警察署がない。同じ市民・納税者なのに安心安全な生活が不平等な現状は納得できない。
- ・冬の積雪が多い時に、すぐに消防・救急がこれるのか不安・心配。

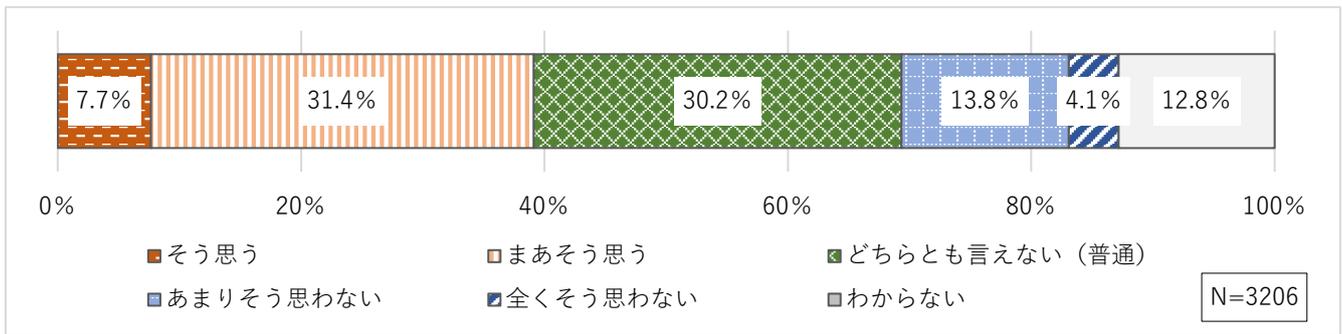
■分析・考察

- ・実現度は3.34と全体平均より高い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は20～24歳からの評価が全体より高い傾向が見られた。
 - ・○評価と×評価の差から、消防、救急体制や食の安全に関しては評価されている一方、交通ルールや自転車マナー等、交通安全に関することに課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

【5. 経済分野】

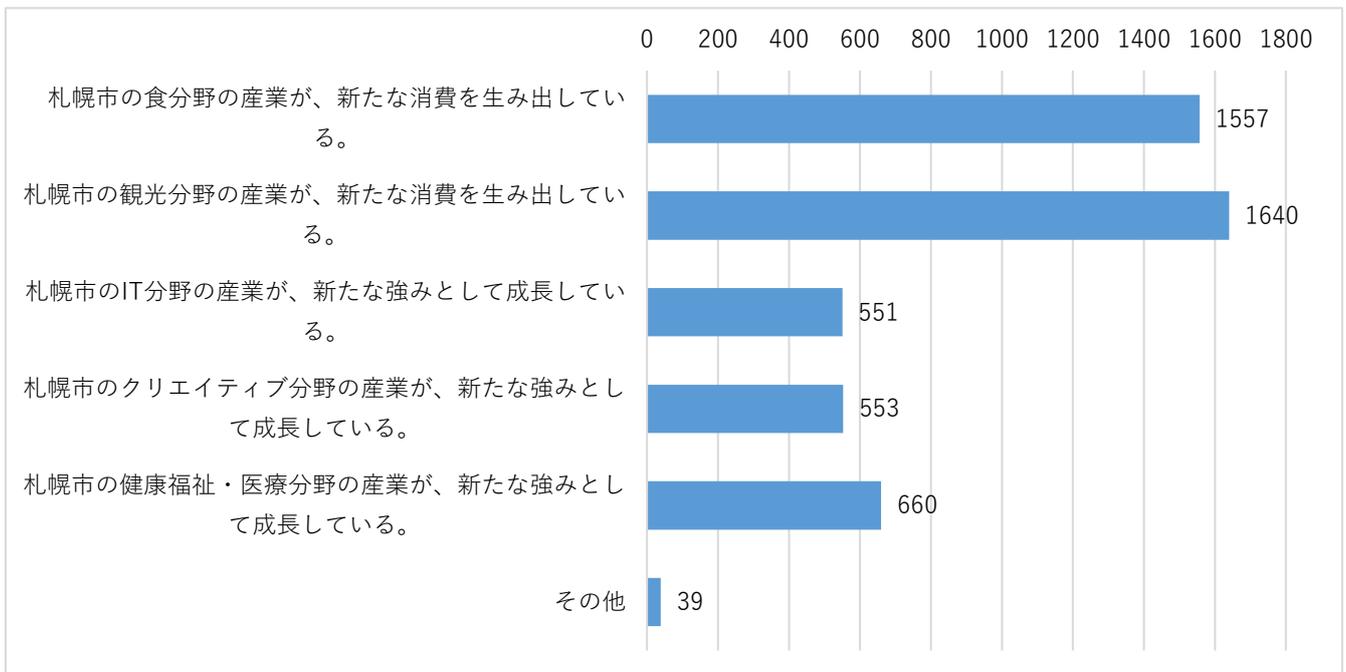
■基本目標⑩「強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	3.29



■回答の理由

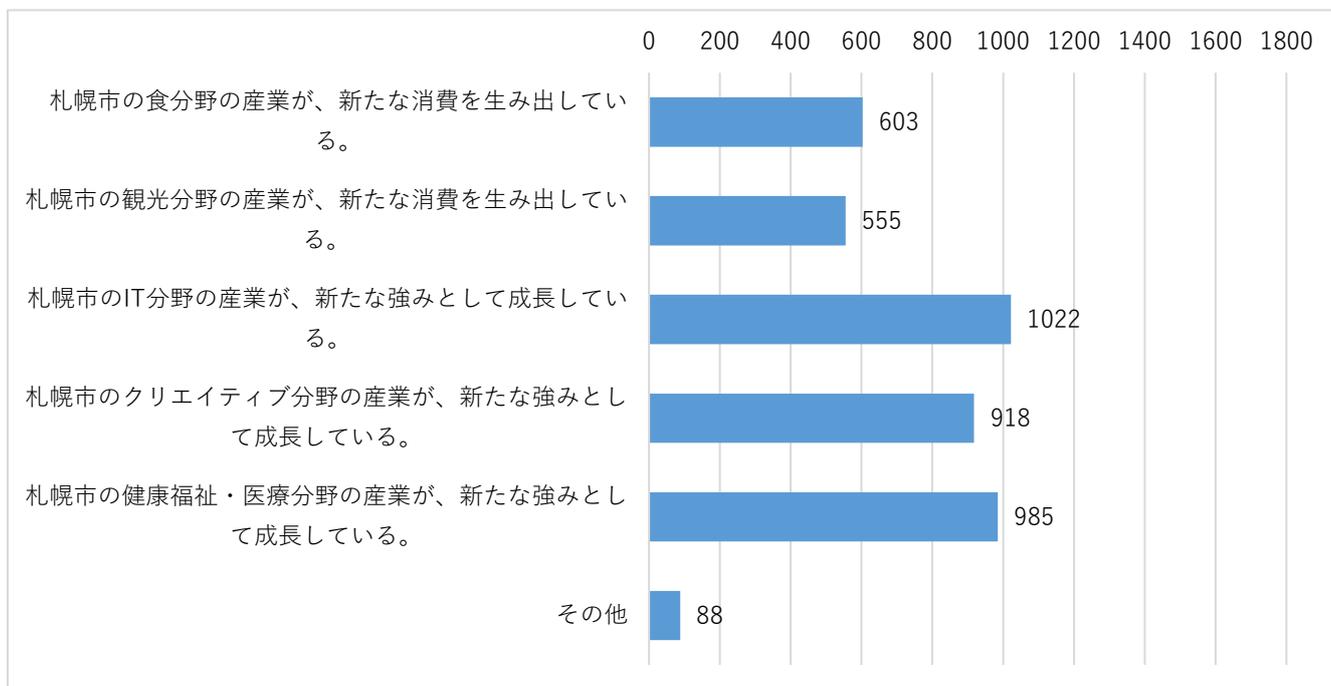
評価されていること(○評価) 計 5000件



《その他の意見》

- ・農、漁業の方々ががんばっていると感じる
- ・道内各自治体でそれぞれの名産等を生かした祭りやイベントが多く、観光消費を高めていると強く感じる。
- ・雪まつり等観光客は増加している。
- ・北海道の食文化や観光事業に関しては都府県に比べ安定しており重要な財源であることは間違いなく素晴らしいと思うが、その他分野は一般市民が認知出来るほどの新たな消費を生み出しているとは言えないと思う。
- ・北海道の中心として。及び、ニトリやツルハなどの札幌・北海道発祥の大企業が本社を置いている点。
- ・食べ物は美味しいし、全国、世界に誇れる街だと思う。

課題となっていること(×評価) 計 4171 件



《その他の意見》

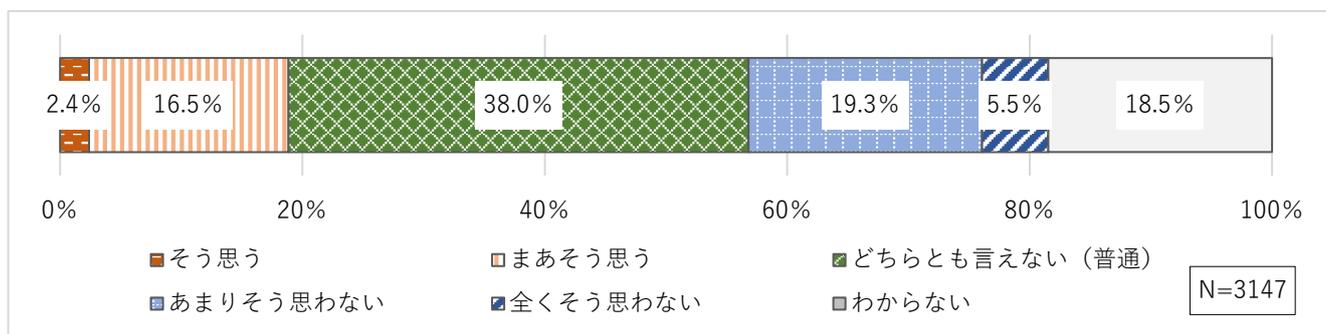
- ・一次産業はさかんなのに道民は農産・海産の物価高に苦しんでいる。
- ・外国人主体の変化は残念に感じている。
- ・正直、札幌は良いまちと思うが、強みは分からない。大通り公園の食のイベントは辟易とすることが多いです。これによってなりたっている企業や事業をする方が多いことも理解できますが・・・
- ・観光業がさかんになるのは良いこと。でも北海道の水源、土地が外国人に売られているのは問題。
- ・仙台、福岡に比べて地場産業が大きく発展しない、生産性が低い。
- ・主要産業がない。支店産業だったがそれも撤退しつつある。良い人が集まる様な行政サービスや助成金がないと発展しないと思う。寒いし遠いし、夏はいいけど、旅にはいいけど、住むのはちょっとねと思われているので。
- ・主に関東圏に将来の展望ある若者を労働力として搾取されている現状を改善しなければ上記のいずれもなし得ない。
- ・観光分野以外の印象があまりない。
- ・札幌を本拠地とする大企業が少ない。理系の学生の能力を活かした就職先が少ない。

■分析・考察

- ・実現度は3.29と全体平均より高い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は16～24歳からの評価が全体より高い傾向が見られた。
 - ・食と観光分野の産業は評価されている一方、これからの成長産業であるIT、クリエイティブ、医療分野の産業振興が今後の課題と感じられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

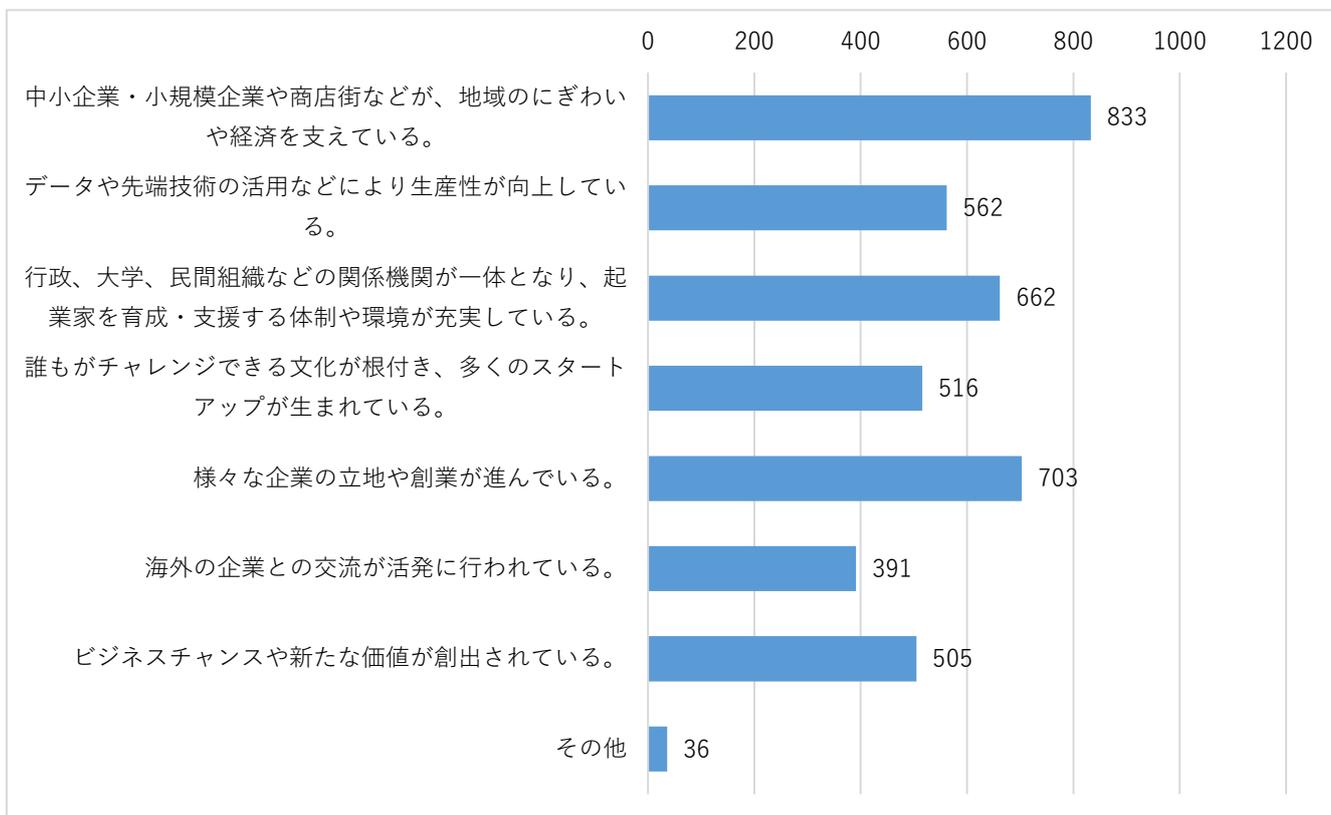
■基本目標⑪「多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	2.89



■回答の理由

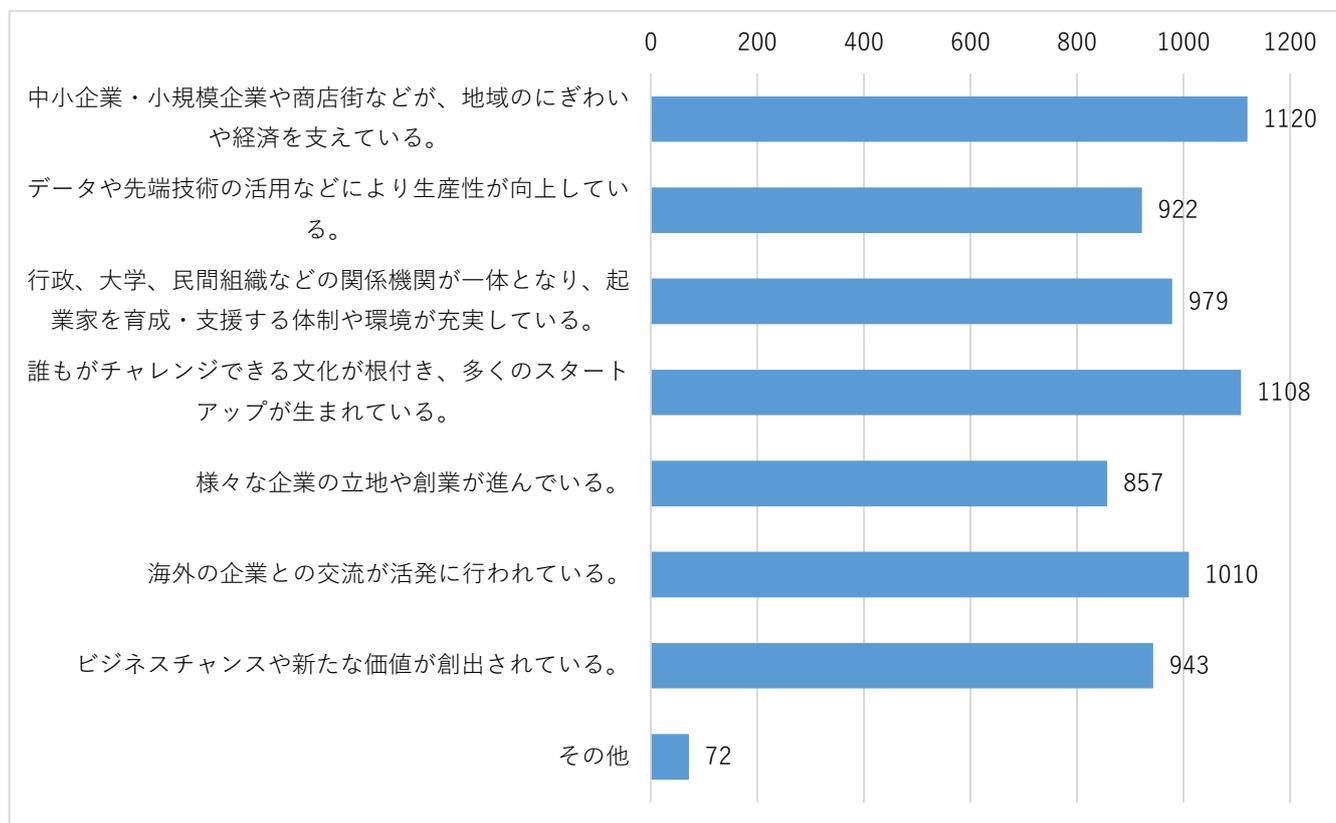
評価されていること(○評価) 計 4208 件



《その他の意見》

- ・ 就職先を探した際、ベンチャー企業の数が多いと感じた
- ・ 各種コールセンターが集積している。
- ・

課題となっていること(×評価) 計 7011件



《その他の意見》

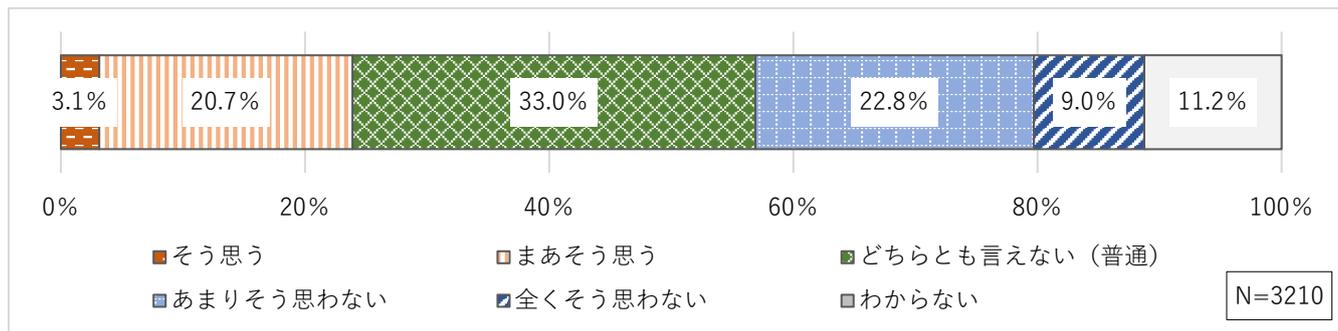
- ・日本ハムファイターズが札幌から移転したことからも分かる通り、自治体としては全くできていない。
- ・雇用の受け皿が不十分なので東京等へ人材が流出していると思います。
- ・中小企業の倒産が相次いでいて希望が持てない。
- ・企業支援体制の不足。
- ・若者のスタートアップにもっと協力しチャレンジできる風土づくり。

■分析・考察

- ・実現度は2.89と全体平均より低い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は20～24歳からの評価が全体より高い傾向が見られた。
 - ・すべての項目において×評価が○評価を上回っており、特にスタートアップや、海外企業との交流に課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

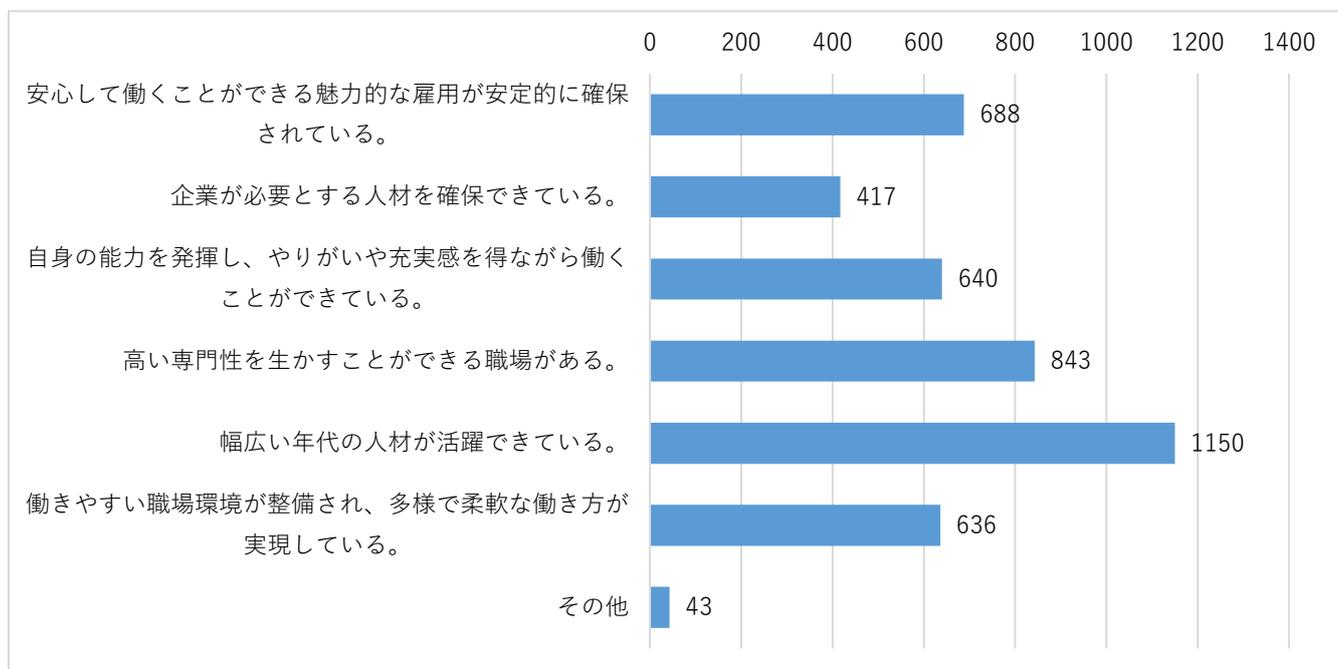
■基本目標⑫「雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 2.84
-------------------	--------------



■回答の理由

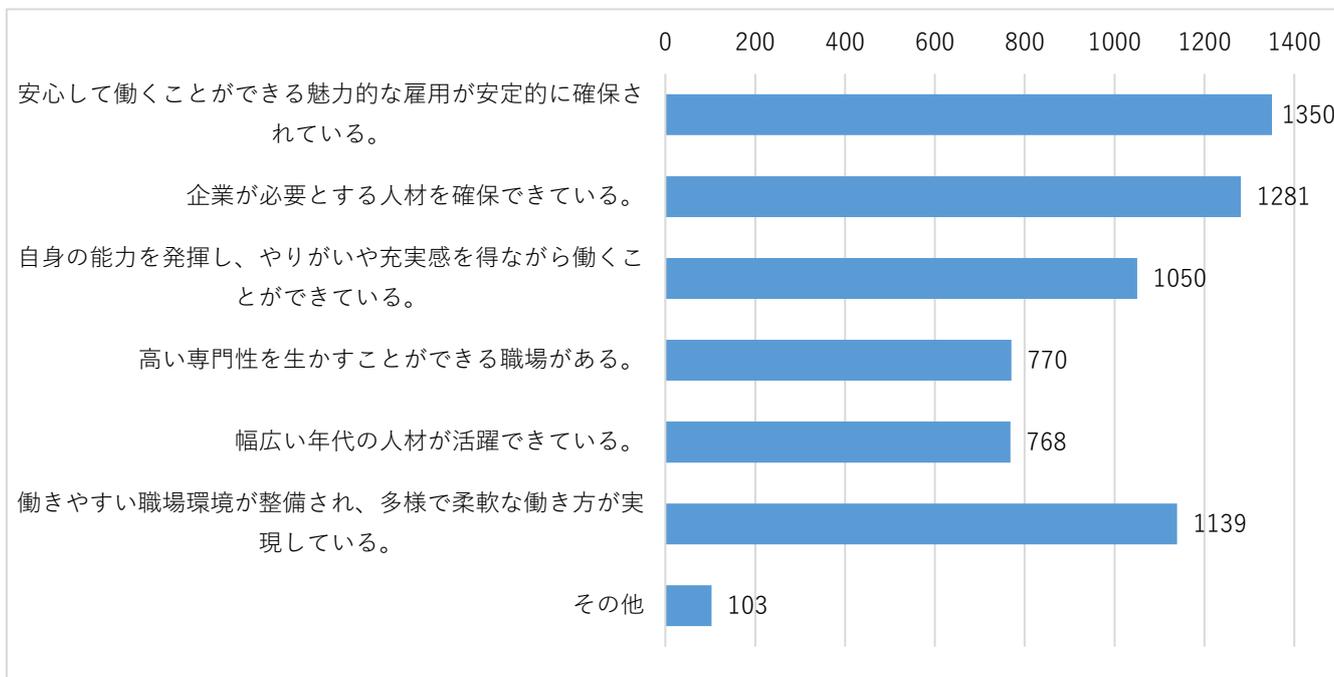
評価されていること(○評価) 計 4417件



《その他の意見》

- ・大都市なので就業機会は多いと思う。
- ・雇用は安定していると思う。
- ・人口減少により雇用が安定的に確保されており、給与の減少から金額に縛られず職を選ぶことができる。

課題となっていること(×評価) 計 6461 件



《その他の意見》

- ・ 大学卒業しても希望の職種に付けていない人が多い。
- ・ 若い人の安定した雇用をするべき。だから家庭も持てない、子供も育てられない。
- ・ 介護関係や物流関係は、常に人手不足。若年層や 30 代、40 代の人材を生かす雇用に関心を注いでほしい。
- ・ 求人はあるだろうけれど給料は低いので安定した働き方はできていない人が多い都市だと感じる。
- ・ 非正規が多くテレワークも未実施が多い。これでは有能な人材は来ない。
- ・ 道外出身の人材は、道外への転勤を比較的強く拒む傾向にあり、全国企業への入社を避けているイメージが強い。
- ・ 雇用の受け皿が不十分なので東京等へ人材が流出していると思います。札幌にいたければやりたい仕事は諦めるというのが現実的な選択になっていると思います。

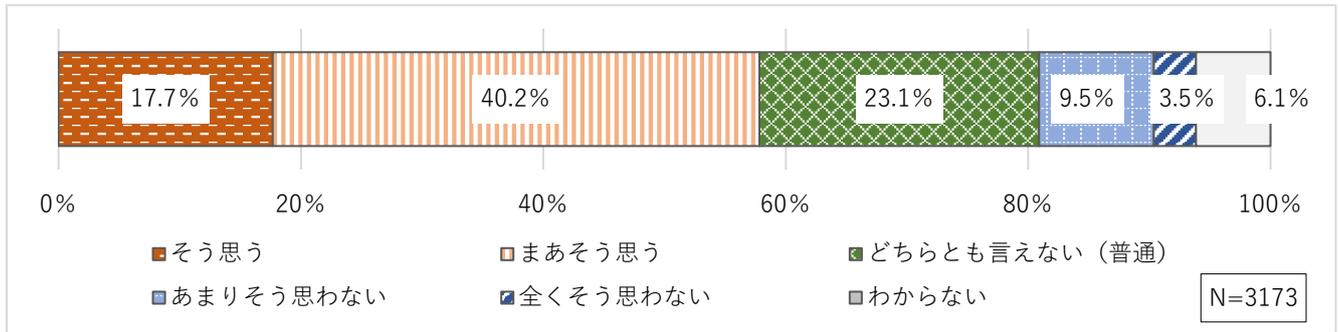
■分析・考察

- ・ 実現度は 2.84 と全体平均より低い。
 - ・ 実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は 16～24 歳からの評価は全体より高く、60～64 歳からの評価は全体より低い傾向が見られた。
 - ・ ○評価と×評価の差から、幅広い年代の人材が活躍できているという点は評価されている一方、雇用の確保、職場環境に関する課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

【6. スポーツ・文化分野】

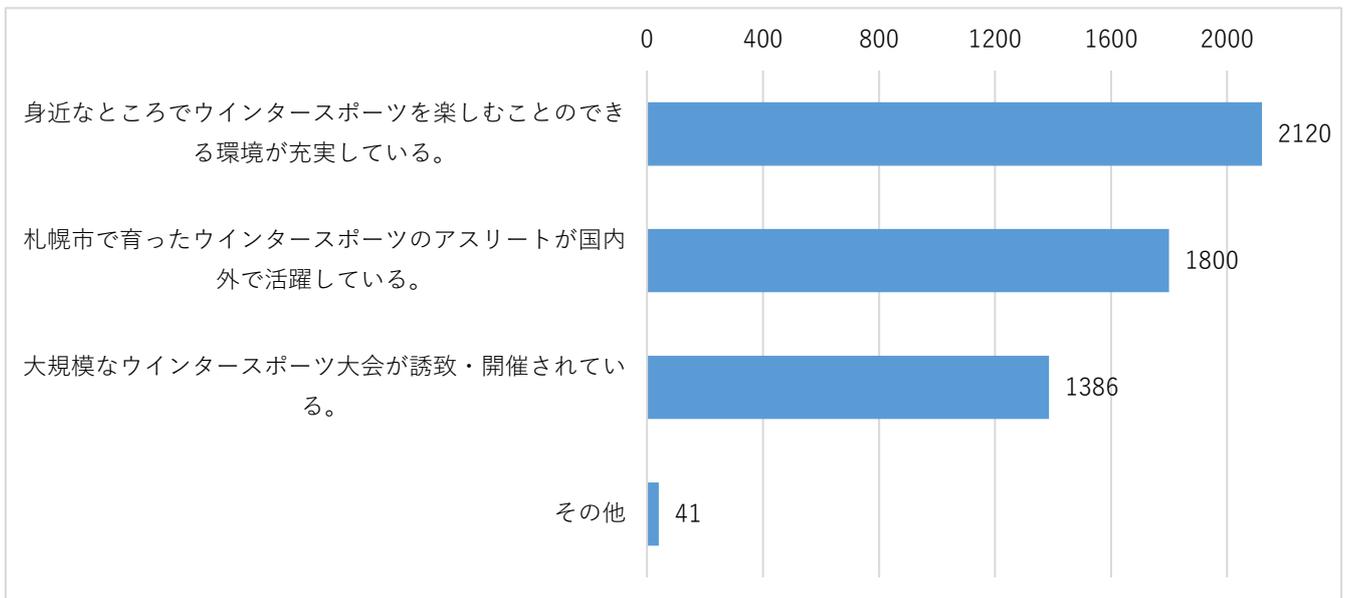
■基本目標⑬「世界屈指のウインタースポーツシティ」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 3.63
-------------------	--------------



■回答の理由

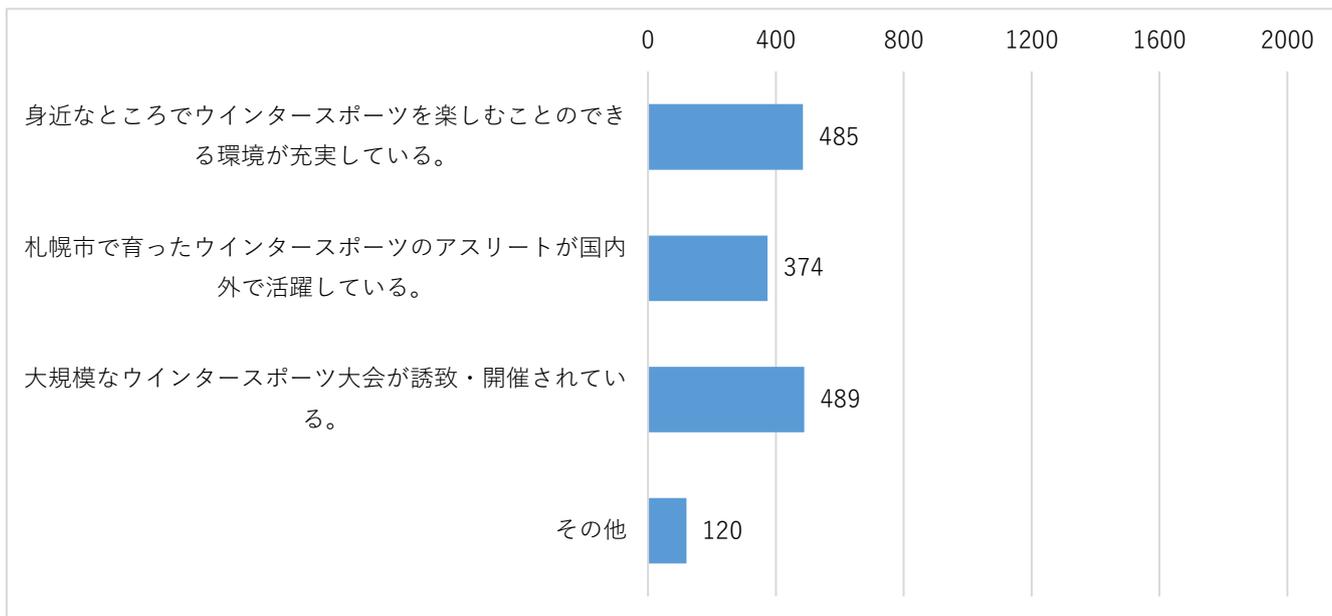
評価されていること(○評価) 計 5347 件



《その他の意見》

- ・ 小学校のときからスキー学習があり、ウインタースポーツが身近にある。
- ・ スキー場、カーリング、スケート、素晴らしい環境が整っていると思います。
- ・ オリンピックは開催してもいいと思う。
- ・ ウインタースポーツは札幌の強みでもあるため、より多くの体験と世界で活躍できる人材の育成に力を入れてほしい。
- ・ 雪を楽しむ文化がある。
- ・ たくさんの観光客がウインタースポーツをしに訪れている。

課題となっていること(×評価) 計 1468 件



《その他の意見》

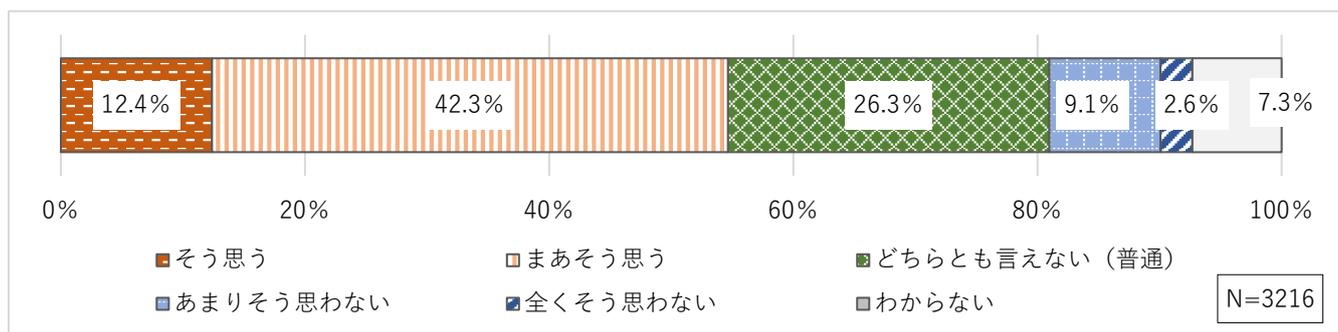
- ・ニセコのスキー場に負けている。
- ・オリンピック招致反対。
- ・オリンピック誘致には反対です。交通規制などでとても不便をしいられるうえ、経費を市民に押し付けることは論外です。
- ・市民への税の負担が増している時期に高齢人口が多いのにスポーツに力を入れるのは好ましくない。
- ・北海道内にはたくさん拠点があるし、あって当然。札幌にばかり集中させるのはどうかと思うし、無理がある。
- ・ウィンタースポーツはお金がかかる。アスリートを育てる為のサポートが殆どないので親の負担が大きい。

■分析・考察

- ・実現度は3.63と全体平均より高い。
 - ・実現度においては、性別による回答の大きな差は見られないが、16～24歳からの評価は全体より高く、80～84歳からの評価は全体より低い傾向が見られた。
 - ・○×評価においては、全ての項目において○評価が×評価を大きく上回っており、×回答として「身近なところでウィンタースポーツを楽しむことのできる環境が充実している」を選択する割合が、80～84歳は全体より高く、南区居住の人は全体より低い傾向が見られた。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

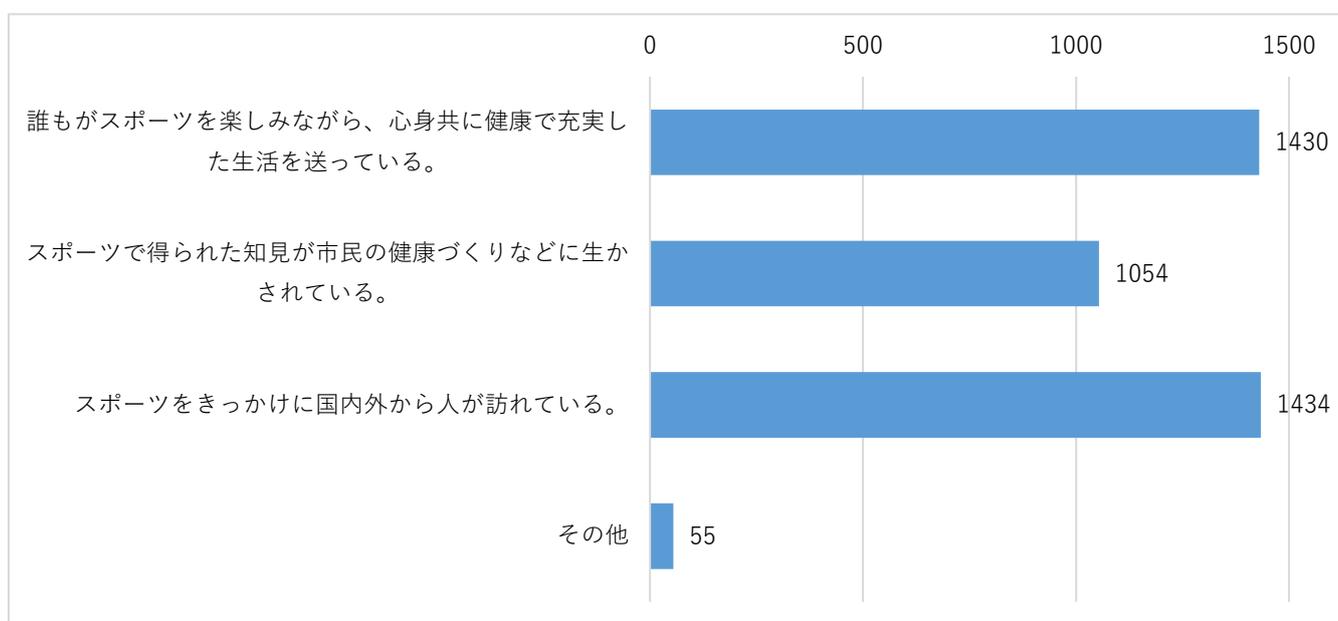
■基本目標⑭「四季を通じて誰もがスポーツを楽しむことができるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 3.57
-------------------	--------------



■回答の理由

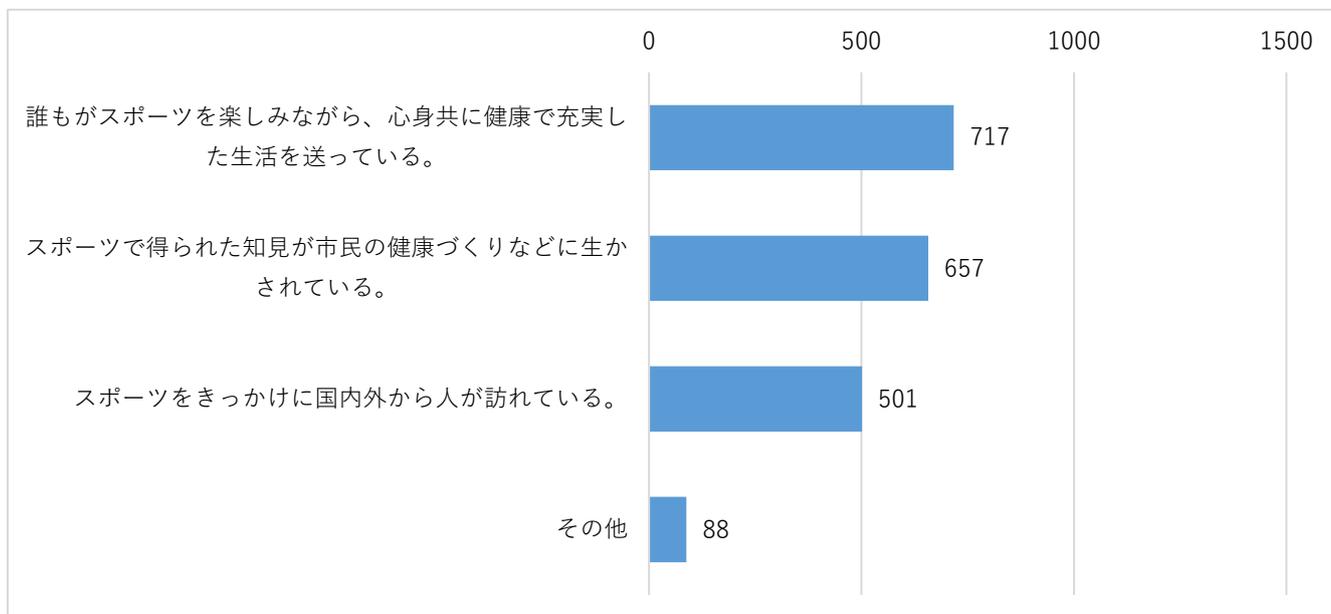
評価されていること(○評価) 計 3973 件



《その他の意見》

- ・ 自然とスポーツ施設のバランスが良い。
- ・ パークゴルフはもっと自慢して良いと思います。
- ・ 外国からもオリンピックが来日して、キャンプなど触れ合えるイベントが行われている。子供にとって素晴らしい経験のできるまち。
- ・ ドームなどで国際大会が行われているので、観戦も含めてスポーツを楽しめていると思う。
- ・ 公園が広くて大きい&小さい丘があるので、体を動かしやすい環境が用意されているように思う(特に子どもに対して)。

課題となっていること(×評価) 計 1963 件



《その他の意見》

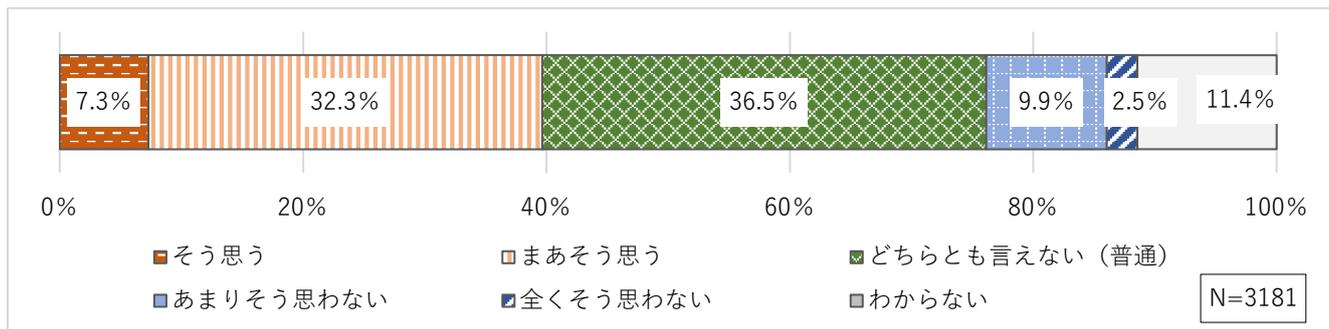
- ・屋内施設が少ない。
- ・税の還元で身近なスポーツ施設を充実させてほしい。施設が少ないので場所が確保しづらい。
- ・ファイターズが札幌を出て行ったのは残念。
- ・子どもが自由にスポーツを楽しめる時間や場所が少ない。
- ・冬期屋内でのスポーツが確保されていないと思う。逆にウインタースポーツの通年利用ができないので、ジュニアで断念するケースが多いと聞いています。とてももったいないと思います。
- ・健康づくりセンターが人口の割に少ない様に思う。行きたくても遠すぎる。
- ・車のある人はいけるが、歩きの人にはなかなか通いづらい。
- ・スポーツ、運動施設が少なく、区の体育館も車がないと通いにくい場所に建設されていて不平等を感じる。

■分析・考察

- ・実現度は3.57と全体平均より高い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別による回答の大きな差は見られないが、実現度は16～19歳からの評価が全体より高く、65～69歳からの評価は全体より低い傾向が見られた。
 - ・すべての項目において○評価が×評価を大きく上回っており、施設の充実・確保を望む意見はあるものの、スポーツを楽しむことに関しては概ね満足と感じられていると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

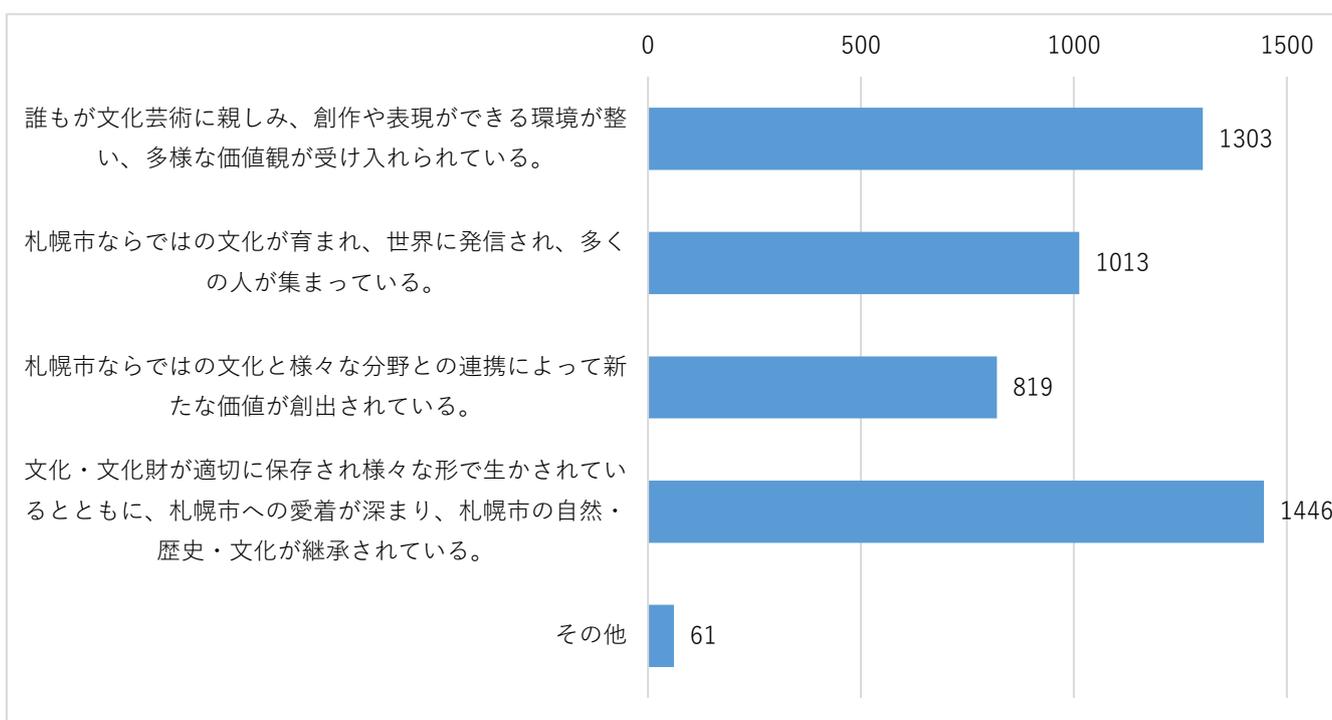
■基本目標⑮「文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 3.36
-------------------	--------------



■回答の理由

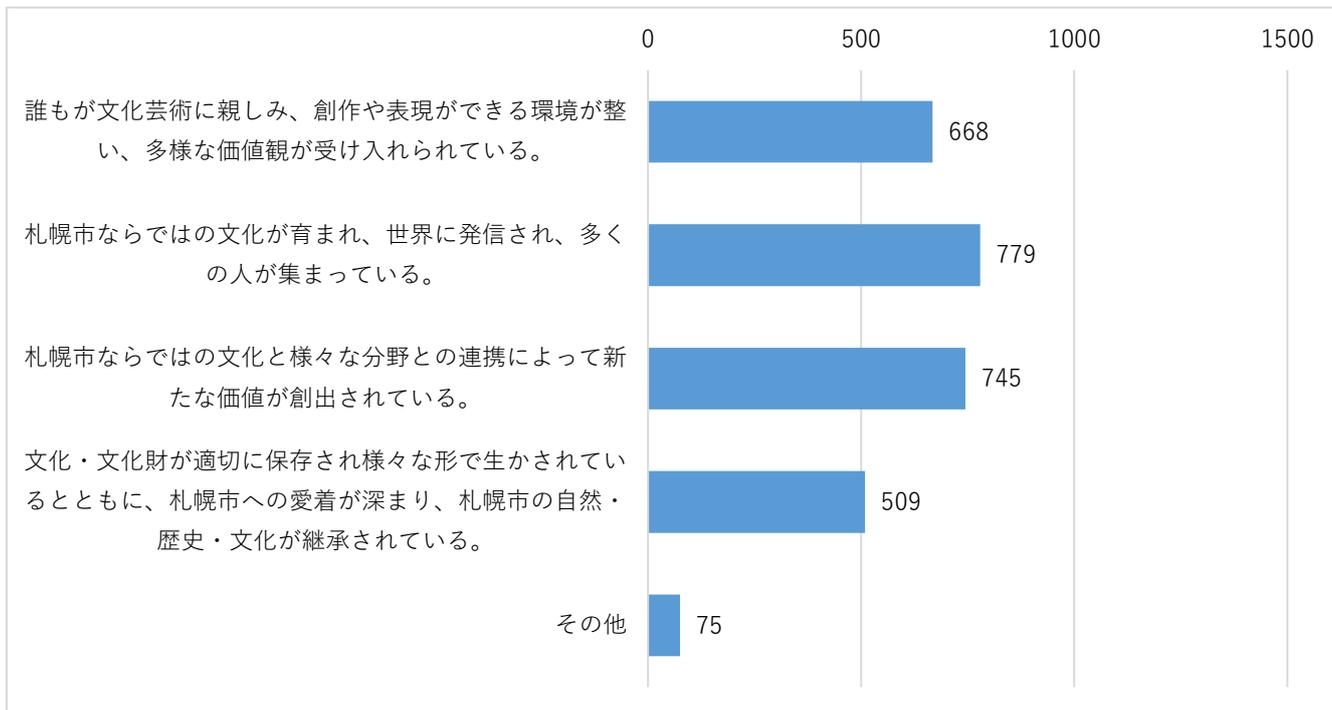
評価されていること(○評価) 計 4642 件



《その他の意見》

- ・学校での北海道の文化について学び、理解を深める時間が十分に取られている。
- ・その内容や場所に問題はあるが、美術館は充実している。
- ・大きな美術館や文化ホールがあるため、楽しむことができる。
- ・アイヌ文化施設が充実している。
- ・PMF や芸森など文化芸術に広く親しむ環境はある。表現の場は特にあるとは思わない。
- ・様々な世代で文化芸術に触れる機会が多く用意されている。

課題となっていること(×評価) 計 2776 件



《その他の意見》

- ・スポーツ施設、文化施設を市民に利用しやすい場所を多く設置してほしい。
- ・バリアフリー化しないと世界から人が来れない。
- ・札幌市ならではのとは逆に何かありますか？北海道ならではのはあります。
- ・芸術劇場は大きすぎて構造的に欠陥だと思います。出入りに時間がかかります。厚生年金くらいの劇場をつくってください。
- ・もっとアイヌ文化を世界に発信し継承するべき。
- ・札幌市の自然歴、文化について市内の人間があまり理解できていないことが多いと考える。
- ・陸続きでない不利はあるとしても、文化施設ひとつとっても福岡市などよりはるかに劣る。
- ・美術館に見たいと思う作品がこない。
- ・歴史的な建物や遺構や鉄道遺産など、観光資源は沢山あるのに、活用されていない。(昭和時代のまま)

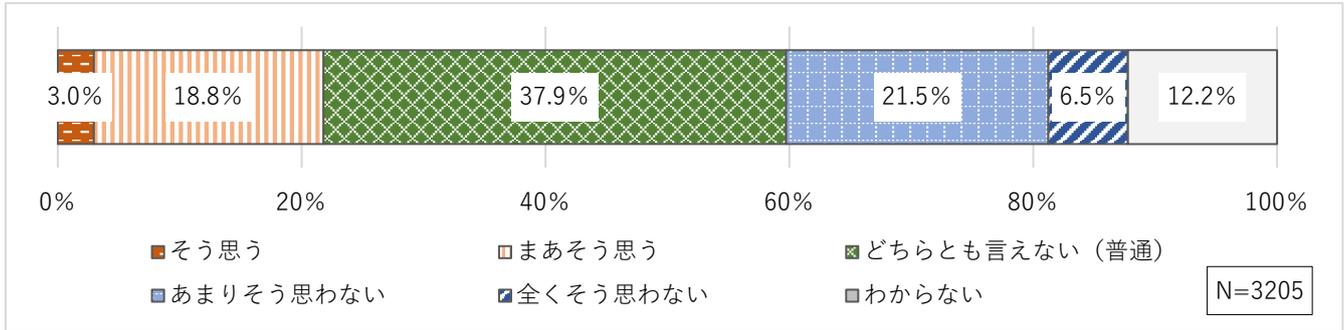
■分析・考察

- ・実現度は3.36と全体平均より高い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
 - ・○×評価は、すべての項目において○評価が×評価を上回っているが、札幌市ならではの文化と様々な分野の連携にやや課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

【7. 環境分野】

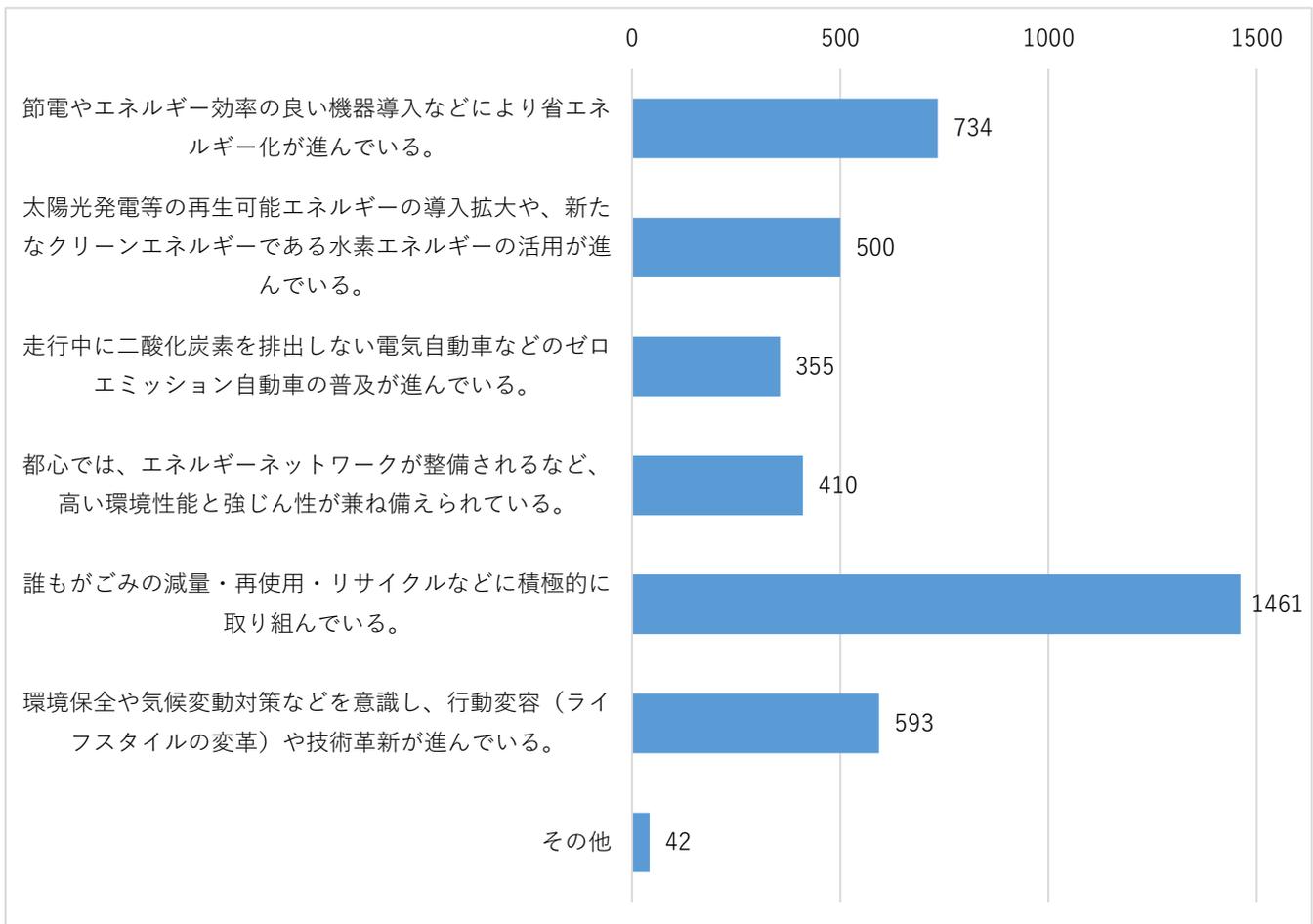
■基本目標⑯「世界に冠たる環境都市」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	2.89



■回答の理由

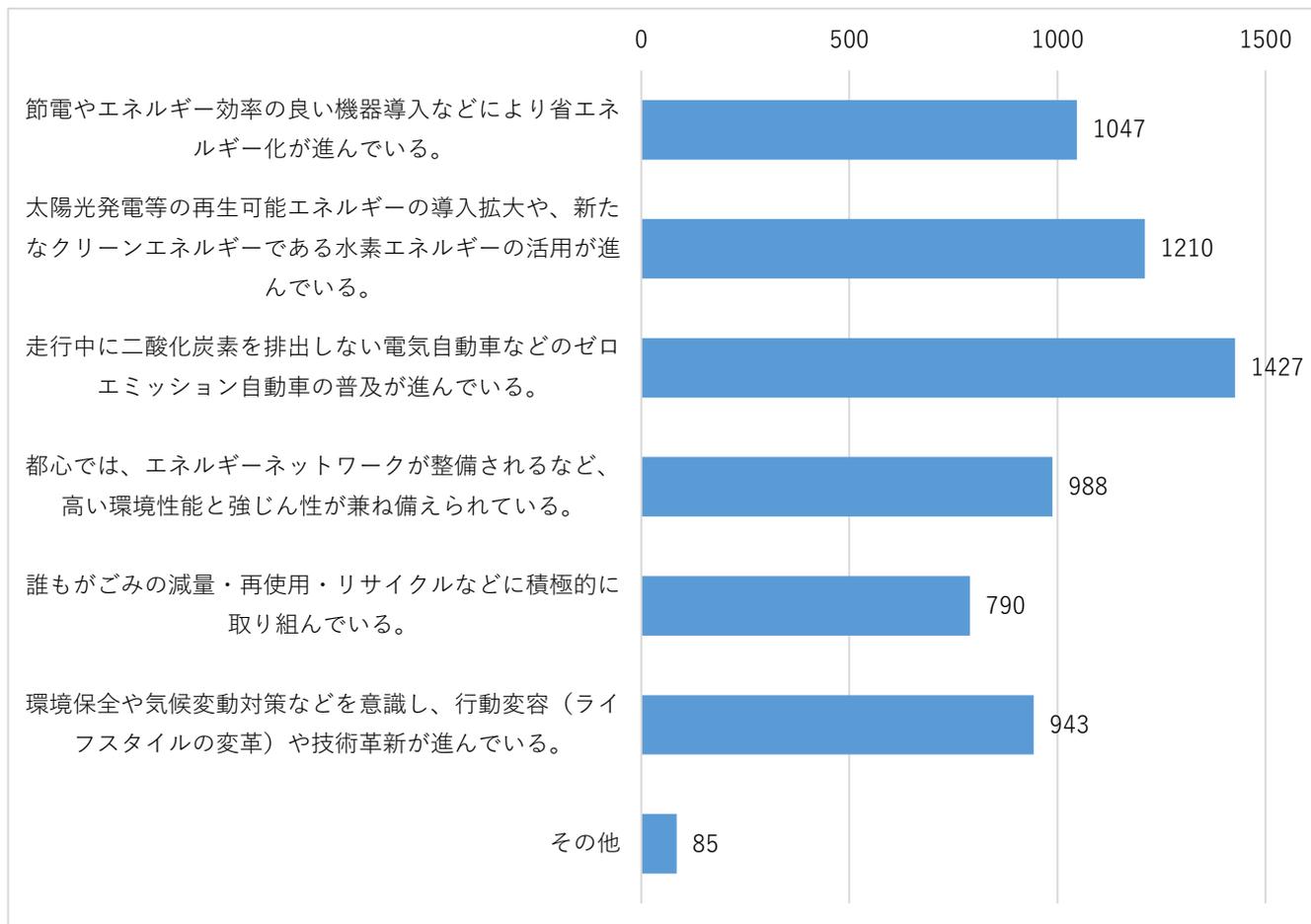
評価されていること(○評価) 計 4095 件



《その他の意見》

- ・再生エネルギー（風力・太陽光）を見るが多くなった。
- ・昔よりリサイクルの意識は高まっていると思う。マテックプラザなどもう少し全体にアピールしても良い。
- ・雪の有効利用に期待。
- ・モエレ沼公園や円山動物園で雪を活用した暖房が考案されているため。

課題となっていること(×評価) 計 6490 件



《その他の意見》

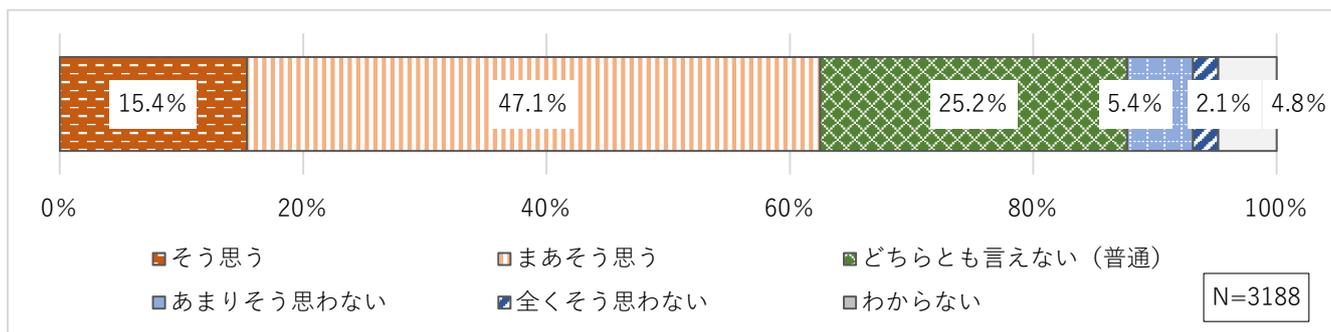
- ・技術・機器はあると思うが、土地利用ができていない。
- ・過剰包装がもう少し少なくなればいいと思う。
- ・ソーラーパネル、EV車は普及には反対。
- ・雪害等で損傷しながら放置されていたソーラーパネルなどの案件を顧みるに目先の利潤ではなくキッチンとした識者と科学的展望に基づいた環境整備を整えて欲しい。
- ・都市ガスが未だ札幌市内の限られた場所にしか普及していない状況。

■分析・考察

- ・実現度は2.89と全体平均より低い。
 - ・実現度において、性別、年代別による回答の大きな差は見られない。
 - ・○×評価において、○回答の理由として「誰もがごみの減量・再利用・リサイクルなどに～」を選択する割合は、16～29歳は全体より低く、65～74歳は全体より高い傾向が見られた。
 - ・○×評価の差から、ごみの減量・再利用・リサイクルが大きく評価されている一方、脱炭素やエネルギーに関することに課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

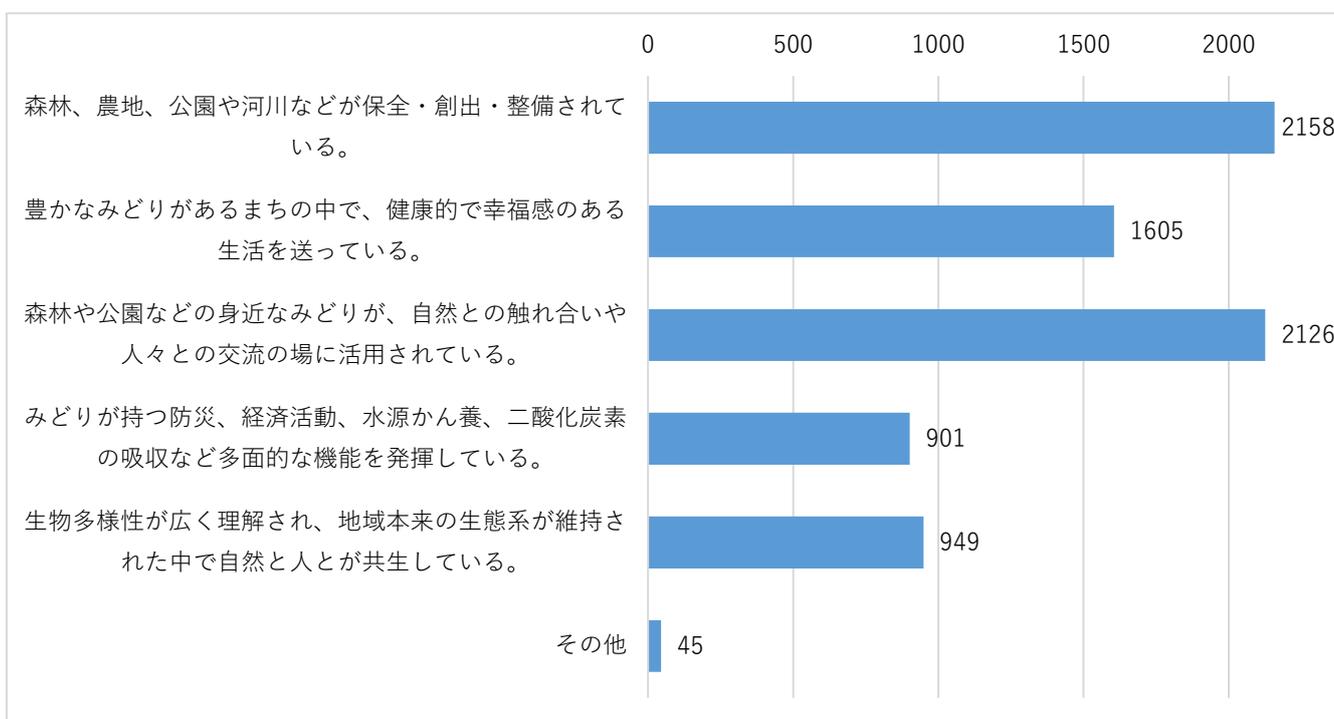
■基本目標⑰「身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	3.72



■回答の理由

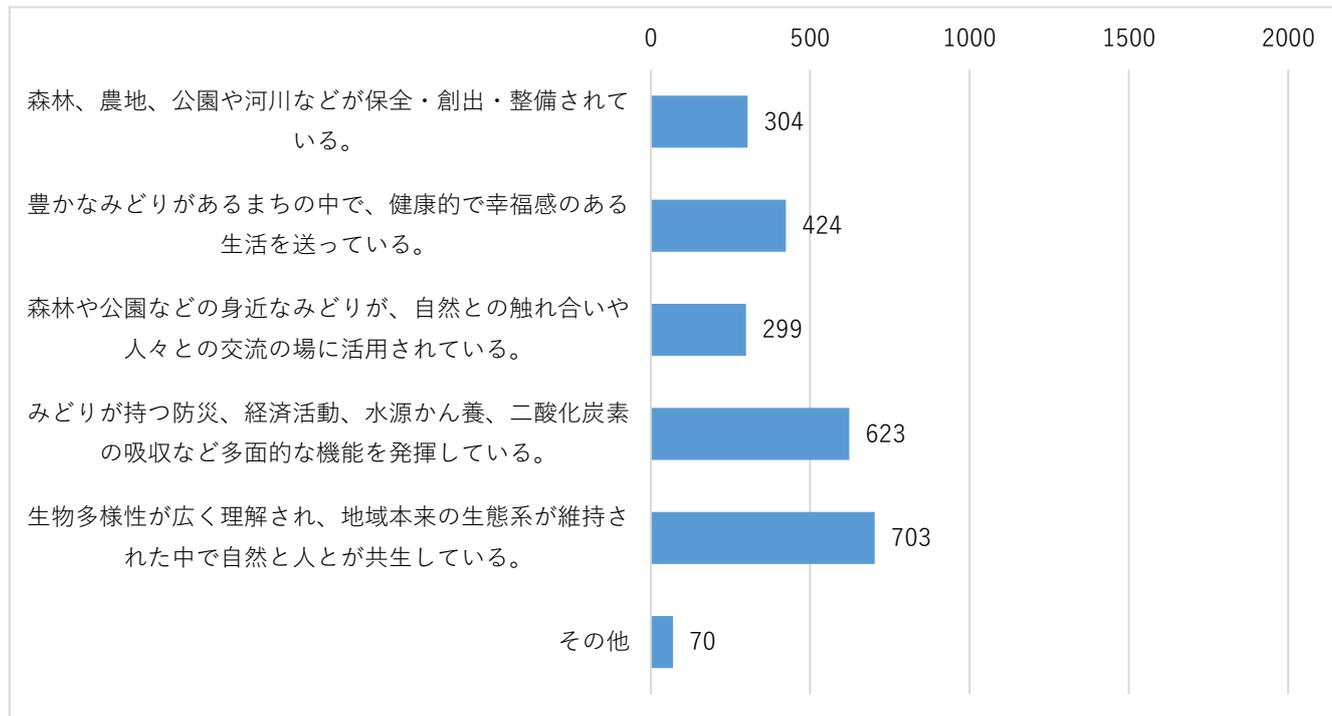
評価されていること(○評価) 計 7784 件



《その他の意見》

- ・大きな都市なのにすぐそばに自然があり、世界的にみてもまれな都市だと思う。
- ・サケの遡上を中心に自然環境の取り組みが進んでいる。
- ・クマやシカなどの動物たちも駆除ではなく安心して暮らせるように、人間だけの平和以外のことも考えて欲しい。
- ・川や公園がよく整備されている。もっと積極的に活動してみたい。
- ・森林公園や都心の北大植物園、街路樹、大きな魅力です！

課題となっていること(×評価) 計 2423 件



《その他の意見》

- ・公園は多いが、使い方に問題がある。
- ・その場所が遠く、交通機関も少ない。
- ・クマの市街地への頻繁な出没、クマ対策、モエレ沼公園へのアクセス脆弱。
- ・数年前の強風で倒れた樹木の跡が、手つかずのままになっている所が多い。
- ・都心部の再開発が多数進み、景観と緑が失われつつあると思う。
- ・野生動物に餌をやったり餌付けする人が後を絶たない。

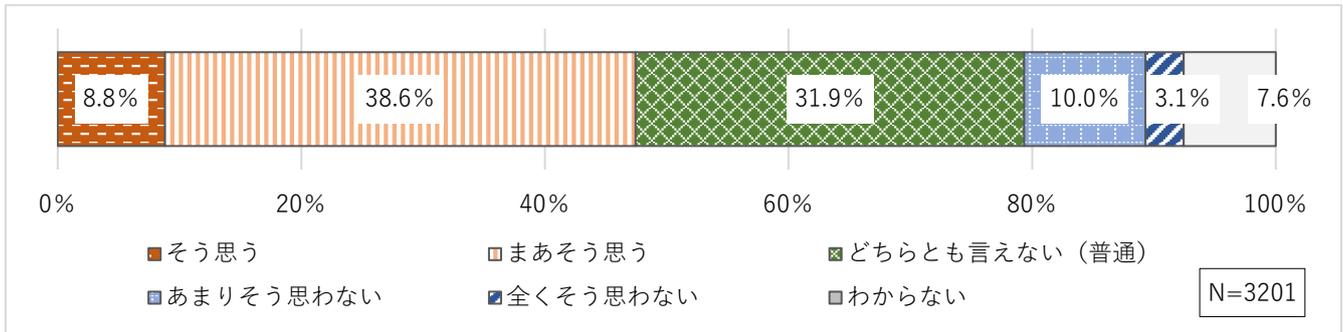
■分析・考察

- ・実現度は3.72と全体平均より高い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
 - ・○×評価は、すべての項目において○評価が×評価を大きく上回っているが、みどりの多面的な機能の発揮と生物多様性についてはやや評価が低く、課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

【8. 都市空間分野】

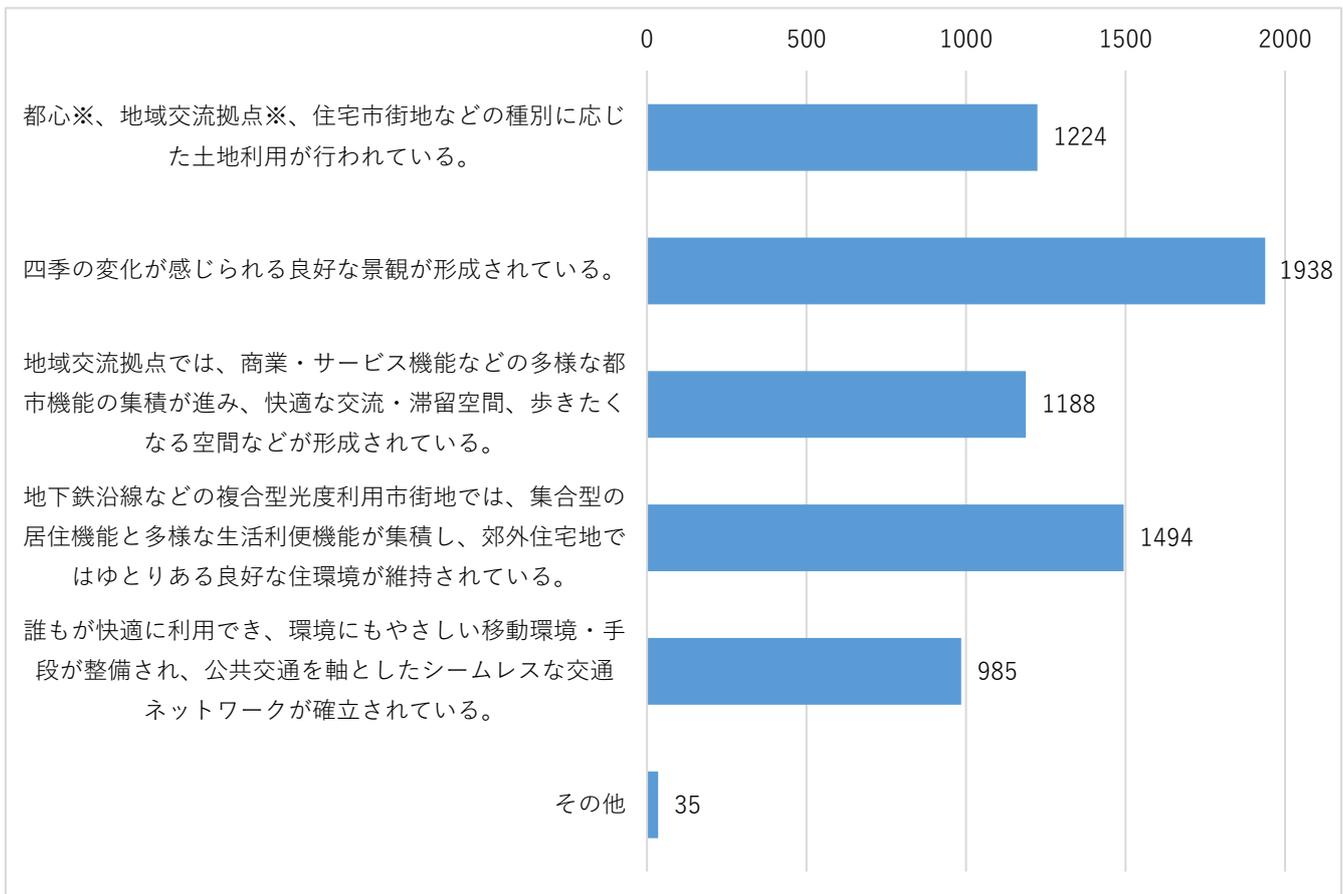
■基本目標⑩「コンパクトで人にやさしい快適なまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	3.43



■回答の理由

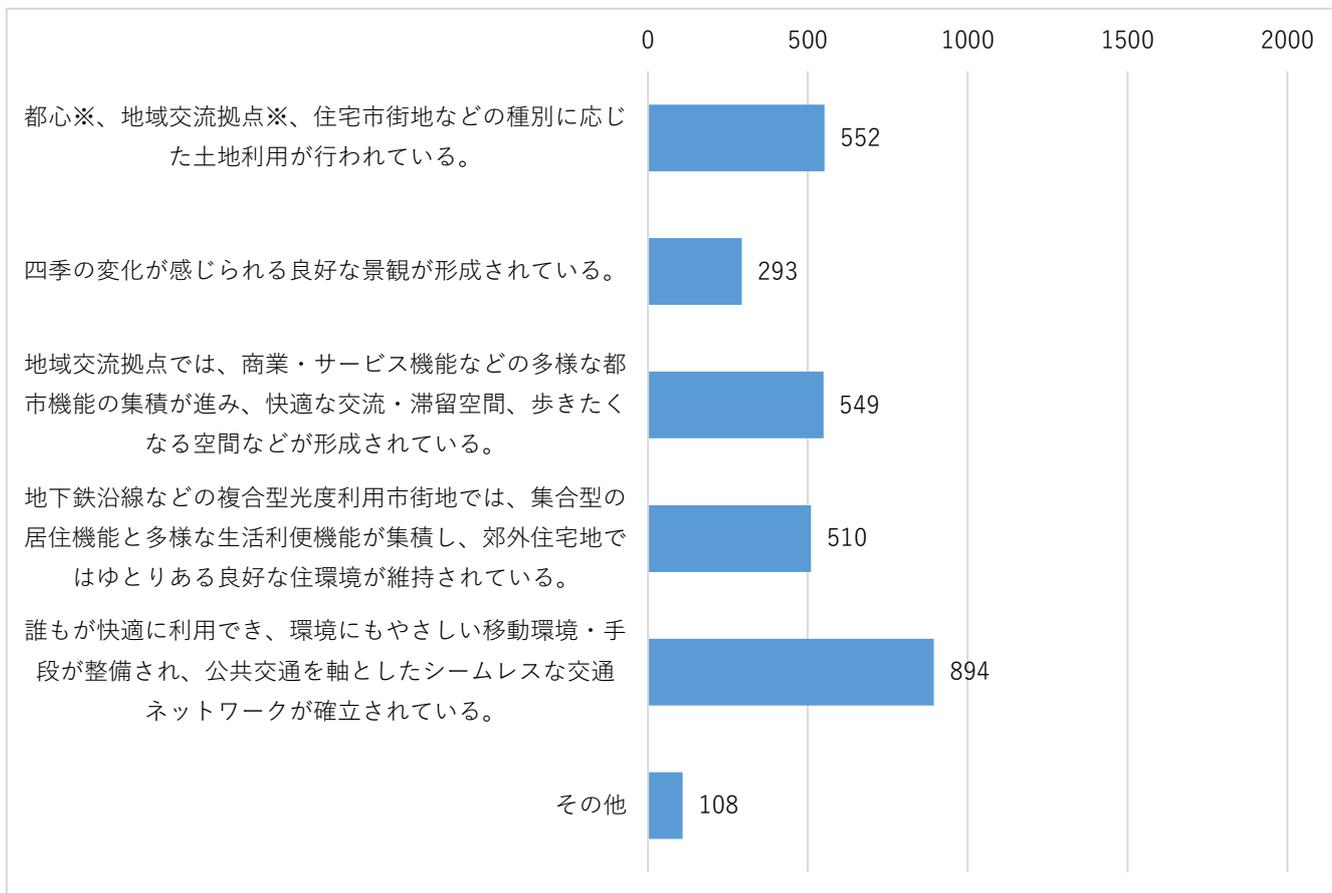
評価されていること(○評価) 計 6864 件



《その他の意見》

- ・大都会で快適安全に暮らしながら、すぐ外に大自然がある。
- ・地下歩行空間がすばらしい。もっと伸ばしてほしい。
- ・クリスマスシーズンのイルミネーションが大好きです。
- ・東豊線の延長をぜひ実現してほしい。

課題となっていること(×評価) 計 2906 件



《その他の意見》

- ・清田区には地下鉄がない。
- ・古くなった建物、空き家などを新たに活用しきれしていない。
- ・中心部集中している。地下鉄が通っていない地区は不便です。
- ・南区の移動環境、公共交通は再考が必要。大雪時は孤立状態になった。地域交流拠点を真駒内より奥に。
- ・歩道の段差、ステップレスバスの普及などまだまだ足りない。
- ・地域の利便性に差がありすぎる。せめて除排雪の環境をもっと充実して欲しい。
- ・清田区・南区の公共交通ネットワークが不足している。
- ・地下鉄沿線とそれ以外の地域の利便性格差の拡大。
- ・土地や家を購入したいが、値段が高騰しすぎて手が出せない。

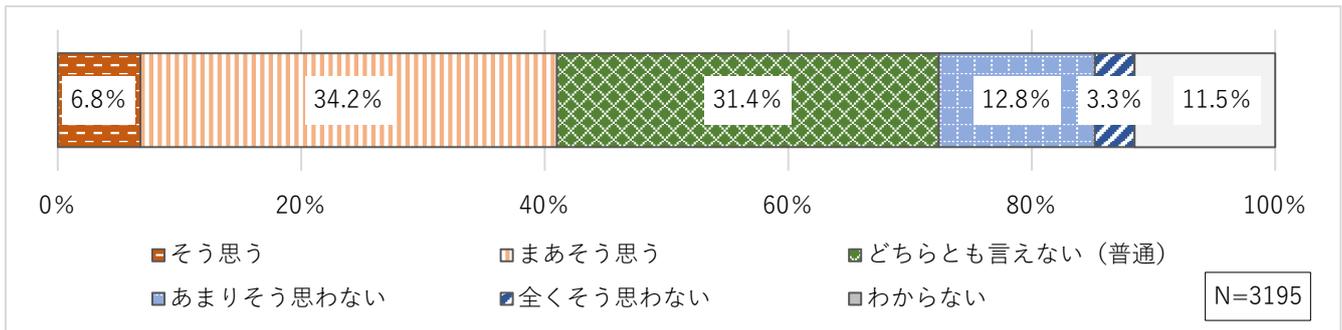
■分析・考察

- ・実現度は3.43と全体平均より高い。
- ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
- ・○×評価は、すべての項目において○評価が×評価を大きく上回っている。

(来年度以降は経年比較も入ります)

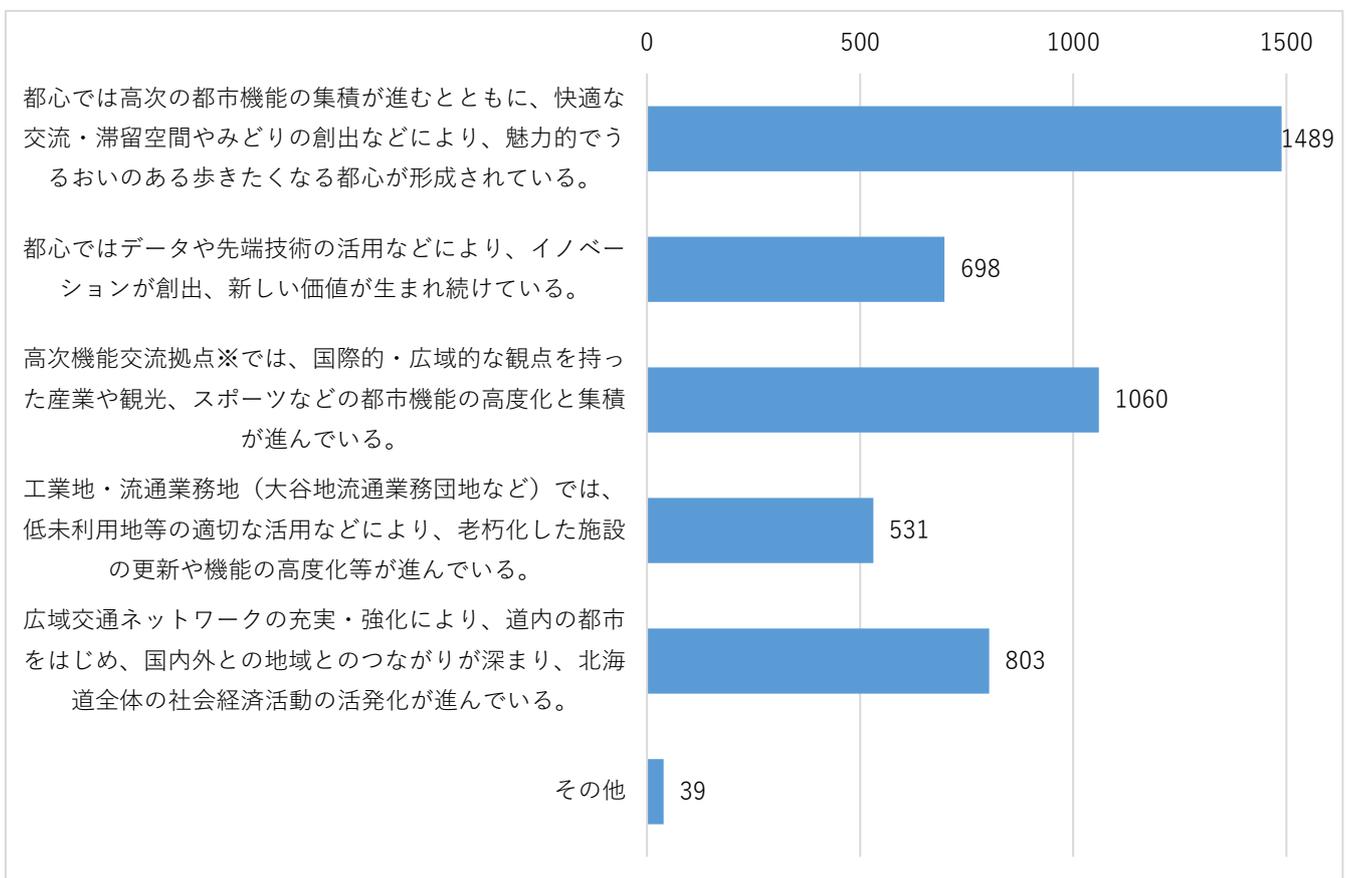
■基本目標⑱「世界を引きつける魅力と活力あふれるまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度 3.32
-------------------	--------------



■回答の理由

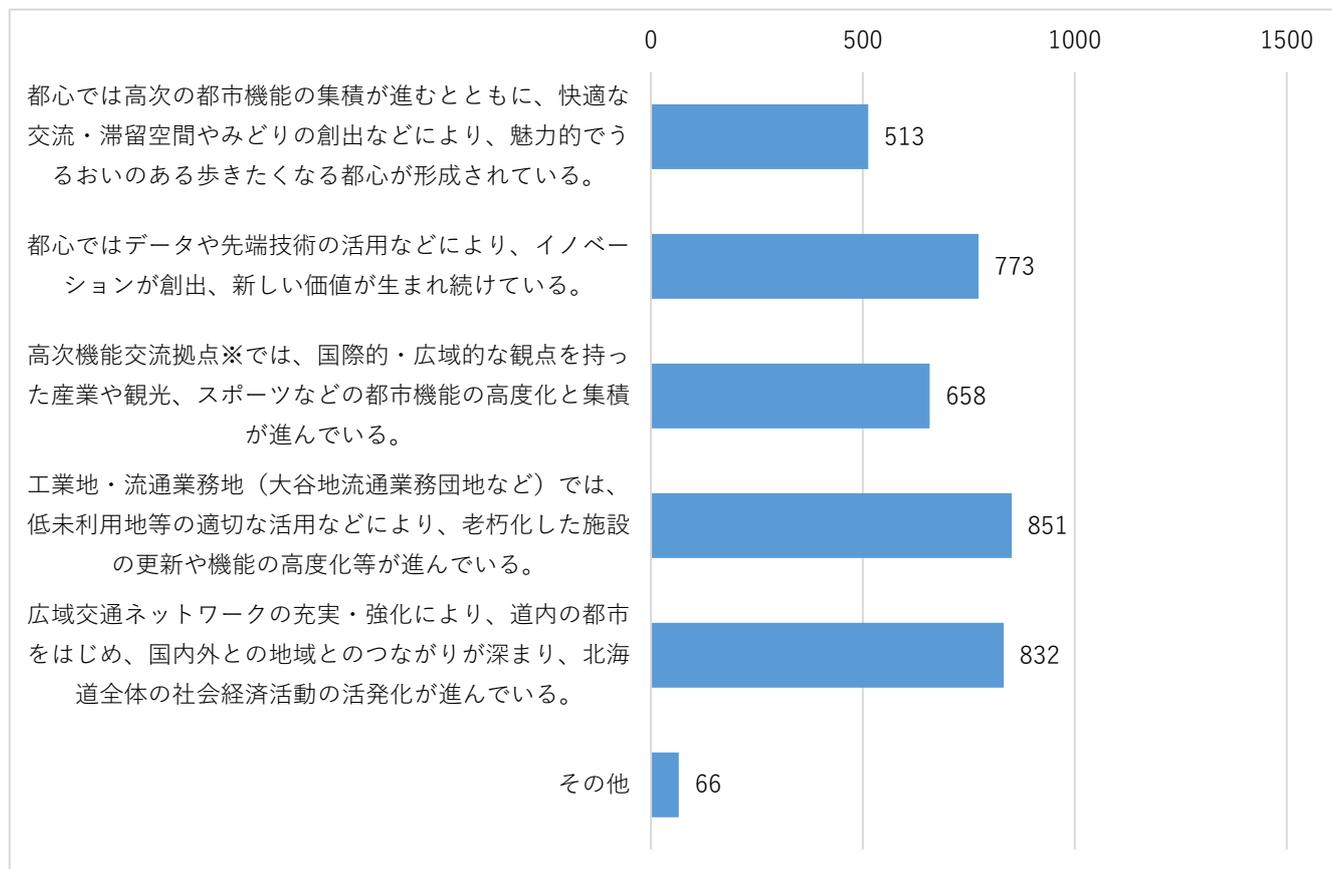
評価されていること(○評価) 計 4620件



《その他の意見》

- ・大通りの毎年冬のイルミネーションのデザインは素晴らしい。世界に誇れると思います。
- ・世界的にも珍しい除雪地帯の200万人都市、自然多き環境化と食文化に恵まれている。
- ・自然と都心が共存しているし、食文化や風物等世界的にも魅力度は大きいと思う。

課題となっていること(×評価) 計 3693 件



《その他の意見》

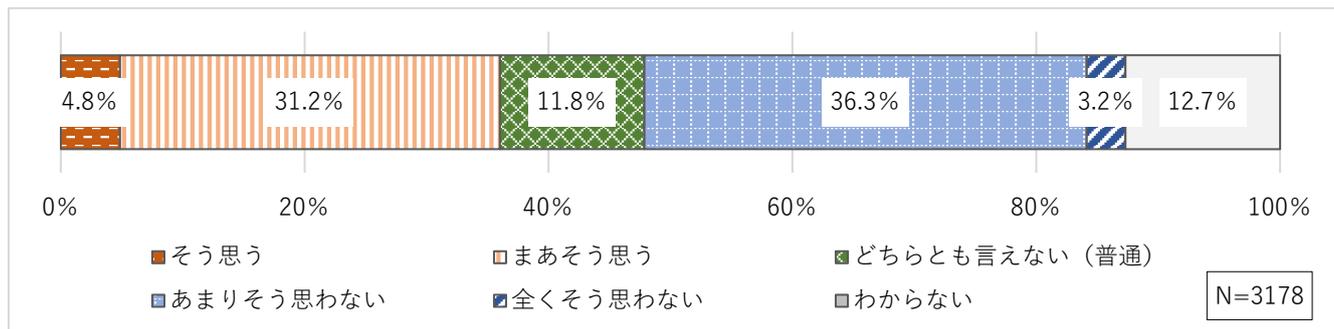
- ・札幌市民は都心だけに住むわけではない。
- ・地下鉄と JR の結合がされていない。
- ・道内の都市どころか隣接都市とも交通ネットワークができていない。
- ・都心だけに金を使いすぎ。交通インフラが悪すぎ。借金しても地下鉄を増やすべき。同じくらいの市と比べても最低。

■分析・考察

- ・実現度は 3.32 と全体平均より高い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
 - ・○評価と×評価の差から、都心における都市機能の集積に関しては評価されている一方、工業地・流通業務地の施設の更新、機能の高度化には課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

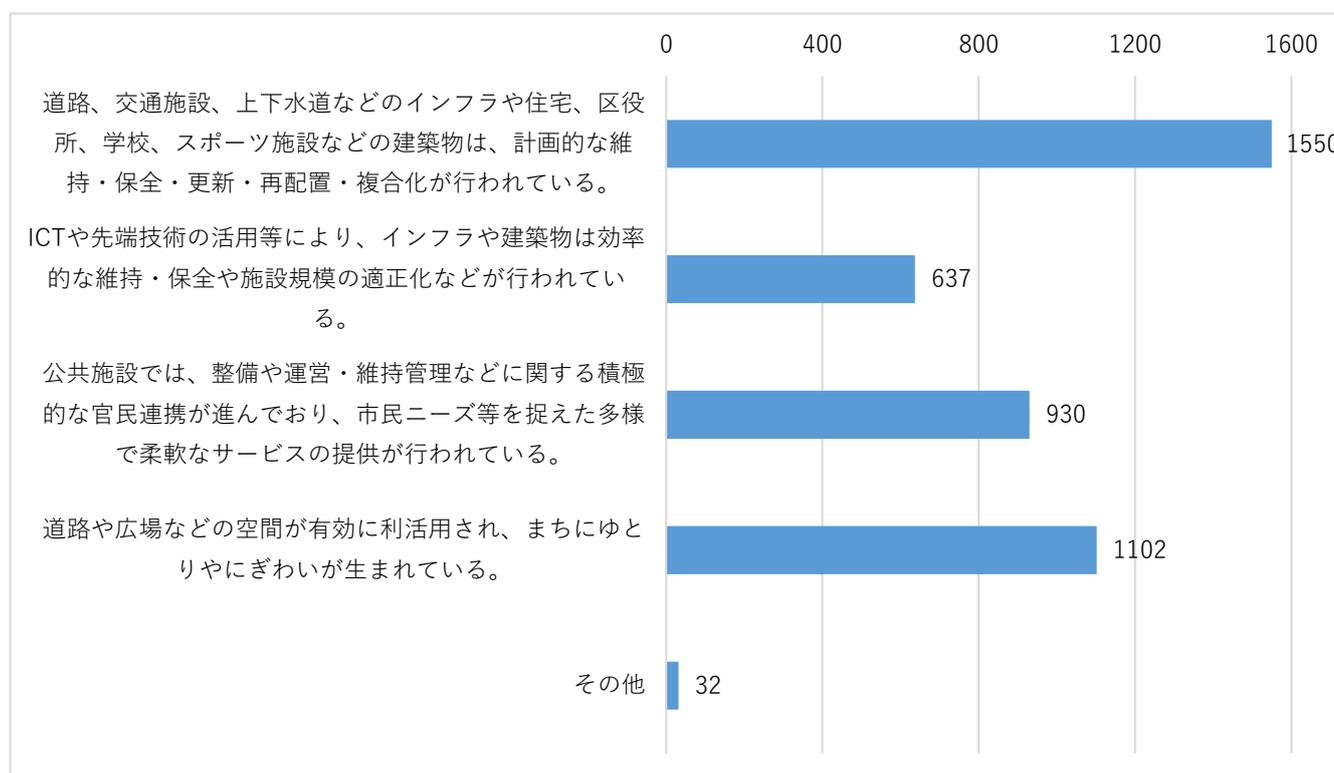
■基本目標⑩「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」の実現度

市民の評価点 (5段階評価)	R4年度
	2.98



■回答の理由

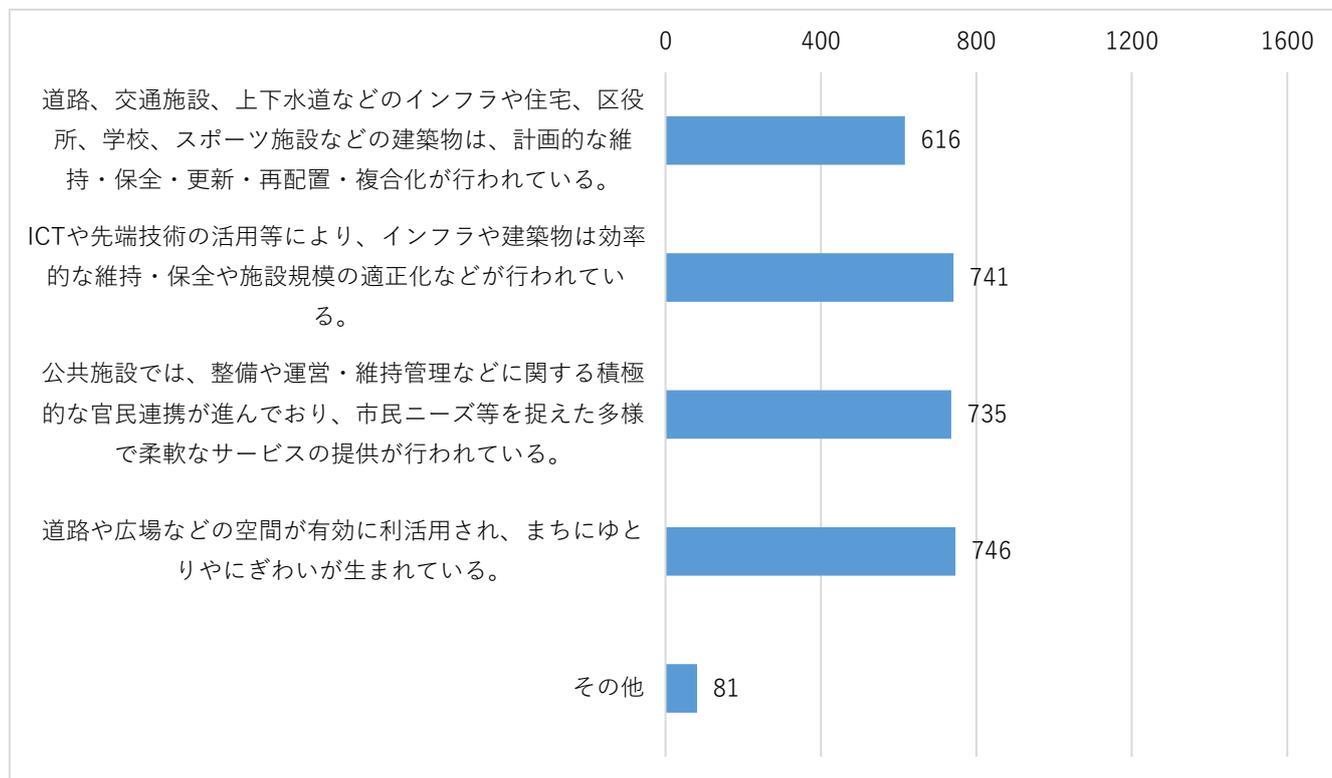
評価されていること(○評価) 計 4251件



《その他の意見》

- ・おしゃれでかっこよく、素敵なハイセンスな街だと思います。
- ・地下歩行空間はスペースを利用して、北海道をPRできていて、とてもいいと思います。
- ・建築デザインの先進性と河川管理、特に貯水環境は素晴らしいと思います。
- ・都市インフラが日常の様々な部分でよく整備・維持されていると感じている。
- ・もっと上手く活用する手立てはあると感じるが街にゆとりはあると思う。

課題となっていること(×評価) 計 2919 件



《その他の意見》

- ・雪の影響をうけにくい交通インフラをもっと整備する必要がある。
- ・地下鉄や JR 駅がかなり古く見える→新しいデザイン性が求められる。
- ・ブラックアウト以後の対策があまり進んでいないように思われます。
- ・丘珠空港の利用価値をもっともっと議論すべき。今のままではもったいない！
- ・札幌市内の区役所も大分老朽化が激しくなっている。快適な業務のためにも積極的に移転、改築を進めるべきである。

■分析・考察

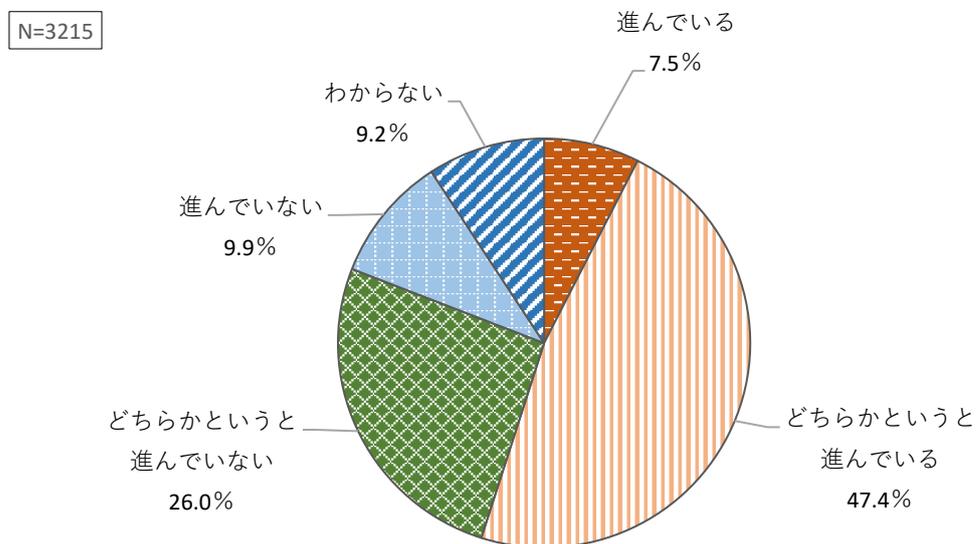
- ・実現度は 2.98 と全体平均より低い。
 - ・実現度及び○×評価において、性別、年代による回答の大きな差は見られない。
 - ・○評価と×評価の差は、インフラや建築物の効率的な維持・保全や施設規模の適正化のみ×評価が○評価を上回っており、課題があると考えられる。
- (来年度以降は経年比較も入ります)

問3 まちづくりの重要概念に関する取組についてお聞きします。

■ユニバーサル（共生）に関する質問

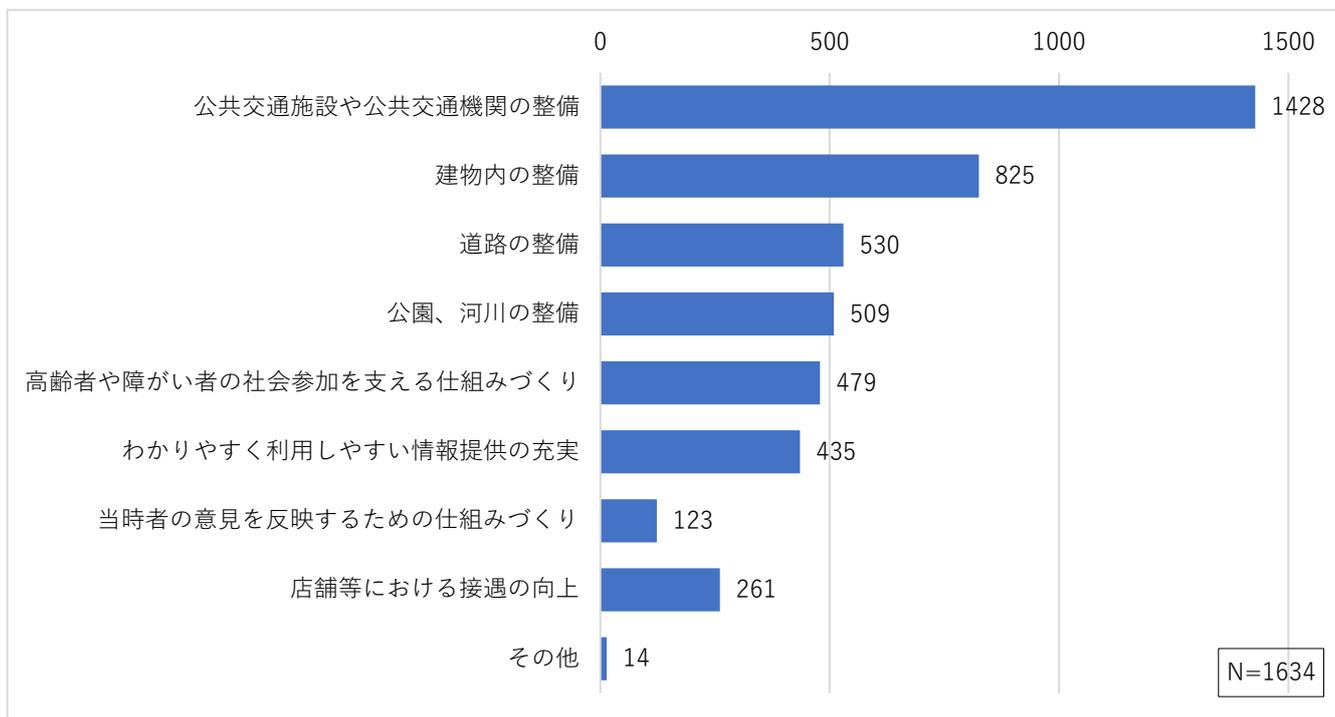
1. あなたは、現在の札幌のまちにおける建物、道路、駅、電車等の施設や設備のバリアフリー化が進んでいると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

回答選択肢	サンプル数	比率
【全体】	3215	
1.進んでいる	241	7.5
2.どちらかというに進んでいる	1525	47.4
3.どちらかというに進んでいない	835	26.0
4.進んでいない	318	9.9
5.わからない	296	9.2

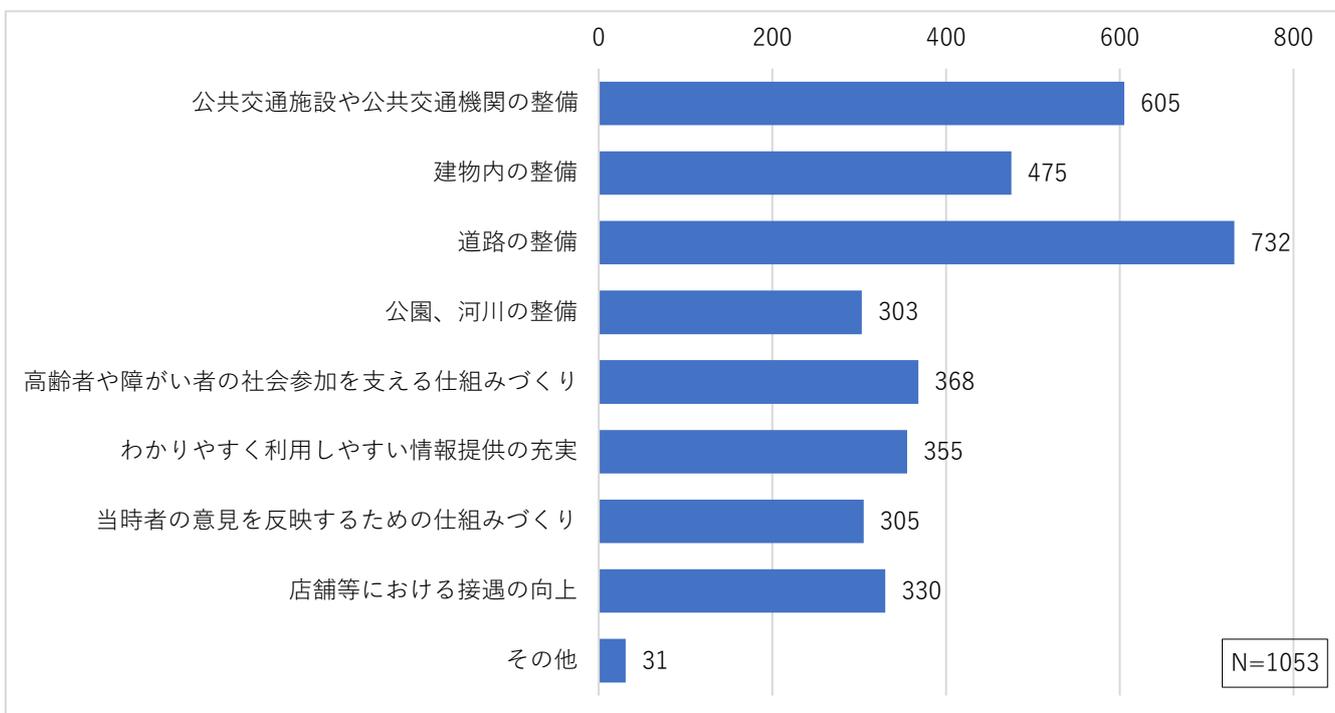


2. 1で答えた理由として、どのような点でバリアフリーが進んだ（または、進んでいない）と思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【進んでいる理由】



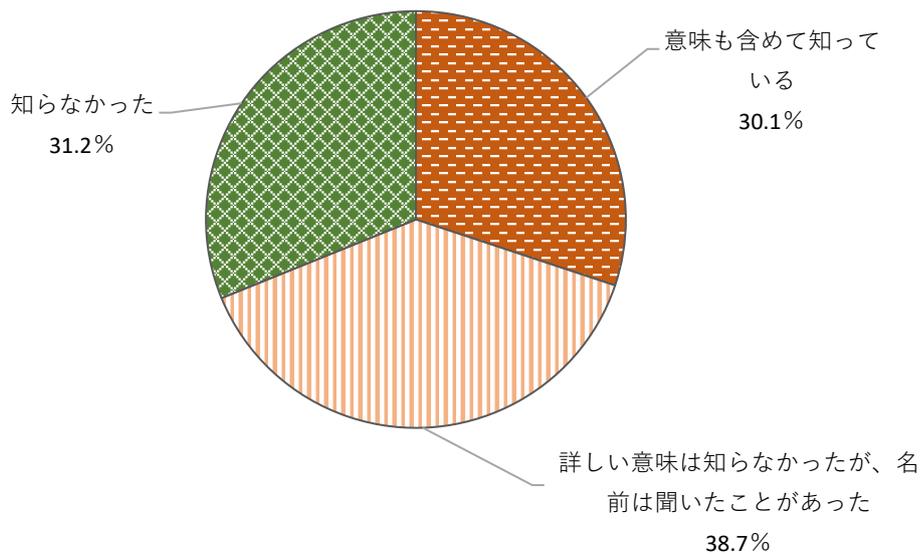
【進んでいない理由】



3. あなたは、「心のバリアフリー※」という言葉を知っていましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

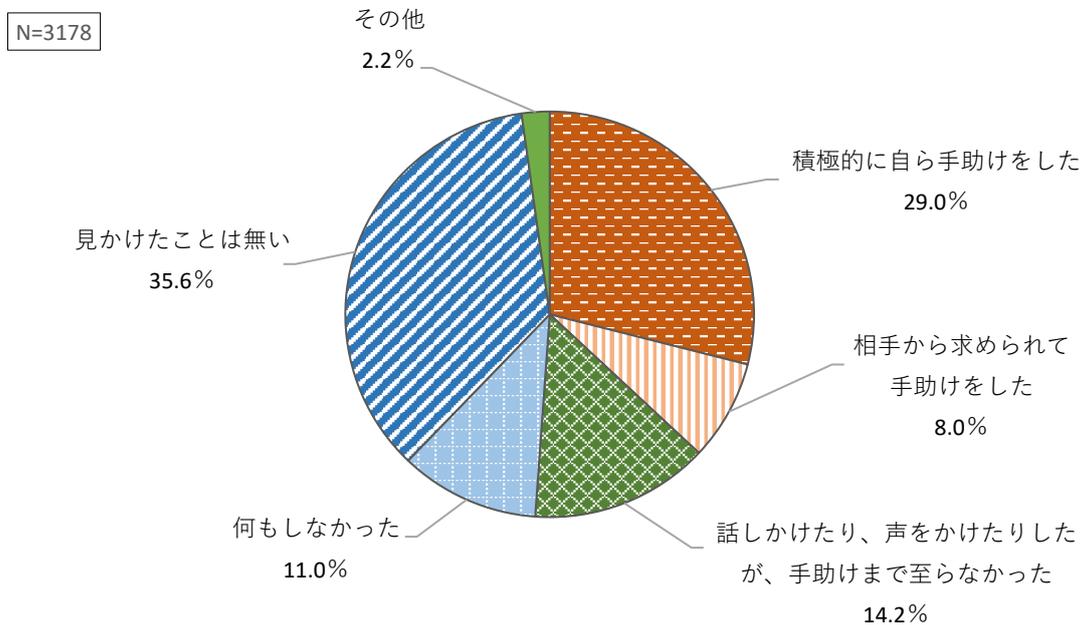
回答選択肢	サンプル数	比率
【全体】	3200	
1.意味も含めて知っている	964	30.1
2.詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	1239	38.7
3.知らなかった	997	31.2

N=3200



4. あなたは、過去1年くらいの間に、外出の際、高齢者・障がいのある方・妊産婦・乳幼児を連れた方などが困っているのを見かけたことはありますか。その際、どのようにしましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

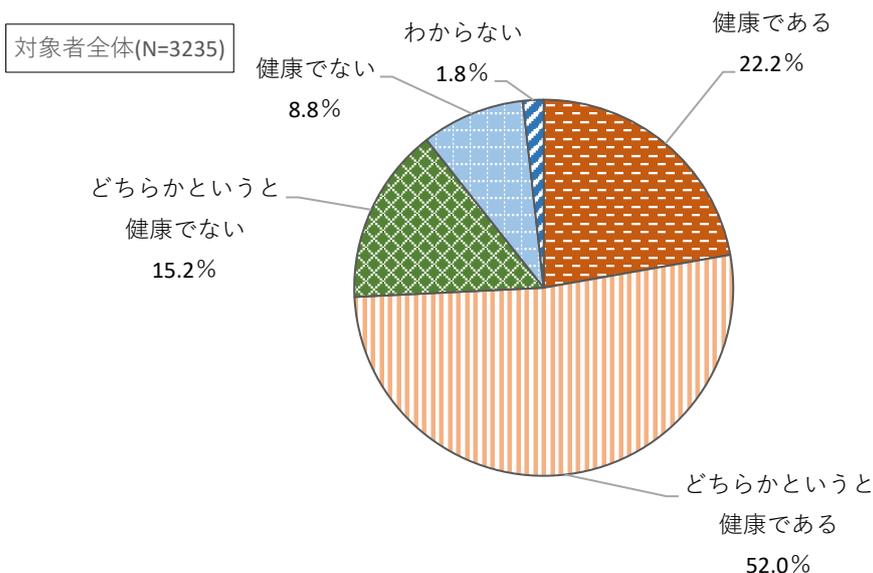
回答選択肢	サンプル数	比率
【全体】	3178	
1.積極的に自ら手助けをした	921	29.0
2.相手から求められて手助けをした	254	8.0
3.話しかけたり、声をかけたりしたが、手助けまで至らなかった	450	14.2
4.何もしなかった	351	11.0
5.見かけたことは無い	1132	35.6
6.その他	70	2.2



■ウエルネス（健康）に関する質問

5. あなたは、自分自身が健康であると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

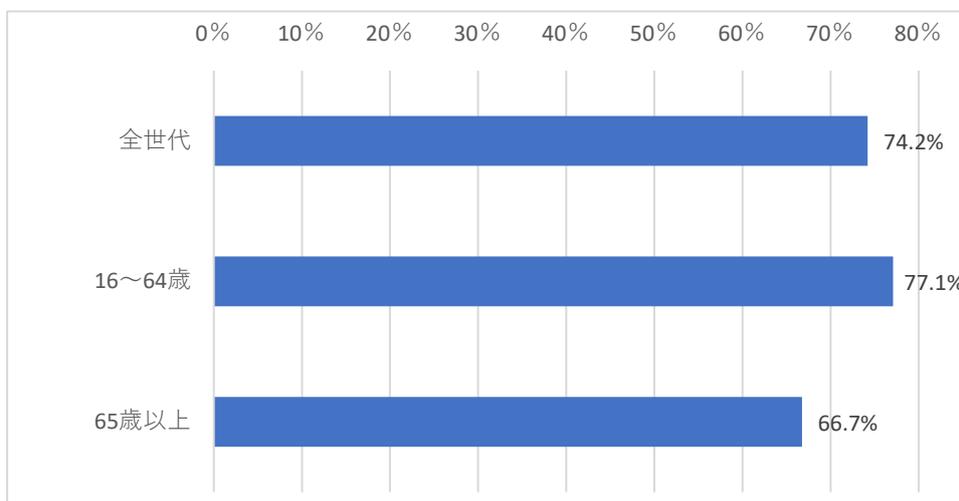
回答選択肢	サンプル数	比率
【全体】	3235	
1.健康である	718	22.2
2.どちらかという健康である	1683	52.0
3.どちらかという健康でない	491	15.2
4.健康でない	286	8.8
5.わからない	57	1.8



【健康だと思う割合】

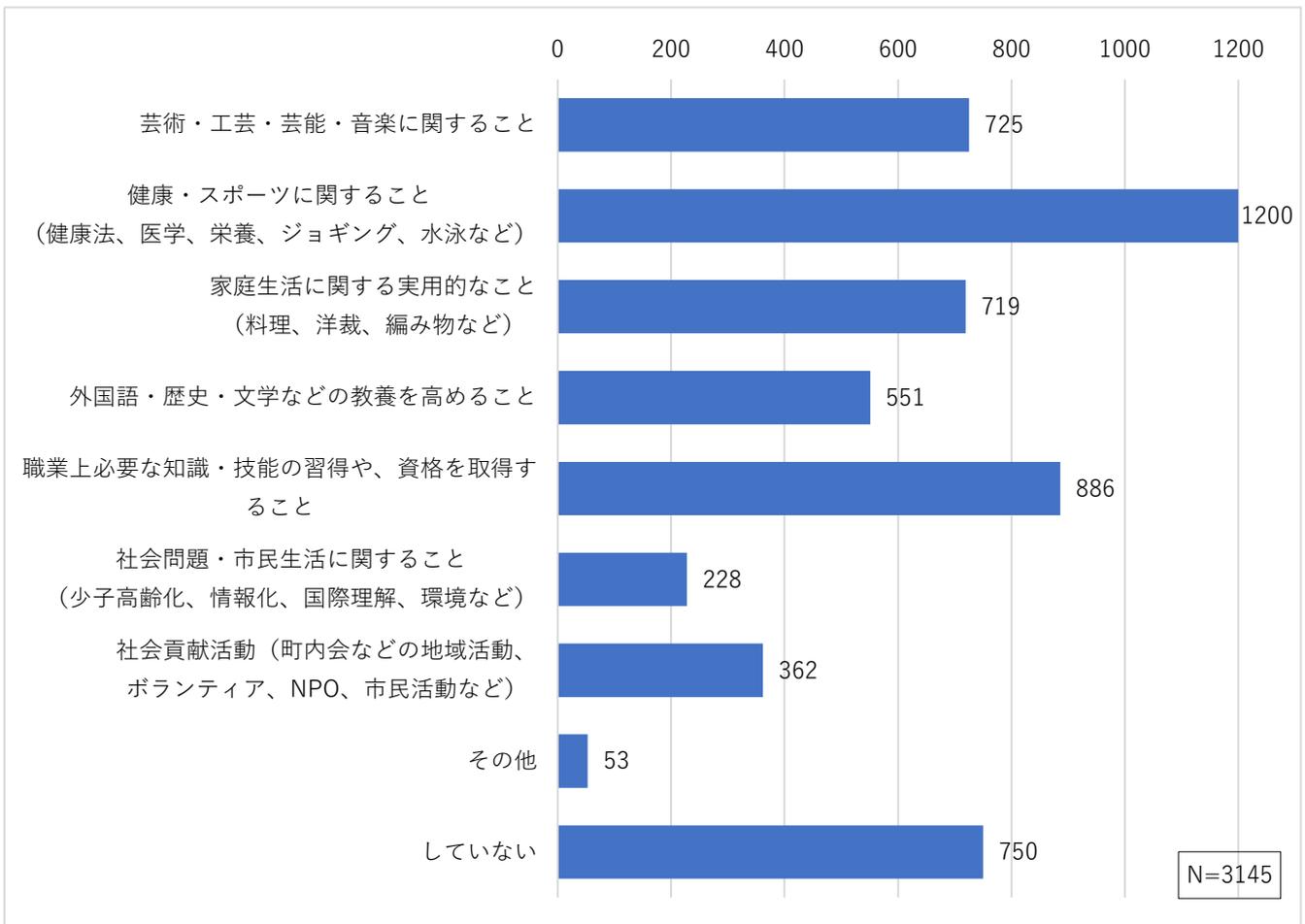
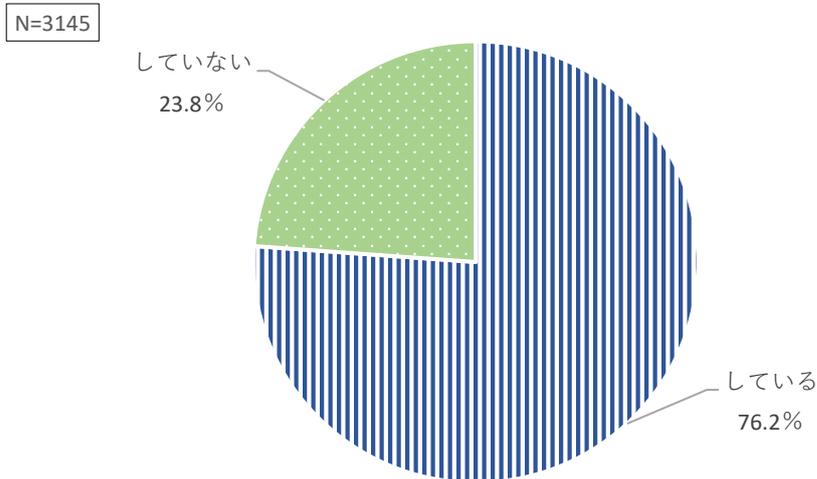
※「健康である」+「どちらかという健康である」

対象	サンプル数	比率
全世代	2401	74.2
16～64歳	1807	77.1
65歳以上	584	66.7



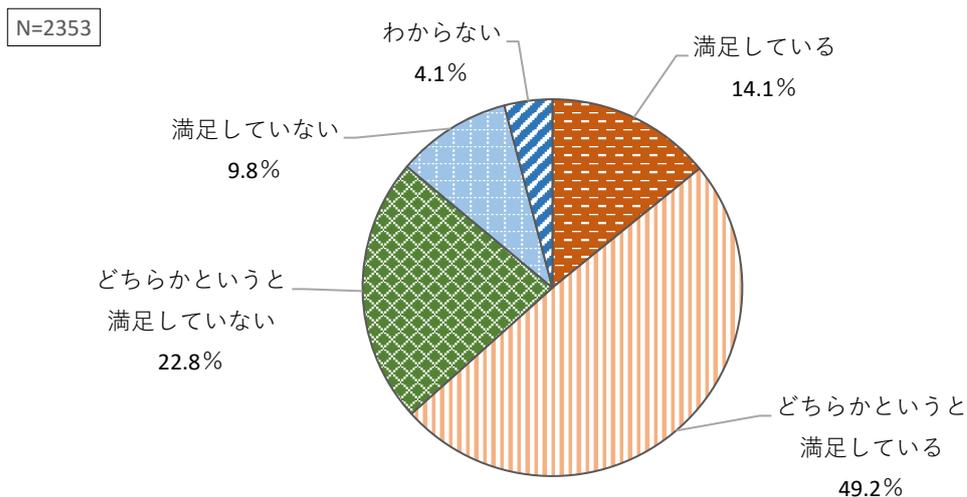
6. 次にあげるもののうち、あなたがいま生涯学習※として取り組んで（学んだり、活動したりして）いるものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	サンプル数	比率
回答者全体	3145	
している	2395	76.2
していない	750	23.8



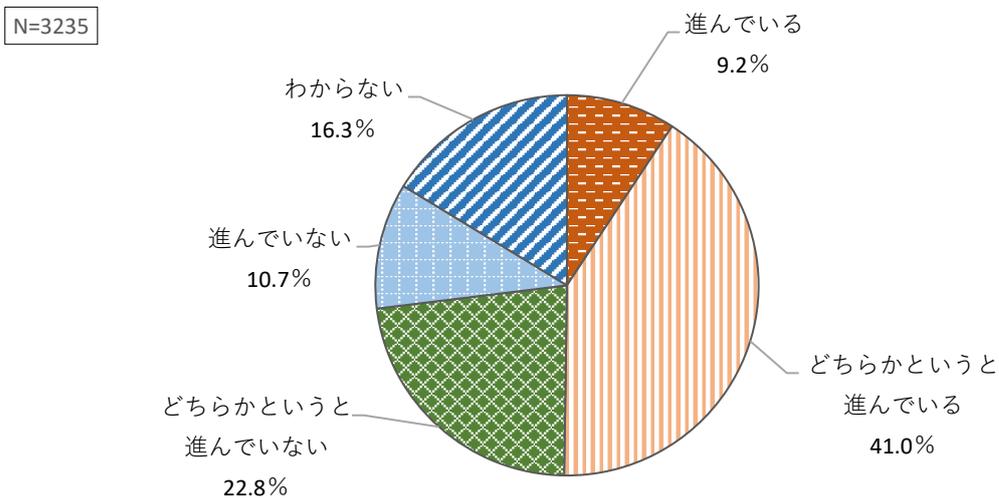
7. 6で1～8に○をつけた方のみにお聞きします。あなたは、現在の学習や活動の環境に満足していますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

回答選択肢	サンプル数	比率
【全体】	2353	
1.満足している	332	14.1
2.どちらかという満足している	1158	49.2
3.どちらかという満足していない	536	22.8
4.満足していない	231	9.8
5.わからない	96	4.1



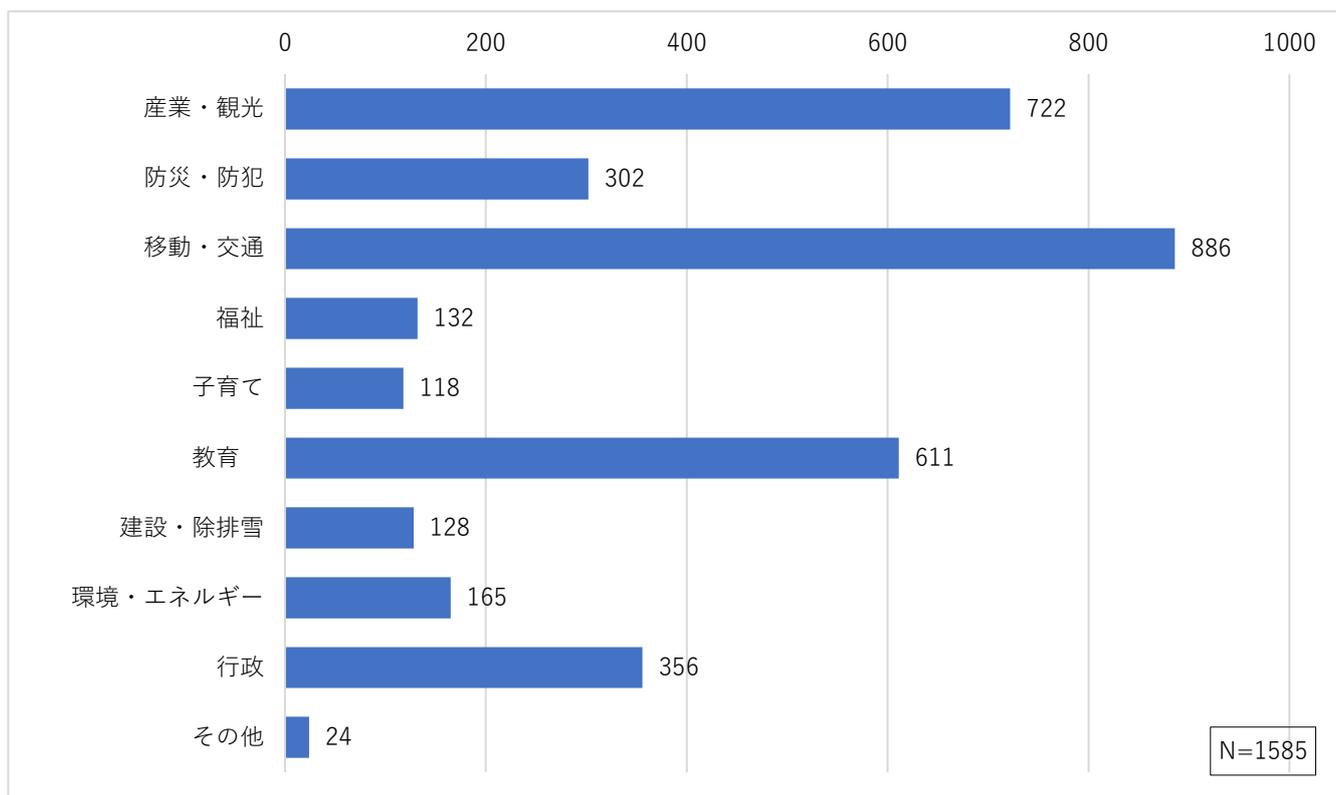
8. あなたは、まちのデジタル化が進んでいると感じますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

回答選択肢	サンプル数	比率
【全体】	3235	
1.進んでいる	299	9.2
2.どちらかという進んでいる	1326	41.0
3.どちらかという進んでいない	738	22.8
4.進んでいない	346	10.7
5.わからない	526	16.3

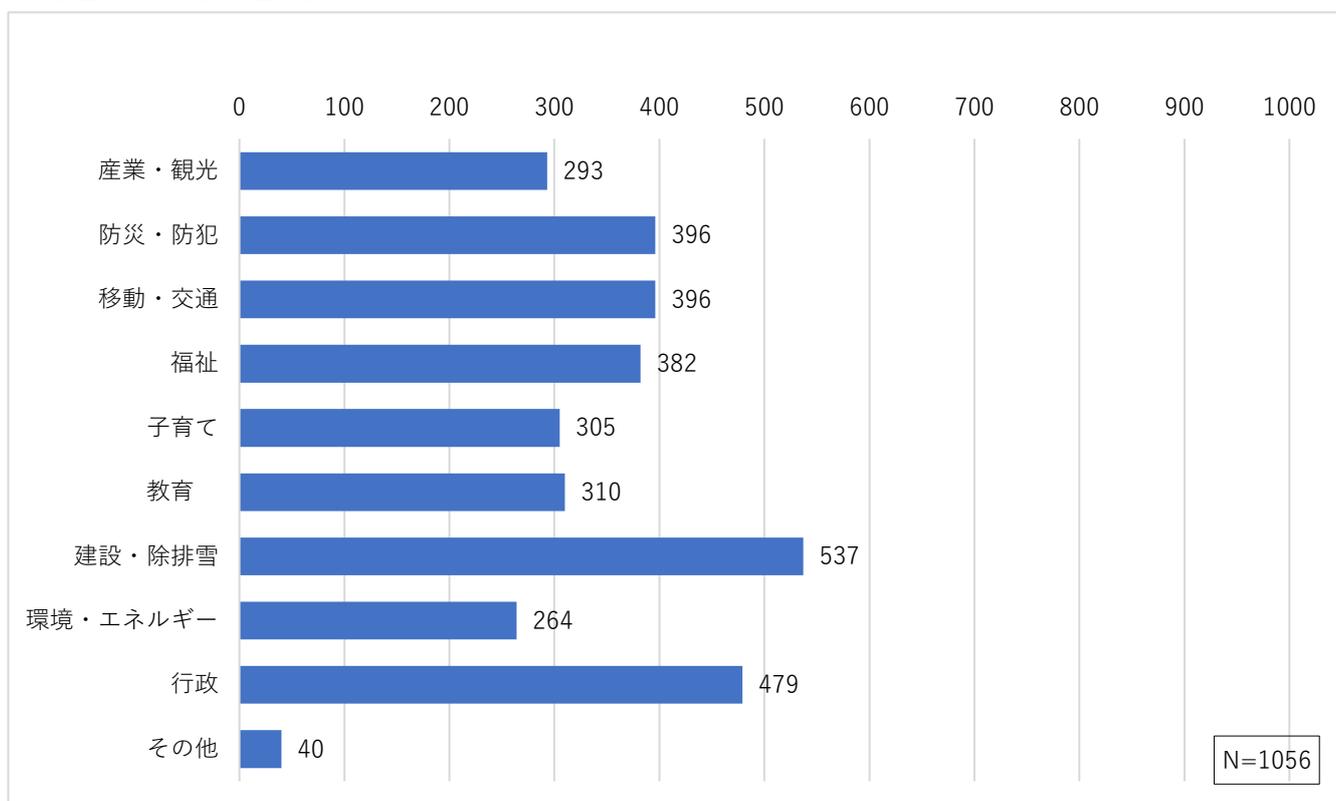


9. 8で答えた理由として、どのような点でデジタル化が進んだ（または、進んでいない）と思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

【進んでいる理由】



【進んでいない理由】



問4 今後の札幌市のまちづくりにとって重要だと考えることを、ご自由にお書きください。

問2自由記載において、今後の札幌市のまちづくりについて寄せられたご意見を内容に応じて分類している。また、そのうちの代表的な意見の一部を抜粋の上、分野ごとに掲載する。

なお、複数分野にわたってのご意見があるため、Nと件数の合計は一致しない。また、明らかな誤字については、表現を修正している場合がある。

			N=1523			
分野	意見の内容	件数	分野	意見の内容	件数	
子ども・若者	子育て支援	191	ツ・ス・ポ・文・化	文化・芸術・スポーツ	31	
	子育て中の労働	18		イベント	17	
	保育園・幼稚園・児童館	15		オリンピック	92	
	ひとり親家庭	3	環境	自然エネルギー・環境	35	
	教育環境・学校設備	74		野生動物	5	
	いじめ・虐待	9		ごみ	11	
	暮らし・暮らし	子供の医療・福祉	16	都市空間	公共交通	79
		若者への支援・定住	63		地下鉄延伸	61
医療・福祉		26	郊外部の開発・発展		47	
除排雪		275	公園・運動施設		27	
バリアフリー	39	景観・建物・自然	24			
道路・交通	81	上下水道などの都市基盤	11			
地域	地域・町内会	31	公共施設		25	
	夕世代間交流	7	その他	コロナ関連	18	
	安全・安心	28		まちづくり全般・札幌につし	80	
	高齢者・障がい者	86		道内市町村の発展・連携	11	
	外国人の移住・労働	10		人口減少対策	18	
	国際化・国際交流	9		行政・税金など	51	
安全・安心	災害対策	21		情報発信	48	
	治安・防犯	20		市民の意識・意見	37	
	冬の対策	74		ペット	3	
経済	企業・産業・観光	57		アンケートについて	31	
	起業支援	2		次世代を見据えた街づくり	23	
	食産業	5	デジタル化	49		
	雇用・賃金	29	その他	168		
	消費税・物価高	12				

分野1. 子ども・若者

- ・若者の経済的・社会的安定。結婚や出産にちゅうちょなく踏み出せる社会環境。出産に係る費用の無償化(せめて妊婦検診を無償にしてほしい)。収入による子育て支援格差の撤廃。
- ・妊娠、出産から義務教育、高校、大学までの子育て支援。子供が自立する支援。
- ・将来の札幌市を担う子供たちをしっかりと育てること。妊娠、出産期だけではなく、中学・高校・大学期に一番お金がかかり、その時期こそが子どもにとって大切であることをわかってほしいです。
- ・妊婦、乳幼児への配慮が圧倒的に不足していると思います。出産してから市からもらえるのはゴミ袋だけ。もっと充実した支援をしてあげてほしいです。(継続的に) 子どもや子供のいる世帯への支援もお願いします。
- ・未来の札幌市の為に、子供を産み育てる環境づくり。子供が増えて、その子供たちが札幌市で就職して、また子供を増やしていかないといずれ人材不足になって何もできなくなる気がする。
- ・「子供食堂」を増やし、困っている人全てが利用可能にできるよう、保育園から高校まで全ての教育にかかる費用と医療を無償化する。
- ・高校生まで通院医療費を助成して欲しい。
- ・どんな環境にいる子供にも平等に衣食住を与えられる町。
- ・少子化対策として、子育て世帯への経済的支援、サービス。社会全体で少子化の問題意識の共有。
- ・子供や子育て世代に対しての支援がもっと手厚くなるとよいと思います。医療の観点でいうと受給者証を18歳まで伸ばしたり、料金が一切の負担は市にかかるようにしたりすると良いかと思います。
- ・安心して子どもを産み育てることができる町であることを明確に示す、目標値設定と誰が何をすることが必要なかを示す。人材の育成を大切にする風土の醸成。
- ・高校までの学費(教材含む)無料化→低所得+ α
- ・特に子育て支援を優先して欲しい(給食費を義務教育の間無料にすること)。
- ・産んだら数千円、数万円もらえとかいう一時的なサポートだけでは今の若者は産み控えをしたいと思います。もっと根本的な話です。私たちは安心がほしいです。最低でも大学までの教育費無料があれば不安は減ります。どんな環境でも、どんな収入でも乳幼児でも中高生でも安心できるような生活を手に入れられる政策をいち早くお願いします。
- ・女性の子育てをしながら働ける環境。

- ・働く環境の整備、子育てのしやすい優しいまちづくり。
- ・子育てにお金がかかるので、その世代の支援を充実させる(保育所無料とか、教育費の支援を増やすとか)。
- ・離婚した父親が、全て母親に押し付けて逃げる世の中はおかしい。子供への養育費を義務化し、子供が社会人になるまで養育費を払うことを守らせる法律を作り、罰するべきだと考えます。子供を作った責任は義務として果たさせる社会でなければ、子供がかawaiiそうです。
- ・子供たちの学力が全国平均を下回っているのはかawaiiそうだ。
- ・市立高校で情報が専門ではない先生が情報を担当していて不安と聞いたので、共通テストに対応できるような先生が確保できているのか把握、対応してほしい。
- ・特に札幌市を支える子供をしっかり育てることは最重要課題だと思われる。先を見据え、現場の教員の声を聞き、早急に改善すべきところはしないと、教育の質の低下が顕著になってきている。
- ・働く夫婦にとってまだまだ保育園が足りず困っている。小学生も児童館が遠く、帰りが心配で利用させられない。小学校のあき教室や解放図書を利用しやすい階にうつしたりもっと地域に解放できるように考えたらいいと思う。
- ・虐待などを受けて親と離れて暮らす子供たちの施設で、知り合いが働いています。食べ物や着るものはしっかりあるようですが、教育が行き届いていなかったり、働いている大人の上層部が、(どうせこの子供たちは、将来風俗で働くから教育は必要ない) という態度だったりするようです。もっとたくさん、問題もあると思います。なるべく多くの職員から話を聞き、そういった最も弱い立場にある子を救って欲しいです。
- ・小中学校でのいじめ問題の対応が不十分
- ・少子化が進むが、公立学校の教育の充実やいじめの早期発見、対策に力を入れていただきたい。
- ・少子高齢化社会のご時勢、福祉や子育てしやすい環境づくりに、又、若い人が希望を持って仕事に従事できる事願います。
- ・若者の経済的・社会的安定。結婚や出産にちゅうちょなく踏み出せる社会環境
- ・若い子がチャレンジできる社会(起業など)。
- ・様々なことで頑張っているとは思いますが、もう少し若い世代に対しての手助けを考えては？と思います。これからの人たちに力をいれてあげてほしいです。それにはもっと、若い人たちと議論してほしいです。

分野2. 生活・暮らし分野

- ・除雪・排雪対策。雪害による交通のマヒは深刻です。車いす利用者が気軽に外出できる環境にはまだほど遠い。バリアフリー対応の施設が少ない。
- ・冬の積雪期の元々の確保、家から出られない環境はあり得ません。
- ・冬の期間の雪対策をもっとしっかりやってほしい。大通りだけではなく、細い道の除排雪
- ・冬の道路（生活道路）の調整、道のお金の使い方が市民が生活しやすいように税金を使ってほしい。
- ・除雪及び排雪をタイムリーに行ってもらいたい。
- ・冬の除雪体制を強化してほしい。中小路で車が埋まって立ち往生しているのをここ10年ですぐいぶん増えている
- ・生活の為に買い物（車もなく、運ぶのに段差の多い道を苦勞して歩いている老人をよくみかける）や冬期間の歩行（除雪の完備）の安全が確保され、積極的に外で歩けるような街にしてほしい。（元気に外で出歩きたくなる街）
- ・除排雪の邪魔になる路上駐車取締り強化。
- ・大雪対策。交通。地下鉄はいいがバスに乗るときの不便さ。（雪の日の遅れ、乗る番号が判断できない）
- ・雪の排雪が足りていないために、生活が困っている。通学にも困ることがある。対策をよりしっかりしてほしい。
- ・障害を持つ方が安心して外出するにはまだ足りない部分があると感じるので、徐々にでも改善してほしい。
- ・去年の冬の歩道の点字ブロックが雪で隠れてしまい、目の不自由な人が方向などわからなくなっていた事があったので、点字ブロックの部分だけロードヒーティング的なものになればいいなと思いました。
- ・障がい者トイレは独立で設置をお願いします。介助者が同性でない場合、女子トイレや男子トイレの入り口の中に設置している障がい者トイレはどちらにも入れません。
- ・視力に障害がある方に対して、地下鉄にあるトイレを本当に視力障害者が使用して居るか確認していますか？ 障害者の意見を取り入れた案内なのでしょうか？ 疑問に思っています。小さな事ですが障害が無い方が考えた事で実施されている事が沢山あると思います。歩道の案内黄色シートは小さな子供を連れたベビーカーの女性には傾斜が有る歩道では困って居る事も有るのです。歩道も狭くて歩けない様な形だけの歩道も有るし電柱も立っていますし、中には歩道の上にゴミステーションが設置されていたりします。市は形だけ取り繕えば良いと思って居ませんか？

- ・視覚障がい、車イスについての対策はよく見かけるが聴覚障がい、色覚障がいについてはどのくらい進んでいますか？
- ・もっとバリアフリーに目を向けて障害者でも健康な人と同じように暮らせるように進化してほしい
- ・札幌駅、新幹線開業に伴う同周辺の交通渋滞とにならないよう交通対策をし、市民が楽しめるようにすることが重要のひとつかと思う。
- ・自転車を車道に出したのに車道の整備が全くできていない
- ・1年前に転勤で引っ越してきたが、道路整備が悪く感じた。アスファルトが穴だらけ。
- ・「人」を優先したまちづくり。市電の延伸、自転車専用レーンの拡充、駐輪場拡大、サイクリングロード延長。
- ・身近な乗り物である自転車の無料駐輪場が札幌大通中心部にない。買物、食事に不便な街になった。ボランティアもいけない。
- ・お金のかかる事業ですが、道路補修こまめにお願いした。そして、道路の両側及び中央分離帯の草木をもっときれいにしてほしい。自転車マナーが悪すぎる。
- ・交通の便の地域格差をなくす
- ・移動手段が電車または車の中で、どちらかが麻痺すると、もう片方に負担がかかり結果麻痺して、身動きができなくなるので、交通経路の拡充を希望
- ・首都高速の様な市内を環状する有料道路が有ると冬場がもっと住みやすくなる。
- ・高齢者に対する福祉の面で行き届いてないことが多く感じます。
- ・福祉の街を目指して欲しい。人にやさしい街。安心して生活ができる町。福祉にお金を使ってください。
- ・福祉施設等の整備とそこで働く人材確保、介護が必要な方にとって家族も含め暮らしやすいまちづくりが重要で市税は高齢者や子供に対して多く使われて良いと思う。オリンピックは必要ないです。市民の生活を一番に考えて税金を使って下さい。
- ・誰もが輝ける街となるよう、子育て、介護を理由に働きたくても働けないことがないよう、受け皿の充実と高齢者が病院や薬に頼らず、生き生きと活動できるまちづくり。
- ・かかりつけ医といえる病院がなく、いざという時に困っています。医療体制を整えることに特に力をいれてほしいと思います。

分野3. 地域分野

- ・町内会費は初めから市税などで徴収すべきと思う。(払わない人もいるので)
- ・高齢化が進み、現在の町内会の機能が今後継続するのは難しいと感じます。
- ・地域での若者の活動が低下し、地域づくりが停滞している。特に、連合町内化のリーダーシップがなく、時代に対応した活動がなされていない。
- ・行政施策を知る機会を増やしてほしいと思います。転勤等で出入りの多いまちだと思いますが、町内会ごとに機能を果たせる仕組みづくりが重要と思います。
- ・日常生活の細かな部分を町内会に丸投げするシステムはいずれ破綻する。いや、破綻しかけていることに気づいているはず。
- ・地域住民の高齢化が進み、さびれた地区がある。都心開発だけではなく、古い建物を建て直し地域の活性化が必要だと思う
- ・大人と高校生や大学生が気軽にに関わり、さまざまな意見が出し合えるコミュニティがもっと増えてほしいと思う。
- ・ゴミステーションの維持管理等、札幌市でやってください。高齢者が早朝より雪かきをし、器具を出すのはもう限界です
- ・子どもも大人も高齢者も孤独を感じない居場所づくりの充実が必須だと考えます。
- ・独り暮らしのお年寄りが人と関わられるようなサークル活動を多く作ってほしいです。
- ・子どもから高齢者まで幅広い世代の人たちが助け合いながら過ごせるまちになるといいなと思います
- ・いろんな世代と意見がある中で大変ですが、小さな子から子ども、学生、子育て世代、高齢者、幸せ度が増す街になってほしい
- ・①独り住まい高齢者の交流の場づくり推進。激増している高齢者のため、地域交流の場づくり（近くの集会場での映画界、趣味活動など）②ボランティア活動の活発化支援。公園の雑草取り、ゴミ拾いなどにより健康隣近所との交流、治安の改善に役立つと思います。
- ・障害をもつ子や大人への支援や、健常者への認知、かかわりを知る機会をつくってほしい
- ・高齢者もとても多いので、元気な高齢の方には積極的にボランティアに参加しやすかったり、あまり元気でない方には住みやすいまちづくりになってもらいたいです。

- ・ 障害を持つ方々がもっと過ごしやすいようなそして安心して暮らすような街づくりにしていくべきであると思う。今でも十分に取り組んでいるかもしれないが、実際にまだまだ出来ることは多いと感じた。
- ・ 多様性の時代に対する教育、周知のあり方。
- ・ もっと外国人に優しい環境をつくるべき。
- ・ 副都心の案内板の外国語の種類を増やす。
- ・ 多種多様なバックグラウンドを持つ人々（特に外国人観光客だが、札幌移住した市民含め）と調和した共生を実現するための地元民側の教育や啓蒙。無知や誤解による偏見の発露や排外性を少なくしていくため。
- ・ 国際的に開かれ、たくさんのことを吸収できる環境づくり。
- ・ 国際性のあふれる街にするために、学生の異文化交流を設ける
- ・ 国籍や障害などで差別されずどんな人でも快適に過ごすことができ、また、市民の意見が反映されていくまち。

分野4. 安心・安全分野

- ・安心・安全な生活を送れること。
- ・犯罪も多様化し、凶悪になりつつあり、他人事では済まない世の中になっていると思うので、防犯のためカメラ設置が必要になると思います。
- ・空き家問題：空き家が多く、治安や衛生面でも問題です。早急に対応してほしいです
- ・日本人の安全と安心が保証される市であって欲しい。
- ・より強固な防犯体制の確立 = 屈指の安心、快適な都市となることが根底にあるべきで、そのうえでこのビジョンの都市像の実現に向けて進んでほしい。
- ・全区に警察署を設置し安全な生活を確保する等、市民の不平等を解消する必要がある。
- ・防災・防犯を未然に防ぐことや事前の備え。災害が起きたときの対策がスムーズに行える様な体制があれば安心だと思いました。
- ・雪害に強いまちづくり。最近では雪で交通がとまり、除雪が追いつかないことが多い。
- ・昨年の大雪や地震による停電など、前例がないと全く機能できない札幌市にがっかり。
- ・災害時に誰もが安全に避難できる施設の増設。
- ・防災について、のど元過ぎれば忘れてしまっているのでは、しつこい広報も必要かと思います。
- ・障害がある家族がいます。地震などの際、避難所に入ることができません。どう守れるか？常に不安です。何か方法はないものか？と考えます。
- ・ペットを飼っている世帯の避難場所の確立。避難所を使用するときのルールを、平時から各町内会などで議論し、締め切りを作って確定しておく。その際、一定の立場の人たちが不利にならないよう配慮する（例・ペット所有者が遠くの避難所に移動させられる、など）
- ・警察のパトロールを強化してほしい
- ・子供が犯罪にまきこまれない様にスマホの制限。防犯対策。性犯罪者のGPS等の場所に開示等。
- ・防災・防犯を未然に防ぐことや事前の備え。災害が起きたときの対策がスムーズに行える様な体制があれば安心だと思いました。
- ・安全なまちづくりのためにも空き家や老朽化した建物を壊す取り組みが必要だと感じる。

- ・災害・雪害(大雪)の時に市民にもっと寄りそった対応をしてくれること。
- ・冬期の雪対策を考え災害時、大雪時における道路確保を常に考え普段の道路確保のため除雪を常に行ってほしい。
- ・本市は日本国内で約6か月は寒冷地生活圏であるので、寒冷地生活対策の国内トップリーダー的存在を目指すべきである。
- ・長い冬、運送トラックなどスムーズに働ける街
- ・冬期の災害にそなえるべき
- ・冬期間にも安心安全に移動できること。
- ・冬期間における生活が快適にすごせるように整備願いたい。
- ・北国のリスクである冬の生活を誰もが快適に過ごせるようにしていく事が大事だと思います。冬の移動は年齢に関係なく大変です。
- ・札幌市は雪害がひどく昨シーズンなどは交通渋滞がひどく、JRは運行しない日が多かった。冬は生活していくうえで非常に住みにくいまちとなっている。これからの異常気象を考えると札幌で生活していくのに不安を感じる。オリンピックにお金を使わずに生活に必要な地下鉄を延伸してほしい。道路網も創成トンネルのような地下道を増やしてほしい。JRと協力して運行ストップしないように対策してほしい。雪捨て場をもっと多くの場所を開放して、雪捨てに時間がかからないようにしてほしい。
- ・新たに宅地化する場合の車道の幅を雪対策を含めて計画させる。
- ・排雪や地下鉄などのライフラインの整備は、毎年課題になっている部分だと思うため、改善が進めばより住みやすくなるのに必要だとも思います。
- ・冬期における。交通網の整備。ゴミ収集方法の再検討。
- ・札幌市は、冬に大雪が降り、バスやJRなどの公共交通機関の運休や遅延がよく見られます。また、運休や遅延による混雑などが起き、密になるだけでなく、職場や学校に遅刻することも起こりえます。
- ・冬の交通マヒを未然に防ぐ

分野5. 経済分野

- ・多様な産業・文化・人材交流が進む中、新しいこと、目立つことが評価されると誤解される事なく、土台がしっかり築かれること。
- ・現在は新幹線の延伸や都心の老朽化したインフラ、建物の再開発が大切なのは理解できるが、その後の札幌市全体をみた開発のビジョンが不透明。都心と定山溪(温泉)のような観光資源を結び付け、札幌市全体として発展していければ産業・観光の恩恵を広く受けることができると思います。
- ・観光に力をより入れ他県、他国から北海道の産業にお金が落ちる仕組みを作って欲しい
- ・観光地としての充実化(観光施設等の整備や受け入れ体制)
- ・都市の人口減を抑制するため道外から大中規模の本体や一部事業を官民産一体となって誘致活動を勢力的に行ってほしい。
- ・いくつかの観光地に安く行ける・・・東京でいうところのほとバスみたいなものをつくってほしい
- ・最先端の技術に触れる機会を作ること。
- ・IT 事業におけるスマート都市化を目指すことで、それに伴った企業の誘致による経済の活性化。一方で観光事業にも尽力し、すすきのを中心とした飲食、接客業へのサポート。雪害への AI を駆使した効率的な除雪対策。札幌市をより、経済的自由度が増すように起業支援と持続的な自営業サポート。
- ・行政がブラック企業と呼ばれる会社を正していかない限り、市民は安定した生活は送りづらい。もっと現在、そして未来を明るくしないと人々は幸せにならない。
- ・大企業の誘致、観光都市としての発展
- ・若い子がチャレンジできる社会(起業など)。
- ・一次産業支援、食料危機対策
- ・食産業を担う人材の確保。
- ・食の安全。札幌近郊の農家が宅地化され農業生産がゼロに近い状態(将来が心配)。
- ・札幌及び道内食材の活用、国内流通強化。
- ・各企業、特に中小企業就労者の雇用内容・福利厚生等の改善。コンプライアンス問題の対応等にもっと力をいれてほしい。

- ・雇用人材の活性化(介護や物流など)
- ・物価が高く、賃金が安い、低所得者層にとってはとても住みづらい。
- ・誰でも平等に働ける環境
- ・人手不足に対応するために積極的なIT分野への投資を行うべき。但し、そこには大手の意見ではなく、中小零細企業の現場の声を十分に取り入れるべきと思う。特にインフラ関係は、北海道特有の広域かつ冬季に対応する必要があり、人材不足により、維持管理の品質が将来深刻なほど低下すると思う。
- ・最低賃金の引き上げ・消費税減・物価が高い。
- ・雇用人材の活性化(介護や物流など)、物価高対策
- ・現在の物価高は異常であり、生活が厳しい状況におかれている。物価の安定と公共料金の抑制をお願いしたい。
- ・物価を安定できるしくみ、(民間)取組みふやしたい。
- ・冬の環境を活かした、札幌にしか発信できない発電方法やビジネスチャンスはたくさんあると思います。寒さと雪はつらいですがそこに不便から生まれるアイデアが絶対あると思うのでそんなベンチャー企業が増えて成功すると思います。

分野6. スポーツ・文化分野

- ・外から集めてくるお金のかかる芸術祭ではなく、もともとある物や地域に根差した美術や芸術や地域に共感して自然とはぐくまれるようなものを大切にしてほしいです。札幌中心部では食のイベントが稼ぎ頭かもしれませんが、大通公園でのイベント設営→解体の繰り返しに何かとてもむなしいものを感じます。もう少し持続可能な札幌の街の美しい保ち方を考えていきたいです。
- ・もっとプロ野球チームを大事にしてほしかった。判断ミスにつきる。
- ・子供から高齢者まで、文化や芸術に親しめるまち。PMF やシティジャズなどもっとアピールしたら良いと思う。
- ・札幌の季節の特性は、世界的に見ても特に冬は魅力的なものだと思います。ウインタースポーツに力を入れればもっとメダリストは増えるはずだ
- ・コンサートホールは充実しているので、もっと海外からの団体も呼んでほしい。せっかく良い団体が来日しても北海道に来ない。
- ・よさこいや雪まつりなど安全な復興。オリンピックより市民が日常的にできるスポーツの普及。
- ・単なる観光化だけでなく、歴史(文化財)と融合した街づくり。見た目だけではなく、ある意味で掘り下げた考える町づくりも大切。
- ・札幌をホームタウンとするスポーツ、芸術の応援体制の強化。
- ・体（ウェルネス）を第一に考え、もっと運動できる環境が増えればと思います。例えば、体育館以外の屋内でスポーツができるなど。体を動かしたいと思っても冬は気軽にできる場がないなど感じる。
- ・スポーツ少年団の先生がボランティアになり指導者が減っている。少しでも補償（お金）が欲しいと思います。それが札幌のスポーツのレベルの向上につながると思います。
- ・芸術、芸能分野への助成をもっと行うべきです。大きな団体や企業だけでなく、この街には個人規模でも優れたアーティストやクリエイターがたくさんいます。
- ・2030 オリンピックの招致に向けて、より多くの子どもがトップアスリートを目指す環境を作ってほしい。小学生全児童の体力測定を公共施設で行うなど、行政からトップアスリートを出すことで、札幌に活気があふれて、まちづくりの推進へのきっかけになると思います。
- ・生涯スポーツの充実

- ・大きなスポーツイベントはやめてほしいです。反対です。スマートでもコンパクトでもないと思います。
- ・地下でもっと色々なイベントをすると良いと思います。
- ・札幌を知ってもらおう新しいイベントを作り、人を呼ぶ。
- ・大通公園を中心にイベントが多いが、都心付近にある中島公園でのイベントが少ない。大通を子供や若い層が参加できるイベントをするのであれば、中島公園には子供のいない層や大人、高齢者がゆったり時間の流れるイベントなどしてほしい。ビアガーデンも何故大通公園だけなのか？ヨーロッパのように広場やガーデンでゆったり飲食は出来ないのか？
- ・イベントが増えてほしい。外出する機会を増やしてお金を使う機会も増えるといい
- ・オリンピックや国際イベントの開催など、国際観光都市としての魅力向上をめざす施策が重要と思う。
- ・高齢者にとっても住みやすいイベントに参加しやすいまちづくりをしてほしい。
- ・2030年の冬のオリンピック開催が中止すべきだ
- ・冬季オリンピックを結局どうするのか？負の遺産しか残さないのであれば借金ばかりで、次の世代が困るようなことだけはやめてほしい。
- ・オリパラは住民投票をお願いします。
- ・冬季オリンピック等、スポーツの集大成となるようなものは開催しなくて良いと思う。それぞれの各スポーツ大会(世界含む)だけで十分。競技別ので十分。
- ・今一度冬季オリンピック誘致に関して考え直す事がまず大事だと思います。
- ・

分野7. 環境分野

- ・「みどり」をこれ以上開拓名目で切り開かないこと
- ・環境に配慮した都市づくり、野生動物との共生、SDGS の推進
- ・エネルギーステーションの充実化。
- ・自然を守ること。自然エネルギーの推進。
- ・エネルギー問題は時限的にも、原発稼働を北海道、札幌市も国に働き掛ける。ペアガラス窓に補助をして、省エネルギーの一役になることと北海道風外観となる。
- ・冬の雪をエネルギーとして利用すること。
- ・今、残っている緑、自然をこの先も保全し続けてほしい。
- ・再生可能エネルギーを増やすことが重要だと思う。だけど、太陽光発電では木を切り倒さなければならず、私的には本末転倒だと思うので、太陽光発電を増やすならば、建物の屋根のみとかにすれば良いと思う。
- ・日本の他の都市から抜き出した環境保全まちづくりをするには、電気自動車の基盤整備を積極的に行っていくことが必要だと思う。また、電気自動車が便利で環境に優しいという、イメージを持ってもらう必要があると思う。
- ・公共交通機関は AI を利用した全自動化。ノンカーボンを促進するため行政の車は電気自動車。建築物は太陽光化をし、それを促進するため一般建築物には補助金を出すとか、税の免除をしたりする
- ・都心部の交通量が多い(特に冬)と感じているので都心部の交通機関(路面電車、路線バス、レンタル自転車など)を発達させ、車がなくても街を自由に行き来できるようになれば二酸化炭素の排出量も減り、クリーンな街になっていくのでは無いかと感じています。
- ・クマへの対策。子育て中だが、公園の近くがすぐ山なので怖くて近づけられない
- ・最近特に野生動物の出没に脅かされてゆったりと散策が出来なくなっています。少しでも安全に歩ける公園、森林を希望しています。
- ・ごみの捨て方をそれぞれが徹底してほしいです。今でも捨てれば何でも回収してもらえるとと思っているから、管理会社の方が片付けてるのが大変だなとも感じています。
- ・ゴミのない国際都市（シンガポールのような清潔な都市）

分野8. 都市空間分野

- ・バスのさらなる普及。私は海外留学経験がありますが、その国ではバスの利用者がとても多く、驚きました。利用者が多い理由として①バスの本数が多い ②バス停に電光掲示板があり、決まった時間にバス停に行くのではなく、電光掲示板をみて自分の時間にあったバスに乗れる。5~10分に1本の間隔でバスが来ていたので利用者が地下鉄くらい多かったです。5~20分くらいでくるといいなと思います。
- ・大通りだけではなく、細い道の除排雪、バス、電車の交通機関の待ち時間の短縮化。特にバスは利用者にあったバスの台数確保など・・・乗れなくて、せっかく来たバスを見送ることが多い。
- ・有事に備えて地下鉄の各方面への延伸しシェルター化としての活用と脱車社会との両立ができるよう地下鉄のネットワーク網を広げてほしい
- ・観光客の移動の利便性、車以外で札幌・道内をまわりたい。JRも廃線が多く若い人はまわりにくいらしい。
- ・交通網の整備・拡充。地下鉄は地上型も含め検討要。都心への自家用車乗り入れを減少させ、より機能的な街づくりを期待します。
- ・地下鉄間の乗り入れをしてみてもどうでしょうか。バスは分断されて、乗り継ぎは時間と料金がかかり、利用する気になりません。丘珠空港の利用促進はもっと議論してほしい。
- ・車を使わないまちづくり、市電を各区まで広げる。高齢者人口がどんどん増える札幌には絶対必要になります。
- ・公共の乗り物の料金が高すぎます。一家で出かけたなら往復で何千円もかかると考えたら、公共の乗り物に乗ろうという考えはなくなり、自家用車で出かけようとしてしまいます。市電や中央だけは100円で乗れるなどの施策はありますが、遠くなるとそういう物はありません。エコの観点からも、もっと気軽に公共の乗り物に乗りたくなる施策を考えていただきたいです。
- ・都心部は再開発などである意味世界に誇れる美しく便利な所だと思いますが一方で生活圏の郊外では地下鉄がなかったり道路もバス通やスクールゾーンでも車道も狭い上歩道橋も傘もさせない程せまかったり坂道も片ロードヒーティングの無い側はマイナスの気温でもグチャグチャでその雪も狭い歩道の為置くところもなく私有地に入れてるにも関わらず何十年も変わらない。まちづくりは観光ばかりでなく住民の為にも整備して頂きたい。
- ・地下鉄、路面電車がない地域、そこから離れてる地域に対する公共交通機関の拡大。
- ・新幹線に関する事が重要。

- ・地下鉄等の雪の影響を受けにくい公共交通機関の更なる充実を図れば人の移動も活発になり好循環型社会に繋がるのではと思います。・最近特に野生動物の出没に脅かされてゆったりと散策が出来なくなっています。少しでも安全に歩ける公園、森林を希望しています。
- ・地下鉄の延伸や環状にしてみたらいい
- ・地下鉄の路線が増えてくれると便利になり、移住者や旅行者も増えると思います。土地が安ところ＝郊外となり、隣町に移る方が、JR などもあり結果、札幌から離れざるを得ないと思います。
- ・地下鉄延長(タイヤから車輪に変更して、JR との相互乗り入れ検討)。サピカの独自機能変更→他の IC カードとの共通利用。
- ・地下鉄の延伸や公共交通機関の乗り物を便利にしてほしい。
- ・均衡のとれた街づくりをしてほしい、今中心部の開発が進んでいるように見える、郊外の開発にも少し力を入れて欲しいのと北海道は札幌一極化している札幌は人口 190 万人が適正だと思っています。
- ・札幌市の一部だけでなく、全体的に活性化をさせることが重要だと思う。
- ・インフラの偏りのないまちづくり。
- ・都心部の再開発等の期待できる部分がある反面、同じ札幌市内でも地域格差は多々あると感じる。
- ・大規模な公園や市内ウォーキングコース増加は必要です。子育てサロンだけでなく、老人、子育て世代が年代の枠を超えて過ごせる場所を増やし、お互い助け合うことで自己価値を上げ、生きがいを創造していくべきです。
- ・公園がたくさんあって住みやすい街だ。しかし公園が汚い。犬のフンが落ちていたり、冬が特に雪が尿で汚れて散歩する気になれない。せっかくの公園を数少ない愛犬家に占領されているようでもったいないと思う。もっと犬の散歩運動を取り締まりする規制を作してほしい。
- ・地方都市にあるような、無料または低価で遊べる子供の屋内遊戯場を充実させてほしい。
- ・公園の整備、遊具を子ども達の運動機能向上させるようなものにする。
- ・みどりの環境と都市空間が調和したまちを保持すること。
- ・町の中心部も再開発が盛んに行われていますが、高層ビルが立ち並ぶ東京のような町にはなってほしくありません。大通公園ももっと緑がほしいです。
- ・札幌の景観は建て替えばかりで、古い建物を大切にしていない。

・むずかしいとは思いますが、誰も住んでいない家などの土地を調べ、そこに自然や再建築などして行ってほしい。暮らしやすい街づくりしか考えていないのか、自然がどんどんなくなっていった事に気づいてほしい。

・東京の真似をして、街中高層建築ばかりにして、歴史ある古い建物を取り壊して、新しいものにするばかり許可している。耐震工事に費用を惜しまず、価値のあるものは残すべき。京都市のように、建物の高さ制限を作成して、長期的な美しい都市計画をするべき。

・とにかく子供が遊べる場所がありません。公園も作れば遊具のなにもないただ広い公園が多く、もう少し子供の目線にたって作ってほしい。また冬に室内で遊べる場所がほしい。

・生活インフラが東京都と比べて安い印象があったのですが、逆に高いことを知りました。(特に水道代) 公共料金の値下げを希望しているのではなく、高くなってもよいから、他の都市に比べて質の良いものを提供して欲しいと思います。

・インフラ関係は、北海道特有の広大かつ冬季に対応する必要があり、人材不足により、維持管理の品質が将来深刻なほど低下すると思う。

・電力の安定供給の確保。

・同じ札幌の市民でありながらこんなに片寄った不公平な行政はない！と思っている。住むための最低なインフラが整った第二次まちづくりにして下さい。

・札幌ドームの今後の活用が目途が立っていない。

・札幌ドームの安定した利用、札幌に新幹線の乗り入れるための準備。

・住宅だけが aumentando いるイメージがあるので、もっと様々な施設を増やしたりしたらいいと思う。

・健康、スポーツ施設を充実ならびに利用方法の再検討をして欲しい。低年齢層の無料、もしくは低額により、子ども達に占有されて、社会人が(使用料を払っているにもかかわらず)追いやられている現状を見ている。誰もが使いやすいルールが必要と思います。

・老朽化した公共施設の改修。

・地域にお金のかからない自然を生かしたゆったり散歩や休息できる空間がほしい。

・良い環境で、読書や学習のできる施設が増えてきています。今後も誰もが利用でき、時間を気にせず、心地よく滞在できる空間を計画して頂ければ、更に街の魅力が増すと感じます。

その他

- ・いろいろな世代と意見がある中で大変ですが、小さな子から子ども、学生、子育て世代、高齢者、幸せ度が増す街になってほしい。
- ・現在提供していただいている公共サービスを維持できるよう長期的な目線で計画を立てていくのが大切だと思います。
- ・大都市であるため、困難な政策運営だと思うが、地に足をつけた市政運営が必要ではないか。
- ・市民一人一人の「まちづくり」に対する関心を高めること。小中学校でもっと教えるべき。
- ・海外にばかり目を向けなくて、地元の人を大切にしてほしい。
- ・本当に困ってる人たちの（声）を良く聞き、より良い方向へ手伝ってあげて欲しい！！
- ・近隣市町村との協力体制の確立。（札幌は人口が多いことから、衣食住、観光、資源、なんでも独立して事業が成り立ちますが、今後は千歳やそれこそ北広島、小樽と連携を取り、すみわけを考えながら、政策を進めた方がより活発的な都市になると思います）
- ・周辺都市との交通手段の維持と、区役所でできることを増やしてほしい。
- ・人口減少、少子化、高齢化を見据えているのですが、一人一人の生活向上にもっと予算を使うべき。弱者に目を向け、大切にすると誰もが豊かになります。
- ・行政担当者が市民生活に係ることはほとんどなく、依って市民生活の問題点が行政に反映される期待は薄い。
- ・市民一人一人によりそった市政をして頂きたいです。土日祝日、一部分でも行政の窓口を開いてもらいたい。
- ・市民が平等に知りたい情報を知る。市全体で子育て、市民の生活を幸福にしてもらいたい。
- ・目指すべき都市像まちづくりの重要概念について積極的に広報をして頂き、実現してください。
- ・子孫、孫の世代も安心して暮らせるように、未来を見据えたまちづくりが大事だと思います。
- ・高齢者にはデジタル化が進んでも、取り残されやすいので、使いやすさを考慮してほしい。
- ・シンガポールのようなデジタルツインシティが必要だと考える。それにより、リアルタイムにフィードバックできるので QOS が向上する。また、時代のニーズに合わせてデジタル化による AI サポートや、行政主導から民間主導にしたのはいいことだと思う。